

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2005年3月3日 (03.03.2005)

PCT

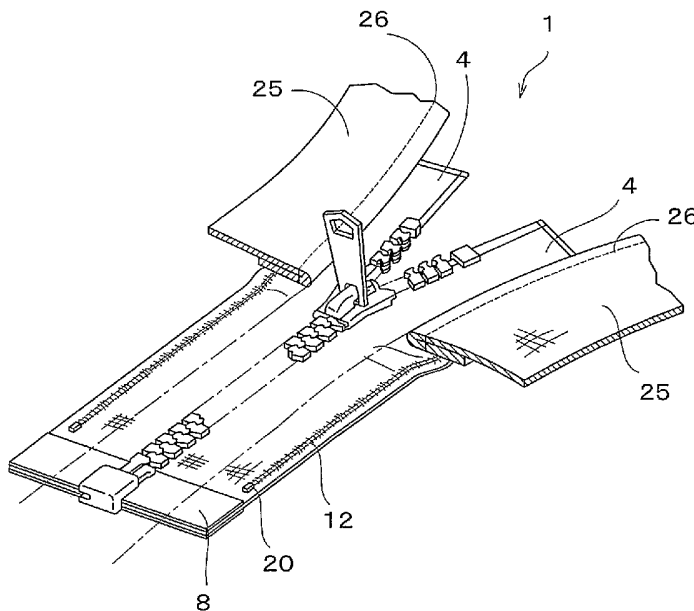
(10) 国際公開番号
WO 2005/018366 A1

- (51) 国際特許分類: A44B 19/02, 19/26, 19/34, 18/00, G06K 19/00
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2003/010664
- (22) 国際出願日: 2003年8月22日 (22.08.2003)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): YKK 株式会社 (YKK CORPORATION) [JP/JP]; 〒101-8642 東京都千代田区神田和泉町1番地 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 姿知成 (SUGATA, Tomonari) [JP/JP]; 〒938-0044 富山県黒部市荒町431-4 Toyama (JP). 永安孝志 (NAGAYASU, Takashi) [JP/JP]; 〒936-0053 富山県滑川市上小泉2552-4 Toyama (JP). 佐藤禎晃 (SATO, Yoshiaki) [JP/JP]; 〒938-0031 富山県黒部市三
- (74) 代理人: 野口 武男, 外 (NOGUCHI, Takeo et al.); 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2丁目10番14号 ばんだいビル むつみ国際特許事務所 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM,

[続葉有]

(54) Title: FASTENER AND FITTED BODY HAVING THE FASTENER

(54) 発明の名称: ファスナー及び同ファスナーを被着した被着体



(57) Abstract: A fastener and a fitted body having the fastener fitted thereto, the fastener wherein conductive fiber materials (12) are fitted as weaving yarns or knitting yarns to fastener tapes (4) by weaving or knitting to form the conductive fiber materials (12) as signal lines (23) or antenna lines (21) on the fastener tapes (4); the fitted body wherein when fixtures having radio IC chips (20) are fitted to the fitted body (25), the radio IC chips (20) are covered by the fitted body (25) and it cannot be discriminated from the outside that the radio IC chips (20) are fitted to the fitted body (25), whereby though the presence of the radio IC chips cannot be observed from the outside, data stored in the radio IC chips (20) can identify whether the fitted body is genuine or not and perform the merchandise control of the fitted body.

[続葉有]

WO 2005/018366 A1



AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

添付公開書類:

- 国際調査報告書

(57) 要約: ファスナーテープ4に、織糸又は編み糸として導電性繊維材12を織成又は編成して取り付け、導電性繊維材12を信号線23またはアンテナ線21としてファスナーテープ4上に形成することができる。無線ICチップ20を取り付けた固定具が被着体25に被着されたときには、無線ICチップ20は被着体25によって被覆され、外からは無線ICチップ20が被着体25に取り付けられていることが判別できない状態となる。外からは無線ICチップの存在が確認できないにもかかわらず、無線ICチップ20に記憶されたデータは、被着体の真贋を識別することや被着体の商品管理等を行うことができるようになる。

明 細 書

ファスナー及び同ファスナーを被着した被着体

5 技術分野

この本願発明は、例えばスライドファスナー、面ファスナー、テープ付きスナップファスナー、係合条片を有するレール状ファスナー、バックル、コードストッパ、ベルトアジャスター、ナスカン、スナップボタンなどの各種ファスナーに係わり、特に、狭小領域及び広範囲領域における製品管理機能或いは各種セキュリティ機能を奏することのできる無線 I C チップ、又は無線 I C チップと送受信アンテナを内蔵した各種ファスナー及び同ファスナーを被着した被着体に関するものである。

背景技術

15 近年、無線通信方式によってデータ通信を行う非接触型 I D タグを生産段階で商品に内蔵させ、商品の生産から物流、販売等にいたるトータル的な商品管理を行うことや、商品の紛失防止、盗難防止、偽造防止などが行われている。また、I D タグを衣服に装着して痴呆症患者の徘徊防止等に利用することなどが提案されてきている。

20 一般に非接触型 I D タグは、データ処理を行う C P U やメモリ、信号の変調・増幅部等を有する無線 I C チップとその送受信アンテナとにより構成されている。無線 I C チップの電源としては、外部の読取装置から受信した電磁波で起電力を発生させ、発生した起電力を無線 I C チップの電源として用いる形式と無線 I C チップ用の電源電池を備えている形式とが用いられている。

25

無線 I C チップのメモリに格納されているデータを外部の読取装置に

よって読取るにあたって、電源電池を備えていない形式のものにおいては、IDタグ内に内蔵した受信アンテナに読取装置からの制御信号を受信する機能と共にコイルとしての機能も持たせている。外部の読取装置から送信した電磁波によって、受信アンテナであるコイルに起電力を発生させ、同起電力でもって無線ICチップの動作を行わせている。電源電池を備えたものでは、受信アンテナによる起電力を発生させず、電源電池によって無線ICチップを動作させている。

無線ICチップが動作可能状態にあると、読取装置からの制御信号に基づいて無線ICチップ内のメモリから必要なデータを取り出して、同データを応答データとして送信アンテナから読取装置に応答送信することができる。応答送信された信号は読取装置の受信アンテナで受信され、読取装置の制御部において応答データの解析が行われる。この応答データは無線ICチップ内に格納されていたデータとして読取装置内に一時格納されたのち、パソコンなどの制御機器へと送信される。

また、読取装置から送信された制御信号に基づいて、無線ICチップ内のメモリに格納されるデータの更新あるいは書き換え等を行うことも無線ICチップの性能によって可能である。無線ICチップ内のメモリからのデータの読み出し、データの書き込みにあたっては、各種セキュリティ手段を講じておくことができる。

この種のIDタグを内蔵したスライドファスナー用引手の一例が、例えば特開2002-125721号公報に開示されている。同公報に開示されたスライドファスナーの引手は、図51に示すように金属製や合成樹脂、皮革、厚布等の軟質材製の引手本体51内にICチップ54とコイルアンテナ53とを埋め込んでおり、コイルアンテナ53とICチップ54とは細いガラス管55内に封入されている。

引手本体51を金属材料により構成する場合は、同引手本体51にガ

ラス管 5 5 の埋込孔 5 2 が形成されるとともに、同埋込孔 5 2 の壁面に内外に連通する送受信用スリット 5 6 が形成され、同送受信用スリット 5 6 の部位に配したコイルアンテナ 5 3 と外部に配した読取装置との間で信号の送受信が行えるように構成されている。コイルアンテナ 5 3 と
5 ICチップ 5 4 とを封入したガラス管 5 5 が前記埋込孔 5 2 内に挿入したのち、同埋込孔 5 2 の開口端をエポキシ樹脂によって密閉し、コイルアンテナ 5 3 と ICチップ 5 4 とからなる IDタグが埋設した引手本体 5 1 が形成されている。

また、前記引手本体 5 1 を合成樹脂材により構成する場合は、同引手
10 本体 5 1 が電磁透過性をもつ合成樹脂材料から構成される。ガラス管 5 5 中に封入された IDタグは、上記金属製の引手本体と同様に、前記エポキシ樹脂によって前記埋込孔 5 2 内に封入され、IDタグを埋設した引手本体 5 1 が形成されている。

更にまた、前記引手本体 5 1 を皮革材や布材により構成する場合は、
15 ガラス管 5 5 を挿入する埋込空間が引手本体 5 1 に形成されている。ガラス管 5 5 中に封入されたコイルアンテナ 5 3 と ICチップ 5 4 とからなる IDタグは、送受信用の長孔を有する金属管によって被覆して補強されている。補強された IDタグは前記埋込空間内に隠蔽して収納されている。

一方、前記 IDタグを埋設一体化した衣服用ボタンの一例が、例えば
20 特開 2 0 0 2 - 4 2 1 0 0 号公報に開示されている。同公報に開示された衣服用ボタンは図 5 2 に示すように、電磁透過性を有する硬質樹脂製のボタン本体 6 2 により構成されている。ボタン本体 6 2 の表面にはリング状の凹所 6 4 が形成され、その裏面にはボタンを衣服等に縫い止める縫止脚 6 1 が一体に突設されている。
25

図 5 3 に示すように凹所 6 4 の中心部には無線 ICチップ 6 6 が配さ

れるとともに、同無線 I C チップ 6 6 に電氣的に接続されたらせん状コイルアンテナ 6 5 が前記凹所 6 4 内で周回するように配されている。この無線 I C チップ 6 6 とコイルアンテナ 6 5 とからなる I D タグが前記凹所 6 4 内に配されたのち、同凹所 6 4 内にエポキシ樹脂 6 7 が流し込まれて固化され、コイルアンテナ 6 5 と無線 I C チップ 6 6 とからなる I D タグは密封防水処理され、I D タグを内蔵したボタンが形成されている。

特開 2 0 0 2 - 1 2 5 7 2 1 号公報に開示された引手本体に I D タグを埋設するためには、I D タグをガラス管内に封入しなければならなかった。しかも、引手本体 5 1 に衝撃が加わったときや送受信用スリット 5 6 から露呈しているガラス管 5 5 に障害物等が衝突したときなどに、ガラス管 5 5 が破損してしまうことがあり、破損したガラス片が送受信用スリット 5 6 から飛散してしまう危険性があった。

特開 2 0 0 2 - 4 2 1 0 0 号公報に開示されているボタンでは、衣服等に縫い止めることによって初めてボタンを取付けることができるため、I D タグを内蔵したボタンの使用用途に制限が加えられていた。また、ボタンにアンテナを内蔵させているため、アンテナの長さにも制限があり、広範囲において I D タグとの間で信号の接受を行うことができなかった。

特に、スライドファスナーなどのファスナーの用途は拡大されており、カバンやバックから衣料品に至るまで幅広く使用されてきており、その使用形態も種々にわたっている。このため、これらのものに使用されているファスナーに対して、ガラス管を用いることなく、しかもボタン以外のファスナーに対しても使い易い形で I D タグを設けることが望まれていた。更に、上述の従来例のものでは、無線 I C チップに記憶したデータを外部の読取装置で読み取ることができるのは、I D タグと読取

装置間の距離が短い狭小領域内でのみデータの読取が可能であった。このため、IDタグを広範囲領域においても使用することができる技術の開発が望まれていた。

5 また、衣類やカバン等の商品にIDタグを取り付けた場合、個々の商品毎にIDタグを別途取り付けることは人手と時間とを必要とする。この場合には、部品メーカー側とアパレルメーカー側とは独立して生産から販売に至る管理を別個に行わざるを得ず、商品の生産から物流、販売等のトータル的な商品管理を行うことはできないという問題があった。

10 更に、製品が顧客に手渡った後の真贋判定においては、無線ICチップは読取装置側から信号に応じて発信すればよく、無線ICチップからの電波到達距離を必要としないが、製造や販売段階での物流管理においては、無線ICチップから発信された電波が所定範囲内に亘って安定した状態で読取装置により受信されることが望まれている。

15 更にまた、無線ICチップには電源を内蔵したアクティブタイプと電源を内蔵していないパッシブタイプとがあるが、アクティブタイプでは電池の寿命により数年で無線ICチップからの発信機能を失ってしまう問題や、パッシブタイプでは無線ICチップからの電波到達距離を長くすることに技術的難易度が高く、コスト高となったり、無線ICチップが大型化してファスナーに取り付けることが困難となったりする問題が
20 あった。

本願発明は、これらの問題を解決するためになされたものである。スライドファスナーなどのファスナーを製造販売する部品メーカーにおいて、IDタグを個々のファスナーに取り付けておけば、同IDタグを取り付けたファスナーを被着体としての商品に取り付けるだけで、ファス
25 ナーの商品管理と合わせて商品についてのトータル的な商品管理を行うことができるようになる。このため、本願発明ではスライドファスナー

などのファスナーについてその生産段階において無線 I C チップ、又は無線 I C チップとアンテナを装着させておくことにより上述した問題の解決を図ることにある。

また、無線 I C チップを取り付けたファスナーを被着した被着体にアンテナを取り付けることにより、広範囲領域においても使用することができることになる。更に、ファスナーに取り付けた無線 I C チップにアクティブタイプとパッシブタイプ双方の機能を併せ持たせ、電源によって少なくとも数年は有電起動機能を備えさせることで、製造や販売段階での無線 I C チップからの電波が所定範囲内に亘って安定した状態で読取装置により受信することができるようになり、電源の寿命後には読取装置側からの信号に応じて発信する機能を維持させることができるようにする。

しかも、アクティブタイプの無線 I C チップとパッシブタイプの無線 I C チップとをファスナーに取り付け、双方の無線 I C チップを同期させて、あるいは一方のみの無線 I C チップを選択的に作動させることができるようにする。アクティブタイプの無線 I C チップにより電池の寿命が尽きるまでは、無線 I C チップから所定範囲にわたって電波を安定して発信することができ、電池の寿命後は、パッシブタイプの無線 I C チップによって、読取装置側からの信号に応じて発信する機能を維持させることができるようにする。

発明の開示

前記の目的を達成するため、この発明の第 1 の基本的な構成は、固着手段が取り付けられ、被着体に被着されるテープを有するファスナーであって、前記ファスナーに取り付けた無線 I C チップと、前記テープの長手方向に連続して配した前記無線 I C チップのアンテナ又は信号線と

を有してなることを特徴とするファスナーにある。

この発明におけるファスナーとしては、固着手段が取り付けられ、被着体に被着されるテープを有するファスナーであり、スライドファスナー、係合条片を有するレール状ファスナー、スナップボタンファスナー、面ファスナーなどである。

本願発明においては、ファスナーが無線 I C チップと、前記テープの長手方向に沿って連続して延びた状態に配した前記無線 I C チップのアンテナとを有しているので、無線 I C チップと読取装置との距離が長くなってもデータの送受信を行うことができるようになる。また、信号線によって各種センサ等と無線 I C チップとを接続させることができる。

長手方向に沿って連続して延びた状態のアンテナ又は信号線の構成としては、テープの長手方向に直線状に配した構成とすることも、テープの長手方向と交差する方向にジグザグ状に曲げながらテープの長手方向に沿って延ばした構成、螺旋状でテープの長手方向に沿って延ばした構成等を用いることができる。

ファスナーのテープにアンテナを配したことによりアンテナ長を長くすることが可能となり、ループ状としたアンテナから発生する起電力を大きくすることができると共に無線 I C チップと読取装置間での送受信距離を大きくすることが可能となる。

無線 I C チップに記憶されたデータを読取装置により読み出すことにより、真正に製造されたファスナーなのか贋造品として製造されたファスナーなのか、あるいは無線 I C チップを被着した被着体が真正に製造された被着体なのか贋造品として製造された被着体なのかを簡単に識別することができる。また、無線 I C チップを取り付けたファスナーや被着体の商品管理等も行うことができる。

無線 I C チップに備えたメモリとしては、データの書き換えが可能な

メモリ、データの書き換えができないメモリ或いはデータの書き込みやプログラムを記憶させることのできるメモリ等を用いることができる。

無線 I C チップを被着体に被着されるテープの部位に取り付けること
よって、無線 I C チップを取り付けたファスナーが被着体に被着される
と、無線 I C チップは被着体によって被覆された状態となり、外からは
5 無線 I C チップが被着体に取り付けられていることが判別できない状態
となる。外からは無線 I C チップの存在が確認できないにもかかわらず
、無線 I C チップに記憶されたデータあるいは新たに記憶させたデータ
を用いることが可能となり、被着体の真贋を識別することや被着体の商
10 品管理等を行うことができるようになる。しかも、被着体に無線 I C チ
ップを別途取り付ける作業を行うことなく、無線 I C チップを被着体か
ら外部に露出させずに簡単に取り付けることができるようになる。

読取装置と無線 I C チップとは、無線 IC チップに接続したアンテナ
を介して行うことができる。アンテナはテープの長さ方向に連続して延
15 びた状態に配した構成に形成することもできれば、無線 I C チップと一
体的に構成してファスナーのテープに取り付けることも、ファスナーに
おけるテープを利用して同テープ上にアンテナを配置することもできる
。ファスナーのテープを利用する場合には、同テープを構成している織
20 糸あるいは編糸に導電性繊維材を用いることで配線することができる。
同導電性繊維材は、アンテナとして使用する以外に、例えばセンサと無
線 I C チップとを接続する信号線として使用することもできる。

導電性繊維材の配線としては、同導電性繊維材から複数数本の配線
を行い各配線の一端を無線 I C チップに接続し、他端を開放した状態とし
て前記テープに織り込み或いは編み込みを行うことで構成とすることが
25 できる。また、同導電性繊維材の両端を無線 I C チップに接続し、両端
を無線 I C チップに接続した導電性繊維材の中間部をループ状となるよ

うに前記テープに織り込み或いは編み込みを行うことで構成することもできる。更には、一端を無線 I C チップに接続した少なくとも 2 本の導電性繊維材の他端をそれぞれ開放した状態に配し、開放した他端同士を適宜の手段で接続してループ状に形成することもできる。

- 5 導電性材をファスナーのテープに貼付、接着、溶着あるいは埋め込むことでアンテナとして配線とすることができる。この場合においても、導電性材の一端を無線 I C チップに接続し、他端を開放した状態としてアンテナとしてとして形成することも、導電性材の両端を無線 I C チップに接続し、同導電性材の中間部をループ状となるように形成することもできる。2本の導電性材の一端を無線 I C チップに接続し、他端同士を適宜の手段で接続してループ状のアンテナに形成することもできる。

- 10 ファスナーがスライドファスナーである場合には、芯紐を構成する少なくとも一部の繊維に導電性繊維材を用いて同導電性繊維材と無線 I C チップとを接続することでアンテナ又は信号線としてとして構成することができる。少なくとも 2 本の導電性繊維材を用い、同導電性繊維材の端部同士を連結すると共に中間部においては少なくとも 2 本の導電性繊維材が短絡しないように芯紐内に配設し、端部同士が連結されていない方の端部を無線 I C チップに接続することでループ状のアンテナを形成することも可能となる。

- 20 或いは、芯紐に配した導電性繊維材の一端を無線 I C チップに接続し、同導電性繊維材の他端と、ファスナーテープに織成又は編成し一端を前記無線 I C チップと電氣的に接続した導電性繊維材との端部同士を接続することでループ状のアンテナを形成することができる。また、ファスナーテープに貼付、接着、溶着あるいは埋め込んだ導電性材の一端を
25 前記無線 I C チップに接続し、同導電性材の他端と芯紐に配した導電性繊維材の他端とを適宜の手段で接続してループ状に形成することもでき

る。

更にまた、スライドファスナーにおける連続状のファスナーエレメントを導電性樹脂モノフィラメントをコイル状やジグザグ状に曲げて形成し、同ファスナーエレメントと無線 I C チップとを接続することで無線
5 I C チップのアンテナ又は信号線として機能させることができる。

ファスナーエレメントをアンテナとして機能させる場合において、ファスナーエレメントの一端を開放状態のままとすることも、上記したように導電性繊維材や導電性材を用いてループ状に形成することもできる。
10 また、ファスナーエレメントをアンテナとして機能させる場合において、芯紐の少なくとも一部の繊維を導電性繊維材とすることで芯紐の導電性繊維材を磁芯部材としての機能をもたせることもできる。

無線 I C チップに電源電池が接続されていない場合には、少なくとも受信アンテナをループ状に形成し、ループ部を用いて起電力を発生させることが必要である。

15 この発明の第 2 の基本的な構成は、固着手段が取り付けられ、被着体に被着されるテープを有するファスナーであって、同テープにおける前記被着体で被覆される部位に無線 I C チップが取り付けられてなることを特徴とするファスナーにある。

この発明における構成は、被着体で被覆されるテープの部位に無線 I
20 C チップが取り付けられてなる点を除いて第 1 の基本的な構成同じ構成とすることができる。そのため、上述した第 1 の基本的な構成から奏することのできる各種効果や第 1 の基本的な構成を構成することのできる構成は、第 2 の基本的構成のものにおいても同様に構成したり同様に奏することができるものである。

25 この発明におけるファスナーとしては、ファスナーが取り付けられ、被着体に被着されるテープを有するファスナーであり、スライドファス

ナー、係合条片を有するレール状ファスナー、スナップボタンファスナー、面ファスナーなどである。被着体に被着されるテープの部位に無線 I C チップを取り付けているので、ファスナー単体においては無線 I C チップと読取装置との間でデータの送受信を行うことができる。

- 5 このため、真正に製造された固定具なのか贋造品として製造された固定具なのかを無線 I C チップに記憶されたデータを読取装置により読み出すことで簡単に識別することができる。また、無線 I C チップを取り付けた固定具の商品管理等も行うことができる。

10 無線 I C チップに備えたメモリとしては、データの書き換えが可能なメモリ、データの書き換えができないメモリ或いはデータの書き込みやプログラムを記憶させることのできるメモリ等を用いることができる。

15 無線 I C チップを取り付けた固定具が被着体に被着されると、無線 I C チップは被着体によって被覆された状態となり、外からは無線 I C チップが被着体に取り付けられていることが判別できない状態となる。外からは無線 I C チップの存在が確認できないにもかかわらず、無線 I C チップに記憶されたデータあるいは新たに記憶させたデータを用いることが可能となり、被着体の真贋を識別することや被着体の商品管理等を行うことができるようになる。しかも、被着体に無線 I C チップを別途取り付ける作業を行うことなく、無線 I C チップを被着体から外部に露
20 出させずに簡単に取り付けることができるようになる。

25 読取装置と無線 I C チップとは、無線 I C チップに接続したアンテナを介して行うことができる。アンテナは無線 I C チップと一体的に構成してファスナーのテープに取り付けることも、ファスナーにおけるテープを利用して同テープ上にアンテナを配置することができる。ファスナーのテープを利用する場合には、同テープを構成している織糸あるいは編糸に導電性繊維材を用いることで配線することができる。同導電性織

維材は、例えばセンサと無線 I C チップとを接続する信号線として使用することもできる。

導電性繊維材の配線としては、同導電性繊維材から複数本の配線を行い各配線の一端を無線 I C チップに接続し、他端を開放した状態として前記テープに織り込み或いは編み込みを行うことで構成とすることができる。また、同導電性繊維材の両端を無線 I C チップに接続し、両端を無線 I C チップに接続した導電性繊維材の中間部をループ状となるように前記テープに織り込み或いは編み込みを行うことで構成することもできる。更には、一端を無線 I C チップに接続した少なくとも 2 本の導電性繊維材の他端をそれぞれ開放した状態に配し、開放した他端同士を適宜の手段で接続してループ状に形成することもできる。

或いは、導電性材をファスナーのテープに貼付、接着、溶着あるいは埋め込むことで無線 I C チップと接続した配線とすることができる。この場合においても、導電性材の一端を無線 I C チップに接続し、他端を開放した状態としてアンテナや信号線等として形成することも、導電性材の両端を無線 I C チップに接続し、同導電性材の中間部をループ状となるように形成することもできる。2本の導電性材の一端を無線 I C チップに接続し、他端同士を適宜の手段で接続してループ状のアンテナに形成することもできる。

ファスナーがスライドファスナーである場合には、芯紐を構成する少なくとも一部の繊維に導電性繊維材を用いて同導電性繊維材と無線 I C チップとを接続することでアンテナや信号線等として構成することができる。少なくとも 2 本の導電性繊維材を用い、同導電性繊維材の端部同士を連結すると共に中間部においては少なくとも 2 本の導電性繊維材が短絡しないように芯紐内に配設し、端部同士が連結されていない方の端部を無線 I C チップに接続することでループ状のアンテナを形成

することも可能となる。

或いは、芯紐に配した導電性繊維材の一端を無線 I C チップに接続し、同導電性繊維材の他端と、ファスナーテープに織成又は編成し一端を前記無線 I C チップと電氣的に接続した導電性繊維材との端部同士を接続することでループ状のアンテナを形成することができる。また、ファスナーテープに貼付、接着、溶着あるいは埋め込んだ導電性材の一端を前記無線 I C チップに接続し、同導電性材の他端と芯紐に配した導電性繊維材の他端とを適宜の手段で接続してループ状に形成することもできる。

10 更にまた、スライドファスナーにおける連続状のファスナーエレメントを導電性樹脂モノフィラメントをコイル状やジグザグ状に曲げて形成し、同ファスナーエレメントと無線 I C チップとを接続することで無線 I C チップのアンテナとして機能させることができる。

15 ファスナーエレメントをアンテナとして機能させる場合において、ファスナーエレメントの一端を開放状態のままとすることも、上記したように導電性繊維材や導電性材を用いてループ状に形成することもできる。また、ファスナーエレメントをアンテナとして機能させる場合において、芯紐の少なくとも一部の繊維を導電性繊維材とすることで芯紐の導電性繊維材を磁芯部材としての機能をもたせることもできる。

20 無線 I C チップに電源電池が接続されていない場合には、少なくとも受信アンテナをループ状に形成し、ループ部を用いて起電力を発生させることが必要である。

本願発明では、ファスナーのテープにアンテナを配したことによりアンテナ長を長くすることが可能となり、ループ状のアンテナから発生する起電力を大きくすることができると共に無線 I C チップと読取装置間での送受信距離を大きくすることが可能となる。

ファスナーのテープに無線 I C チップの電源電池が取り付けられている場合には、受信アンテナをループ状に形成することは必ずしも必要とはしないが、ループ状に形成した送受信アンテナを用いることもできる。

5 本願発明の第 3 の基本的構成は、被着体に被着されるファスナーテープを有するスライドファスナーであって、同ファスナーテープにおける止部の近傍に無線 I C チップが取り付けられてなることを特徴とするファスナーにある。ファスナーとしては、スライドファスナー、係合条片を有するレール状ファスナー、スナップボタンファスナー、面ファスナー
10 ーなどである。

この発明における構成は、上記第 1、第 2 の基本的な構成と無線 I C チップをファスナーのテープに取り付けた部位を限定した点とファスナーがスライドファスナーに限定した点を除いて他の構成は同じ構成となっている。そのため、上述した第 1 及び第 2 の基本的な構成から奏することのできる各種効果は、第 3 の基本的構成のものにおいても同様に奏
15 することができるものである。

第 3 の基本的構成のものでは、ファスナーテープの止部近傍に無線 I C チップを配しているので、無線 I C チップの取り付け位置を特定することができ、読取装置で無線 I C チップに格納されているデータを読み
20 取るときでも、或いは無線 I C チップに新たなデータを書き込むときでも無線 I C チップと読取装置との位置関係を簡単に設定することができるようになる。

しかも、ファスナーテープの止部近傍は補強テープにより補強されているので補強テープとファスナーテープ間に無線 I C チップやアンテナ
25 を配置するだけで、簡単に無線 I C チップやアンテナをファスナーテープに取り付けることができるようになる。また、補強テープによって無

線 I C チップやアンテナがファスナーテープから外れたりするのを防止
することができ、外部からの衝撃、障害物との衝突等によって無線 I C
チップやアンテナが破損するのを防止することができるようになる。な
お、無線 I C チップやアンテナを補強テープ上に配することもできる。

5 第 3 の基本的構成のものにおける止部としては、上止部や下止部あるい
は開離嵌挿具がある。

第 3 の基本的構成のものにおいても、第 1、第 2 の基本的構成におい
て説明したようにアンテナの構成は同様に形成することができるので、
ここではその説明を省略する。

10 この発明の第 4 の基本的な構成は、被着体に被着されるファスナーテ
ープを有するスライドファスナーであって、スライドファスナーの止部
に無線 I C チップを取り付けてなることを特徴とするファスナーにある
。ファスナーとしては、スライドファスナー、係合条片を有するレール
状ファスナー、スナップボタンファスナー、面ファスナーなどである。

15 この発明における構成は、無線 I C チップをスライドファスナーの止
部に取り付けた点を除いて第 1～第 3 の基本的な構成同じ構成とするこ
とができる。そのため、上述した第 1～第 3 の基本的な構成から奏する
ことのできる各種効果は、第 4 の基本的構成のものにおいても同様に奏
することができるものである。第 4 の基本的構成のものにおける止部と
20 しては、上止部や下止部あるいは開離嵌挿具がある。

無線 I C チップの取り付け位置は、下止部や上止部あるいは開離嵌挿
具に取り付けることができる。また、無線 I C チップを上述の止部に内
蔵して取り付けすることも、着脱自在に取り付けることもできる。着脱自
在に取り付ける場合には、止部に無線 I C チップ挿入用の穴部を形成し
25 て、同穴部に無線 I C チップを着脱自在に嵌入することで取り付けら
ることがでる。このとき、無線 I C チップをアンテナ内蔵型とすることもで

きる。

アンテナとしては、上述の第1の基本的な構成で説明したようにスライドファスナーに導電性繊維材或いは導電性材を配して、同導電性繊維材或いは導電性材をアンテナとして無線ICチップと接続して使用することもできる。スライドファスナーの各構成部材のいずれかに無線ICチップとアンテナとを内蔵させることで、スライドファスナーの製造工程において無線ICチップとアンテナとを同時にスライドファスナーに組み込むこともできるようになる。

また、無線ICチップを前記止部に対して着脱自在に形成することにより、読取装置から無線ICチップのデータを不正に読み取られる恐れがあるときや、不正に書き込まれる恐れがあるときには、止部から無線ICチップを取り出しておくことにより不正なアクセスを防止することができる。更に、無線ICチップを取り付けたファスナーが被着体と共に洗濯される時、ファスナーから無線ICチップを取り外しておくことで、洗濯中に無線ICチップが破損するのを防止することができる。

この発明の第5の基本的な構成は、被着体に被着されるファスナーテープを有するスライドファスナーであって、芯紐を構成する少なくとも一部の繊維材に導電性繊維材を用いた芯紐と、樹脂製ファスナーエレメントの少なくとも1つに埋め込んだ無線ICチップとを備え、前記無線ICチップと前記導電性繊維材とが電氣的に接続されてなることを特徴とするスライドファスナーにある。

この発明の構成では、スライドファスナーのファスナーエレメントの少なくとも1つに無線ICチップを埋め込み、芯紐を構成する少なくとも一部の繊維材に用いた導電性繊維材を無線ICチップと電氣的に接続して、同導電性繊維材をアンテナ又は信号線として使用することができるようにしたものである。

この発明の第6の基本的な構成は、被着体に被着されるファスナーテープを有するスライドファスナーであって、樹脂製ファスナーエレメントの少なくとも1つに埋め込んだ無線ICチップと、前記ファスナーテープに取り付けられたアンテナ又は信号線とを備え、前記無線ICチップとアンテナ又は信号線とが電氣的に接続されてなることを特徴とするスライドファスナーにある。

この発明の構成では、スライドファスナーのファスナーエレメントの少なくとも1つに無線ICチップを埋め込み、テープを織成又は編成する織糸又は編糸の一つとして導電性繊維材を用いるとともに、同導電性繊維材を無線ICチップと電氣的に接続して、同導電性繊維材をアンテナ又は信号線として使用することができるようにしたものである。

この発明の第7～8の基本的な構成は、被着体に被着されるファスナーテープを有するスライドファスナーにおいて、アンテナを有する無線ICチップが、樹脂製のスライダーに取り付けられてなること、又は引き手に対して着脱自在に取り付けた装飾部材内に内蔵されてなることを特徴とするスライドファスナーにある。

この発明の構成では、スライダー又は引き手に対して着脱自在に取り付けられる装飾部材内に無線ICチップを取り付けることができる。無線ICチップの取り付けに当たっては、アンテナと一緒に前記各部材に無線ICチップ及びアンテナ挿入用の穴部を形成して、同穴部に無線ICチップ等を着脱自在に嵌入することで取り付けることができる。

また、スライドファスナーの各構成部材のいずれかに無線ICチップとアンテナとを内蔵させることで、スライドファスナーの製造工程において無線ICチップとアンテナとを同時にスライドファスナーに組み込むこともできる。

更に、スライドファスナーの各構成部材のいずれかに無線ICチップ

とアンテナとを着脱自在に嵌入する穴部を形成しておくことにより、読取装置から無線 I Cチップのデータを不正に読み取られる恐れがあるときや、不正に書き込まれる恐れがあるときには、穴部から無線 I Cチップとアンテナとを取り出しておくことにより防止することができる。

5 この発明の第 9 の基本的な構成は、固着手段が取り付けられ、被着体に被着されるテープを有するファスナーであって、無線 I Cチップ、電源電池及びアンテナを取り付けてなることを特徴とするファスナーにある。ファスナーとしては、スライドファスナー、面ファスナー、スナップファスナー、レールファスナー、バックル、コードストッパー、ナス
10 カン、スナップボタン等を用いることができる。

 この発明の構成では、ファスナーが無線 I Cチップ、電源電池及びアンテナを有しているので、読取装置からの信号で起電力を発生させる必要がなく、アンテナの構成をループ状に形成することは必ずしも必要とはしない。しかし、ループ状に形成したアンテナを用いることは可能で
15 ある。

 ループ状に形成したアンテナを用いた場合には、ファスナーに取り付けた無線 I Cチップにアクティブタイプとパッシブタイプ双方の機能を併せ持たせ、電源によって少なくとも数年は有電起動機能を備えさせることができるようになる。これにより、製造や販売段階での無線 I Cチ
20 ップからの電波が所定範囲内に亘って安定した状態で読取装置により受信することができるようになり、電源の寿命後には読取装置側からの信号に応じて発信する機能を維持させることができるようになる。

 更に、アクティブタイプに無線 I Cチップとパッシブタイプの無線 I Cチップとをファスナーに取り付け、双方の無線 I Cチップを同期させて、あるいは一方のみの無線 I Cチップを選択的に作動させることができ
25 る。これにより、アクティブタイプの無線 I Cチップにより電池の寿

命が尽きるまでは、無線 I C チップから所定範囲にわたって電波を安定して発信することができ、電池の寿命後は、パッシブタイプの無線 I C チップによって、読取装置側からの信号に応じて発信する機能を維持させることができるようになる。

5 ファスナーに無線 I C チップの電源電池が取り付けられているため、アンテナから送信する電磁波の強さを電源電池の設置数等により調整することが可能となり、所望の出力をアンテナから出力させることが可能となる。これにより、ファスナーにアンテナを配したことと相俟って広
10 範囲の領域において無線 I C チップと読取装置間で信号の送受信を行うことができるようになる。

 スライドファスナーのように左右に分離できるファスナーテープにおいては、一方のファスナーテープに電源電池を取り付け、他方のファスナーテープに無線 I C チップを取り付けた構成とすることができる。この場合においては、両ファスナーテープを開離させる開離嵌挿具にスイッチ機構を形成することで、開離嵌挿具の嵌合時にはスイッチを ON させて電源電池の電流・電圧を無線 I C チップに供給し、開離嵌挿具の離間時にはスイッチが OFF させて電源電池からの電流・電圧を無線 I C
15 チップに供給するのを停止することができる。これにより、開離嵌挿具の嵌合及び離間操作で無線 I C チップの動作を ON・OFF 制御することができるようになる。
20

 この発明の第 10 の基本的な構成は、無線 I C チップと、前記無線 I C チップを遮蔽する遮蔽材とを取り付けてなることを特徴とするファスナーにある。ファスナーとしては、スライドファスナー、面ファスナー、スナップファスナー、レールファスナー、バックル、コードストッパー、ナスカン、スナップボタン、ベルトアジャスター等を用いることが
25 できる。

この発明では、導電性金属板等から構成することのできる遮蔽材を無線 I C チップやアンテナを覆う部位に配し、しかも、遮蔽材をファスナーに着脱自在に取着させることができる。遮蔽材で無線 I C チップやアンテナを遮蔽することにより、読取装置との間での信号の接受を禁止することができ、無線 I C チップに格納されたデータに不正なアクセスが行われないようにして、セキュリティを高めることができるようになる。また、同様に読取装置から改ざんされたデータ等が無線 I C チップに格納されるのを防止することができるようになる。

遮蔽材としては、金属板、金属製の網、導電性材を含有した樹脂等を用いて形成することができる。

この発明の第 1 1 の基本的な構成は、固着手段が取り付けられ、被着体に被着されるテープを有する面ファスナーであって、前記ファスナーの係合面に取り付けた無線 I C チップと、前記無線 I C チップを取り付けた前記係合面に係脱し、前記無線 I C チップを被覆する雄部材又は雌部材を少なくとも 1 部が開閉自在に取り付けたことを特徴とする面ファスナーにある。

この発明では、面ファスナーの係合面に無線 I C チップを取り付けると共に、無線 I C チップを取り付けた係合面を、他の係合面を有する面ファスナーで被覆することができる。また、無線 I C チップを被覆する面ファスナーに遮蔽材を設けることにより、着脱自在の遮蔽材で無線 I C チップやアンテナを遮蔽することが可能となり、読取装置との間での信号の接受を禁止することができ、無線 I C チップに格納されたデータに不正なアクセスが行われないようにして、セキュリティを高めることができるようになる。また、同様に読取装置から改ざんされたデータ等が無線 I C チップに格納されるのを防止することができるようになる。また、無線 I C チップは、面ファスナーの係合面間に挟持される構成と

なるので、無線 I C チップを単に面ファスナーの係合面上に載置するだけで無線 I C チップを面ファスナーに容易に取り付けることができるようになる。

この発明の第 1 2 の基本的な構成は、無線 I C チップを取り付けたファスナーが被着された被着体であって、同被着体に前記無線 I C チップと電氣的に接続したアンテナ又は信号線を有することを特徴とする被着体にある。

この発明では、被着体に無線 I C チップ用のアンテナ又は信号線と必要に応じて各種センサとを配し、同信号線を介して各種センサを無線 I C チップと接続することができる。また、アンテナと無線 I C チップとを接続することができる。これらの接続に当たって、ファスナーのテープに配した導電性材或いは導電性繊維材を介して接続することができる。

被着体に被着したファスナーが有する無線 I C チップと読取装置との間で信号を受け受することによって、被着体の真贋判定や被着体の商品管理等を行うことができるようになる。しかも、被着体にアンテナを有しているため読取装置との距離が長くなっても信号の受け受を行うことができるようになる。

このため、例えば、血圧計のセンサを取り付けた被着体を被着した人を所定時間毎や異常血圧を示したときなど、予め無線 I C チップに血圧計を測定する検出条件を設定しておいた検出条件に基づいて血圧の測定を行い、その検出結果を無線 I C チップのメモリに記憶しておくことができる。しかも、各種センサと無線 I C チップとの接続は、信号線を介して行い、記憶した検出結果を予め設定した条件に基づいて読取装置に送信するのをアンテナを介して行うことができるようになる。

また、ファスナーを取り付けるだけで衣服等に無線 I C チップを取り

付けることが可能となるので、例えば、衣服の洗濯中において洗濯機に対して自動的に洗い方を指示することなどが可能となる。また、衣服に温度センサを付けておけば、同衣服を着ている人の体温を検出して同検出した体温をエアコンに無線 I C チップから送信することで、温度を自動的に調整することもできるようになる。

あるいは、徘徊患者の衣服に位置センサを取り付けておけば、徘徊患者の現在位置をオンタイムで監視することなどが可能となる。このように、被着体に無線 I C チップ及びアンテナを有するファスナーを取り付けるだけで、被着体に取り付けた各種センサからの検出信号を様々な形で取り出して有効利用することができるようになる。

この発明の第 1 3 の基本的な構成は、無線 I C チップを取り付けたファスナーが被着された被着体であって、同被着体に前記無線 I C チップを被覆する遮蔽材を有することを特徴とする被着体にある。

無線 I C チップを取り付けたファスナーとしては、スライドファスナー、面ファスナー、スナップファスナー、レールファスナー、バックル、コードストッパー、ナスカン、スナップボタン、ベルトアジャスター等を用いることができる。

この発明では、被着体に無線 I C チップを遮蔽する被着体が設けられているので、遮蔽材の大きさを無線 I C チップやアンテナまでも覆うことのできる大きさとすることができる。遮蔽材としては、金属板、金属製の網、導電性材を含有した樹脂等を用いて形成することができる。遮断材により、アンテナの送受信を禁止して、無線 I C チップのセキュリティを保つこともできる。また、無線 I C チップ又はアンテナを必要な時に遮蔽材で覆うことができるので、現在の居場所を送信できなくすることもでき、個人のプライバシーを守ることも可能となる。

この発明の第 1 4 の基本的な構成は、無線 I C チップを着脱自在に取

り付けてなることを特徴とするファスナーにある。ファスナーとしては、スライドファスナー、面ファスナー、スナップファスナー、レールファスナー、バックル、コードストッパー、ナスカン、スナップボタン、ベルトアジャスター等を用いることができる。

5 この発明の構成では、ファスナーに無線 I C チップを着脱自在に取り付けているため、不正アクセスの防止や所望のデータを格納した無線 I C チップへの交換等が容易に行うことができるようになる。これにより、無線 I C チップに対するセキュリティを高めることができるようになり、読取装置から改ざんされたデータ等が無線 I C チップに格納される
10 のを防止することができるようになる。

 また、無線 I C チップを取り付けたファスナーが被着体と共に洗濯される時、ファスナーから無線 I C チップを取り外しておくことで、洗濯中に無線 I C チップが破損するのを防止することができる。無線 I C チップをファスナー内に内蔵する場合には、無線 I C チップを内蔵するファ
15 スナーの部材を電磁透過性を有する合成樹脂材等で形成しておくことが望ましい。

 スナップボタンの雄雌部材の一方に無線 I C チップ及びアンテナを取り付けた場合には、他方の部材に電源電池を取り付け、雄雌部材の係合により電源電池と無線 I C チップとの接続を行わせ、雄雌部材の離間と
20 きには電源電池と無線 I C チップとの遮断を行わせるように、雄雌部材間にスイッチ機構を構成することができる。

 これらのファスナーに無線 I C チップとアンテナとを取り付けることにより、無線 I C チップとアンテナとを特別な取り付け作業を行わずにベルト等の上記ファスナーと共同して使用する部材に自動的に設置する
25 ことができるようになる。

図面の簡単な説明

- 第1図は、第1の実施形態の無線ICチップの配置位置を示す図である。
- 第2図は、第1図における縦断面図である。
- 5 第3図は、無線ICチップとアンテナ線または信号線の配置位置を示す図である。
- 第4図は、面ファスナーに無線ICチップを取り付けた例を示す図である。
- 第5図は、面ファスナーに無線ICチップを取り付けた変形例を示す
10 図である。
- 第6図は、スナップファスナーに無線ICチップを取り付けた例を示す図である。
- 第7図は、レール状ファスナーに無線ICチップを取り付けた例を示す図である。
- 15 第8図は、第2の実施形態の無線ICチップを下止部近傍に配した例を示す図である。
- 第9図は、第2の実施形態の変形例を示す図である。
- 第10図は、第2の実施形態の他の変形例を示す図である。
- 第11図は、第2の実施形態で電源電池を取り付けた例を示す図であ
20 る。
- 第12図は、第2の実施形態で電源電池を取り付けた変形例を示す図である。
- 第13図は、第2の実施形態で電源電池を取り付けた他の変形例を示す図である。
- 25 第14図は、第13図のスイッチ機構を説明する図である。
- 第15図は、無線ICチップを着脱自在に取り付けた例を示す図であ

る。

第16図は、無線ICチップを着脱自在に取り付けた変形例を示す図である。

第17図は、無線ICチップを着脱自在に取り付けた他の変形例を示す図である。

第18図は、無線ICチップを着脱自在に取り付けた別の変形例を示す図である。

第19図は、導電性繊維材を織糸として用いた例を示す図である。

第20図は、導電性繊維材を織糸として用いた変形例を示す図である。

第21図は、導電性繊維材を編糸として用いた例を示す図である。

第22図は、導電材をファスナーテープに取り付けた例を示す図である。

第23図は、導電材をファスナーテープに取り付けた変形例を示す図である。

第24図は、導電材をファスナーテープに埋め込んだ例を示す図である。

第25図は、エレメントに無線ICチップを設け、導電性繊維材を芯紐に設けた例を示す図である。

第26図は、アンテナ機能を持たせたファスナーエレメントがコイル状であることを示す部分拡大図である。

第27図は、アンテナ機能を持たせたファスナーエレメントがジグザグ状であることを示す部分拡大図である。

第28図は、上止部に無線ICチップを取り付けた例を示す図である。

第29図は、下止部に無線ICチップを取り付けた例を示す図である。

。

第 30 図は、下止部に無線 I C チップを取り付けた変形例を示す図である。

5 第 31 図は、スライダーに無線 I C チップを取り付けた例を示す図である。

第 32 図は、装飾部材に無線 I C チップを取り付けた例を示す図である。

第 33 図は、装飾部材に無線 I C チップを取り付けた変形例を示す図である。

10 第 34 図は、着脱式の引き手に無線 I C チップを取り付けた例を示す図である。

第 35 図は、着脱式の引き手に無線 I C チップを取り付けた変形例を示す図である。

15 第 36 図は、バックルに無線 I C チップを取り付けた例を示す図である。

第 37 図は、ベルトアジャスターに無線 I C チップを取り付けた例を示す図である。

第 38 図は、ナスカンに無線 I C チップを取り付けた例を示す図である。

20 第 39 図は、コードストッパーに無線 I C チップを取り付けた例を示す図である。

第 40 図は、コードストッパーに無線 I C チップを取り付けた変形例を示す図である。

第 41 図は、コードストッパーと被着体との関係を示す図である。

25 第 42 図は、スナップボタンに無線 I C チップを取り付けた例を示す図である。

第 4 3 図は、遮蔽材を配した例を示す図である。

第 4 4 図は、遮蔽材を配した変形例を示す図である。

第 4 5 図は、遮蔽材を配した他の変形例を示す図である。

第 4 6 図は、遮蔽材を配した別の変形例を示す図である。

5 第 4 7 図は、被着体に無線 I C チップを有するスライドファスナーを被着した例を示す図である。

第 4 8 図は、被着体に無線 I C チップを有するスライドファスナーを被着した変形例を示す図である。

10 第 4 9 図は、被着体に無線 I C チップを有するスライドファスナーを被着した他の変形例を示す図である。

第 5 0 図は、被着体に無線 I C チップを有するスライドファスナーを被着した別の変形例を示す図である。

第 5 1 図は、従来例を示す図である。

第 5 2 図は、他の従来例を示す図である。

15 第 5 3 図は、第 5 2 図の断面図である。

発明を実施するための最良の形態

以下、本願発明の好適な実施の形態を添付図面に基づいて具体的に説明する。本願発明におけるファスナーとしては、例えばカバン、スポーツウェアその他の各種の衣類の留め具として、例えばスライドファスナー、面ファスナー、テープ付きスナップファスナー、レール状ファスナー、バックル、コードストッパー、ベルトアジャスター、ナスカン、スナップボタンなどの各種ファスナーを含んでいる。本願発明は、これらのファスナーに対して無線 I C チップ及びアンテナとを有する I D タグの配置構成や I D タグにおけるアンテナ構造を主要な特徴部としている。

20

25

。

本願発明に適用される I D タグの曲型的な態様としては、識別対象物の識別情報などのデータを格納するメモリを備えた無線 I C チップとアンテナとが互いに電氣的に接続されて応答回路を構成している。その応答回路として、無線 I C チップには、例えば検出回路、電源回路、制御回路、メモリ回路、変調回路、発振回路等が組み込まれている。

更に本願発明にあっては、外部からの電磁誘導などにより各回路に電力を供給する無電池式の I D タグ、あるいは電源として電池を内蔵した電源内蔵型の I D タグを含んでいる。このため、上記電源回路としては、電源電池を無線 I C チップと取り付け側に配されている場合における電源回路と、外部にある読取装置からの送信信号をループ状のアンテナで受信したときに、ループ状のアンテナにより前記送信信号の電磁波から発生させた起電力を利用する電源回路とをそれぞれ意味しているものである。

また、本願発明における無線 I C チップは、読取装置からの送信信号により無線 I C チップ内のメモリに格納しているデータを取り出して読取措置に応答信号として送信するもの、読取装置からの送信信号により無線 I C チップ内のメモリに格納しているデータやプログラムの書き換えや更新等を行うことができるもの、更には無線 I C チップ内の制御装置がプログラムに基づいて自動的にメモリ内に格納したデータ等を読取装置に送信することのできるもの等の各種制御形態を行い得る無線 I C チップとして構成されているものである。

本願発明における無線 I C チップの構成は上述の構成及び以下に説明する構成に限定されるものではなく、多様な変更が可能である。

図 1 は本願発明の代表的な第 1 の実施形態であり、スライドファスナーに装着される無線 I C チップ及びアンテナとを有する I D タグの配置位置を模式的に示す概略斜視図である。図 2 は同スライドファスナーの

縦断面図を示している。図 3 は同スライドファスナーに取着される無線 I C チップとファスナーテープに形成したアンテナ線または信号線の配置位置を模式的に示す概略斜視図である。

図 1 において、符号 1 は例えば衣服やカバン等の被着体 2 5 に縫製により被着されたスライドファスナーを示しており、ファスナーテープ 4 には、複数のエレメント 2、上止部 2、開離嵌挿具 1 5、蝶棒 9、箱棒 1 0、スライダー 2、引き手 3、補強テープ 8 等が取り付けられている。

ファスナーテープとしては、例えば合成樹脂繊維を織成又は編成された繊維テープ状の基布、不織布、合成樹脂製シートなどから構成される。ファスナーエレメントとしては、合成樹脂製モノフィラメントをコイル状に巻回してなるコイル状エレメント、平面内に横方向に U 字形に屈曲した部分を長手方向に沿って上下交互に連続してジグザグ状に形成したジグザグ状エレメントなどの連続状エレメント等から構成される。このことは、上述のスライダー、上下止具、補強用シート状部材、開離嵌挿具についても同様であり、その太さや材質及び構造なども様々に変更が可能である。

被着体 2 5 に被着されて被覆されるファスナーテープ 4 の縁部寄りの部位には、無線 I C チップ 2 0 が取り付けられている。無線 I C チップ 2 0 は貼着、接着、溶着或いは射出等の適宜の取り付け手段を用いることによりファスナーテープ 4 に取り付けることができる。また、無線 I C チップ 2 0 には図示せぬアンテナが無線 I C チップ 2 0 と一体に形成されている。

図 2 に示すように無線 I C チップ 2 0 は、図 4 7 に示す外部の読取装置 2 4 との間で信号の送受信を行うアンテナとともに、被着体 2 5 の縫製ライン 2 6 に沿ってスライドファスナー 1 を縫い付けることで目視で

きない状態に配置することができる。

これにより、読取装置からの送信信号で無線 I C チップに格納したデータを呼び出すことができ、無線 I C チップ 20 は、スライドファスナー 1 を単独で使用するときにはスライドファスナー 1 の商品管理や真贋判別用等の識別装置として機能させることができる。また、同スライドファスナー 1 をバックや衣服等の被着体 25 に被着したときには、オリジナル製品としての被着体 25 の真贋判断用や商品管理等の識別装置として機能させることができる。また、必要に応じて読取装置からの送信信号により無線 I C チップに格納されているデータやプログラムの修正、更正等を行うことができる。

図 1 に示すものでは無線 I C チップ 20 には無線 I C チップを作動させる電源を有しておらず、読取装置からの送信信号により発生させた図示せぬアンテナによる起電力で無線 I C チップを作動させることができる。

図 3 に示すスライドファスナー 1 では、ファスナーテープ 4 として、例えば合成樹脂繊維を織成又は編成された繊維テープ状の基布に、織糸又は編み糸として導電性繊維材 12 を織成又は編成したものである。他の構成は図 1 における構成と同じであるので図 1 で用いたと同じ符号を用いることでその説明に代えることとする。

図 3 における導電性繊維材 12 は、図 19 ~ 21 に示すように導電性繊維材 12 は織糸又は編糸として、ファスナーテープ 4 の基布の織成又は編成と同時に織成又は編成することができる。導電性繊維材 12 は、被着体 25 に取り付けた図示せぬセンサ等と無線 I C チップ 20 とを連結する信号線として使用することも、無線 I C チップ 20 のアンテナとして使用することもできる。図 19 ~ 21 においては、織目、編目を分かり易くするために誇張して拡大した状態を示しているものである。

図 3 における導電性繊維材 1 2 の代わりに、図 2 2 ~ 図 2 4 に示すような金属薄板、導電性樹脂等から構成される導電材 1 3 をファスナーテープ 4 の面に貼着、接着、溶着、テープ 3 3 a との一体成形等の各種取り付け手段により取り付けることもできる。図 2 4 では、レール状ファスナー 3 3 を示しているが、ファスナーテープ 4 をレール状ファスナー 3 3 のテープ 3 3 a と同様に樹脂の一体成形で形成するときには図 2 4 におけるテープと同様の構成を取ることができるものである。導電材 1 3 のファスナーテープ 4 への取り付けは、導電材 1 3 と無線 IC チップ 2 0 との接続が担保されれば、ファスナーテープの表面、裏面を問わずどちらの面にも形成することができる。

導電性繊維材 1 2 や導電材 1 3 を無線 IC チップ 2 0 のアンテナとして機能させるときには、一端を無線 IC チップに連結し、他端を開放した 1 本のアンテナ線として形成することも、一端をそれぞれ無線 IC チップに連結すると共に、それぞれの他端を開放した 2 本のアンテナ線として形成することもできる。また、2 本のアンテナ線の前記他端同士を連結したアンテナ或いは両端が無線 IC チップに連結し、中間部をループ状となるように配したアンテナ線として形成することもできる。

本願発明においては、フレキシブルワイヤー等の金属線も導電性繊維材 1 2 における 1 つの形態として含まれるものである。

センサ等と無線 IC チップとを連結する信号線として導電性繊維材 1 2 を用いるときには、お互いに短絡していない 2 本の導電性繊維材を用いて信号線として機能させることができる。導電性繊維材 1 2 と導電材 1 3 との組合せによりアンテナ線や信号線を形成することができる。

無線 IC チップ 2 0 は、図 1 に示すように一方のファスナーテープ 4 に取り付けることも、図 3 に示すように両方のファスナーテープ 4 に取り付けることもできる。

図4は、面ファスナー30のテープ30aに無線ICチップ20を取り付けたものを示している。無線ICチップ20には、図示せぬアンテナが一体に形成されている。図4(b)に示すように面ファスナー30のテープ30aを被着体25に縫製等により被着することで、無線IC
5 チップ20の取り付け状態が外部から目視できない状態とすることができる。

無線ICチップ20のテープ30aへの取り付けは、貼着、接着、溶着、面ファスナーの成形時に一体成形して取り付けるなど適宜の取り付け手段を採用することができる。また、アンテナは、無線ICチップ2
10 0と一体に形成することも、面ファスナー30のテープ30a上に導電体や導電性樹脂等を用いて形成することもできる。

図5に示すように、無線ICチップ20を面ファスナー30の係合面に配置させることで、面ファスナーに取り付けることができる。無線ICチップ20には、図示せぬアンテナが一体に形成されている。この
15 ときには、無線ICチップ20を狭持している面ファスナーを開放することで、無線ICチップ20を面ファスナー30に対して着脱自在とすることができる。これにより、面ファスナー30から無線ICチップ20を取り外すだけで読取装置からの読取を行い得えない状態とすることができ、無線ICチップ20への不正アクセス等を防止することができる。
20 また、無線ICチップ20を被覆する面ファスナー30aに遮蔽材45を設け、同遮蔽材を無線ICチップ20又は同無線ICチップ20のアンテナ21を遮蔽することにより、無線ICチップ20と読取装置間での信号の接受を禁止させることもできる。

無線ICチップ20を面ファスナー30から着脱自在としたことにより、面ファスナー20を被着した被着体25を洗濯する際に、無線IC
25 チップ20を面ファスナー30から取り外した状態で洗濯を行うことが

できるようになる。又、個人のプライバシーを守る必要が生じたときにも、無線 I C チップを面ファスナーから容易に取り外すことができる。

図 6 (a) はスナップファスナー 3 1 のテープ 3 1 a に無線 I C チップ 2 0 を取り付けた例であり、無線 I C チップ 2 0 には、図示せぬアンテナが一体に形成されている。図 6 (b) に示すようにスナップファスナー 3 1 のテープ 3 2 a を被着体 2 5 に縫製、接着、溶着等により被着することで、無線 I C チップ 2 0 の取り付け状態が外部から目視できない状態とすることができる。無線 I C チップ 2 0 のテープ 3 2 a への取り付けは、貼着、接着、溶着、テープ 3 2 a の成形時に一体成形して取り付けるなど適宜の取り付け手段を採用することができる。

図示例によるスナップファスナーは、例えば織成又は編成により得られる繊維テープ状基布に所定の間隔をもって基布中央の長手方向に沿って穿設した複数の取付孔を介して、その表裏面に雄スナップボタン 3 2 b を一体成形して得られる雄係合部材と相手方の繊維テープ状基布の取付孔を介して多数の雌スナップボタン 3 2 c を一体成形して得られる雌係合部材とから構成されている。

図 7 (a) は係合条片 3 3 b を有するレール状ファスナー 3 3 のテープ 3 3 a に無線 I C チップ 2 0 を取り付けた例である。無線 I C チップ 2 0 には、図示せぬアンテナが一体に形成されている。図 7 (b) に示すようにレール状ファスナー 3 3 のテープ 3 3 a を被着体 2 5 に縫製、接着、溶着等により被着することで、無線 I C チップ 2 0 の取り付け状態が外部から目視できない状態とすることができる。無線 I C チップ 2 0 のテープ 3 3 a の取り付けは、貼着、接着、溶着、テープ 3 3 a の成形時に一体成形して取り付けるなど適宜の取り付け手段を採用することができる。

図 8 ~ 図 1 8 は、本願発明の代表的な第 2 の実施形態を示すものであ

り、ファスナーとしてスライドファスナー 1 を用いたものである。無線 IC チップ 20 はファスナーテープ 4 の開離嵌挿具 15 の近傍に配されている構成を除いて、基本的には上述の第 1 の実施形態におけるスライドファスナー 1 と同じ構成を備えている。そのため、第 1 の実施形態において用いたと同じ符号を用いることで、当該部材の説明を省略することとする。

無線 IC チップ 20 は、ファスナーテープ 4 の下端部に接着層を介して溶着されている補強テープ 8 内又は補強テープ 8 の上面に、接着、貼付、溶着等の手段により取り付けられている。また、導電性繊維材 12 がファスナーテープ 4 の織成又は編成と同時に織成又は編成により取り付けて使用することもできる。

導電性繊維材 12 の代わりに導電材を用いて、上記第 1 の実施形態で説明したようにファスナーテープ 4 に取り付けることもできる。

導電性繊維材 12 や導電材 13 を無線 IC チップ 20 のアンテナ線 21 や信号線 23 として機能させるときには、一端を無線 IC チップに連結し、他端を開放した 1 本のアンテナ線 21 や信号線 23 として形成することができる。一端をそれぞれ無線 IC チップに連結すると共に、それぞれの他端を開放した 2 本のアンテナ線 21 や信号線 23 として形成することもできる。また、前記 2 本のアンテナ線 21 における他端同士を連結し、一端をそれぞれ無線 IC チップに連結したり、両端を無線 IC チップに連結したアンテナ線の間部をループ状となるように配することで、ループ状のアンテナ線を形成することもできる。

本願発明においては、フレキシブルワイヤー等の金属線も導電性繊維材 12 における 1 つの形態として含まれているものである。

図 9 は、ファスナーエレメント 14 及び／又は芯紐を構成する少なくとも 1 つの導電性繊維材 12 を無線 IC チップ 20 のアンテナとしても機

能させている例を示している。図 2 6、図 2 7 に示すように、ファスナー
エレメント 1 4 を構成する導電性樹脂モノフィラメントをコイル状、
ジグザグ状に曲げて形成し、ファスナーエレメント 1 4 の一端と無線 I
C チップ 2 0 とを信号線 2 3 で接続することにより、ファスナーエレ
5 エメント 1 4 をアンテナとしての機能を持たせることができる。

或いは、図 2 5 (a) に示すように芯紐 1 1 を構成する繊維の一部に
導電性繊維材 1 2 を配し、同導電性繊維材 1 2 をアンテナとしての機能
も備えさせることもできる。更には、ファスナーエレメント 1 4 を構成
する導電性樹脂モノフィラメントをコイル状に曲げて形成し、アンテナ
10 としての機能を持たせると共に芯紐 1 1 を構成する繊維の少なくとも一
部に導電性繊維材 1 2 を配することで、芯紐 1 1 を導電性樹脂モノフィ
ラメントにおける磁芯部材としての機能を持たせることもできる。

ファスナーエレメント 1 4 の他端を図 8 に示す導電性繊維材 1 2 の他
端と接続してループ状のアンテナとして機能させることもできる。信号
15 線 2 3 は導電性繊維材等の導電性線状材を用いることができ、ファスナ
ーテープ 4 の織成及び／又は編成と同時に形成することもできる。ある
いは、ファスナーエレメント 1 4 に電氣的に接続している蝶棒 9 または
箱棒 1 0 を導電性材から構成し、同蝶棒 9 または箱棒 1 0 に信号線 2 3
電氣的に接続させることもできる。

図 1 0 は、一対のファスナーテープ 4 のそれぞれに無線 I C チップ 2
0 及びアンテナ 2 1 を取り付け例を示しているものであり、無線 I C
チップ 2 0 及びアンテナ 2 1 を下止部 6 の近傍におけるファスナーテー
プ 4 に取り付け、補強テープ 8 で被覆している状態を示している。2 つ
の無線 I C チップ 2 0 には、それぞれ異なるデータや異なる制御機能
25 を持たせることができる。無線 I C チップ 2 0 は、補強テープ 8 で被覆す
る代わりに補強テープ 8 上に接着等の適宜の手段で取り付けることもで

きる。

また、一方の無線 I C チップを電源電池を有するアクティブタイプに構成し、他方の無線 I C チップを電源電池を有さないパッシブタイプに構成することもできる。このとき、双方の無線 I C チップを同期させて、あるいは一方のみの無線 I C チップを選択的に作動させることができるようにする。アクティブタイプの無線 I C チップにより電池の寿命が尽きるまでは、無線 I C チップから所定範囲にわたって電波を安定して発信することができ、電池の寿命後は、パッシブタイプの無線 I C チップによって、読取装置側からの信号に応じて発信する機能を維持させることができるようになる。

図 1 1、1 2 は、図 9 の例において無線 I C チップ 2 0 用の電源電池 2 2 を設けた例を示している。電源電池 2 2 と無線 I C チップ 2 0 とは信号線 2 3 により電氣的に接続されて、電源電池 2 2 の電流・電圧を無線 I C チップ 2 0 に供給できる構成となっている。電源電池 2 2、信号線 2 3 及び無線 I C チップ 2 0 とは補強テープ 8 で被覆すると共に、補強テープ 8 を介してファスナーテープ 4 に取り付けることができる。また、電源電池 2 2 や無線 I C チップ 2 0 を補強テープ 8 上に取り付けることもできる。

特に、電源電池 2 2 を補強テープ 8 上に着脱自在に取り付け、電源電池 2 2 にスイッチ機能を持たせることにより、電源電池 2 2 を押圧するなどしてスイッチ機構を作動させる操作を行うことで、必要な時のみ無線 I C チップ 2 0 を作動させることができる。

電源電池 2 2 としては、スイッチ機能を備えたケース等内に収納配置し、同ケースを補強テープ 8 に取り付けるように構成することができる。このため、本願発明においては、電源電池 2 2 の用語の意味として、電池そのものとして使用する場合も、スイッチ付のケース又はスイッチ

機能なしのケース等に取り外し自在に収納させたケース付の場合をも含めて使用しているものである。

また、図 1 1 においては、無線 I C チップ 2 0 を被着体 2 5 によって被覆させることができるので、無線 I C チップ 2 0 を補強テープ上に取り付けた場合であっても、補強テープ 8 とファスナーテープ 4 間に取り付けた場合であっても、常に被着体 2 5 で被覆された状態とすることができる。

図 1 3 は、一対のファスナーテープ 4 のうち一方に無線 I C チップ 2 0 及びアンテナ 2 1 を取り付け、他方に電源電池 2 2 を取り付けた例を示している。電源電池 2 2 と無線 I C チップ 2 0 とは開離嵌挿具 1 5 を介して電氣的に接続している。開離嵌挿具 1 5 を構成する雄部材と雌部材間には電氣的接続端子が形成され、図 1 4 (a) に示すように前記雄部材と雌部材とを嵌合させて係合することで前記電氣的接続端子同士が接触して電氣的に接続した状態を形成し、図 1 4 (b) に示すように前記雄部材と雌部材との係合を解除して両者が離れると電氣的接続が遮断される。

これにより、開離嵌挿具 1 5 を構成する雄部材と雌部材とにスイッチ機構を持たせることができるようになる。また、電源電池 2 2 にスイッチ機能を持たせることにより、電源電池 2 2 を押圧等の操作でスイッチ機構を作動させることにより、必要な時のみ無線 I C チップ 2 0 を作動させることができるように構成することもできる。

尚、図 1 3 、 1 4 に示す例では、アンテナ 2 1 が無線 I C チップ 2 0 と一緒に構成されている例について説明したが、アンテナ 2 1 は必ずしも無線 I C チップ 2 0 と一緒に構成されている必要はなく、ファスナーテープ 4 や導電性のファスナーエレメント、導電性繊維材を有する芯紐等に形成することができるものである。

図15～図18は、無線ICチップ20をファスナーテープ4に対して着脱自在に構成した例について説明する。図15では補強テープ8に電源電池22と係合部27bとを電氣的に接続して取り付け、あわせて係合部27bとアンテナとしても機能させるファスナーエレメント14
5 又は芯紐11とを信号線23で電氣的に接続した例を示している。無線ICチップ20の係合部27aを補強テープ8に取り付けた係合部27bと係合させることで電源電池付の無線ICチップを形成することができる。

図16はアンテナ21を被着体25内に形成した例を示している。この場合において、電源電池を補強テープ8に取り付けることも、アンテナ21をループ状に形成して起電力を発生させるように構成することも
10 できる。

図17は一对のファスナーテープ4のそれぞれに無線ICチップ20とアンテナ21とを着脱自在に構成した例を示している。また、図18
15 では、無線ICチップ20を補強テープ8に取り付けた係合部27bと着脱自在に取り付けることができる例を示している。係合部27bは信号線23を介して導電性のファスナーエレメント14又は導電性繊維材を有する芯紐11内の導電性繊維材と電氣的に接続している例を示している。

図25(b)、(c)には、エレメント7内に無線ICチップ20を内蔵し、芯紐11内に配した導電性繊維材12と無線ICチップ20とを電氣的に接続した例を示している。芯紐11内の導電性繊維材12をアンテナとして利用することで必要な個数の無線ICチップ20を任意の
20 エレメント7内に取り付けることができる。エレメント7内への無線ICチップ20の取り付けは、エレメント7の成形時に一緒に組み込むことができる。
25

芯紐 1 1 内の導電性繊維材 1 2 をファスナーテープに配した導電性繊維材、導電性材とループ状に接続してアンテナを構成することもできる。

図 2 8 は、上止部 5 に無線 I C チップを内蔵させた例を示しており、
5 また、図 2 9 は下止部 6 に無線 I C チップを内蔵させた例を示している。
これらの例において、アンテナとしては、無線 I C チップ 2 0 と一体に形成することも、導電性のファスナーエレメント、導電性繊維材を有する芯紐等を利用することもできる。

図 3 0 は、下止部 6 に無線 I C チップ 2 0 を着脱自在に嵌入させることのできる穴部 6 a を形成した例を示している。無線 I C チップ 2 0 の
10 アンテナは、無線 I C チップ 2 0 と一体に形成することも、導電性のファスナーエレメント、導電性繊維材を有する芯紐等を利用することもできる。無線 I C チップ 2 0 を穴部 6 a から着脱させることで、読取装置との間での通信を行いたくないときには、いつでも穴部 6 a から無線 I
15 c チップを取り出すことができるようになる。

図 3 1 は、スライダー 2 に無線 I C チップ 2 0 を着脱自在に嵌入させることのできる穴部 2 a を形成した例を示している。無線 I C チップ 2
0 のアンテナは、無線 I C チップ 2 0 と一体に形成することで形成することができる。無線 I C チップ 2 0 を穴部 2 a から着脱させることで、
20 読取装置との間での通信を行いたくないときには、いつでも穴部 2 a から無線 I C チップを取り出すことができるようになる。

図 3 2、図 3 3 は、引き手 3 に着脱自在に取り付けることのできる装飾体 1 9 にアンテナ付の無線 I C チップ 2 0 を取り付けた例を示している。装飾体 1 9 は引き手 3 に挿入嵌合させる構成とすることも、スナップボタン式に係合させることができる。
25

図 3 4、図 3 5 はスライダー 2 に対して着脱自在の引き手 3 に無線 I

Cチップ20、アンテナ21を内蔵させた例を示している。引き手3がスライダーに対して着脱自在となっているため、読取装置との間で送受信を行わせたくないときには、いつでも引き手3をスライダー2から外すことができ、無線ICチップ20に対する不正アクセス等を防止することができる。

図36は、バックル36にアンテナを有する無線ICチップを収納したもので、雄部材36aに形成した収納部36cにアンテナを有する無線ICチップ20を嵌合状態で収納したもので、マイナスイボ等を用いることにより無線ICチップ20を収納部36cから取り外すことができる。必要に応じて接着剤等を用いて無線ICチップ20を収納部36cに内蔵させることもできる。図36(b)は、雄部材36aと雌部材36bとを係合させた状態を示しており、同図から分かるとおり、雄部材36aと雌部材36bとを係合させた状態では、無線ICチップ20が外部に露呈することが防止される。

図37(a)、(b)は、ベルトアジャスター37にアンテナを有する無線ICチップを着脱自在に取り付けた例を示している。ベルトアジャスター37に形成した穴部37aの内周面には凹部が形成され、無線ICチップ20の外周部に形成した凸部と前記凹部とを係合させることで無線ICチップ20の取付を行うことができる。

図38は、ナスカン38に無線ICチップ20を着脱自在に嵌入させることができる穴部38aを形成した例を示している。穴部38aに嵌入する無線ICチップ20には、図示せぬアンテナを一体的に形成しておくことができる。符号35は、長さ調整自在に取り付けられたベルトである。

図39は、コードストッパー39に無線ICチップ20を取り付けた例を示している。コードストッパー39本体に螺合した蓋39bとコー

ドストッパー 39 本体間に空間部を形成し、同空間部にアンテナを有する無線 IC チップ 20 を収納させることができる。蓋をコードストッパー 39 本体から取り外すことにより、無線 IC チップを取り出すことができる。

5 また、図 40、41 に示すようにコードストッパー 39 本体の外周面に電気接触片を有する面ファスナー 30 を形成し、被着体 25 に取り付け
10 つけたセンサ 28 及び信号線 29 とを同被着体 25 に取り付けられた面ファスナー 30 に形成した電気接触片と前記コードストッパー 39 の電気接触片とを電氣的に接続することで、センサ 28 で検出したデータを無線 IC
10 チップ 20 に取り込むことができる。また、取り込んだ前記データを読取装置に送信することができるようになる。

15 センサ 28 として心拍数を計測するセンサを用いたときには、例えば、ジョギング中での心拍数を計測することなど幅広い用途に使用することができるようになる。符号 39 a は、長さ調整自在に取り付けられた紐である。

20 図 42 は、被着体 25 に固定された雄ボタン 40 b と雌ボタン 40 a とからなるスナップボタン 40 にアンテナを有する無線 IC チップを内蔵した例を示している。雄ボタン 40 b 又は雌ボタン 40 a に設けられた蓋 40 c を着脱することで無線 IC チップ 20 をスナップボタン 40
20 に内蔵させることができる。蓋 40 c を用いたことにより、不要のときには無線 IC チップ 20 をスナップボタン 40 から取り出しておくことができ、無線 IC チップへの不正アクセス等を防止することができる。

25 図 43～図 46 には、遮蔽材 45 により無線 IC チップ 20 及びアンテナ 21 を遮蔽することのできる例を示している。遮蔽材 45 としては金属板、金属網、磁性材を含有した樹脂板等を用いることができる。遮蔽材 45 を備えた部材はスライドファスナー 1 に着脱自在に取り付ける

ことも、被着体 25 に取り付けることもできる。遮蔽材 45 を備えた部材をスライドファスナー 1 や被着体 25 に着脱自在とする構成としては、面ファスナー 30 を用いたりスナップボタン 40 等の着脱可能なファスナーを用いることを行うことができる。

- 5 図 43 に示すように、面ファスナー 30 を係合させることで遮蔽材 45 が無線 IC チップ 20 を被覆し、無線 IC チップ 20 からの発信又は読取装置からの信号の受信を遮蔽することができる。

図 44 に示すように、ファスナーエレメント 14 等長手方向にわたってアンテナが形成されているときには、アンテナ全域を遮蔽材 45 で覆うことが必要である。また、図 45 に示すように遮蔽材 45 の前面側に
10 アンテナ 21 を形成し、遮蔽材 45 を備えた被着体 25 でスライドファスナー 1 を覆うことで、スライドファスナー 1 とアンテナ 21 とを同時に遮蔽と被覆とを行うことができる。

図 44 に示すように、ファスナーエレメント 14 等長手方向にわたってアンテナが形成されているときには、アンテナ全域を遮蔽材 45 で覆うことが必要である。また、図 45 に示すように遮蔽材 45 の前面側に
15 アンテナ 21 を形成し、遮蔽材 45 を備えた被着体 25 でスライドファスナー 1 を覆うことで、スライドファスナー 1 とアンテナ 21 とを同時に遮蔽と被覆とを行うことができる。

20 図 47～図 49 は、本願発明のファスナーを被着体 25 である衣服に被着した例を示している。被着体 25 に予めアンテナ 21 や各種センサ 28、信号線 29 を取り付けておき、例えば、ファスナーとしてスライドファスナー 1 を被着体 25 に被着するときには、スライドファスナー 1 に設けた導電性繊維材や導電材を信号線として使用し、前記信号線を
25 前記導電性繊維材や導電材からなる信号線に接続することで、センサ 28 での検出値をスライドファスナー 1 に取り付けた図示せぬ無線 IC チ

ップに格納することができる。

外部に配した読取装置 24 と無線 IC チップとの間で信号の送受信を行うことで、無線 IC チップに格納した前記センサからの検出値を読取装置 24 に送信することができる。また、前記スライドファスナー 1 に
5 設けた導電性繊維材や導電材を送受信用アンテナとして使用することにより、読取装置 24 と無線 IC チップ間の距離が広がっても同送受信用アンテナを用いて信号の送受信を行うことができる。

スライドファスナー 1 に電源電池を備えているときには、無線 IC チップに格納したプログラムに従って、例えば所定時間毎等において無線
10 IC チップから読取装置 24 に各種データを送信することができる。ファスナーに取り付けた無線 IC チップに電源電池を有した（アクティブタイプ）と電源電池を有さない（パッシブタイプ）双方の機能を併せ持たせ、電源によって少なくとも数年は有電起動機能を備えさせることで、製造や販売段階での無線 IC チップからの電波が所定範囲内に亘って
15 安定した状態で読取装置により受信することができるようになり、電源の寿命後には読取装置側からの信号に応じて発信する機能を維持させることができる。

しかも、アクティブタイプに無線 IC チップとパッシブタイプの無線 IC チップとをファスナーに取り付け、双方の無線 IC チップを同期さ
20 せて、あるいは一方のみの無線 IC チップを選択的に作動させることができる。これにより、アクティブタイプの無線 IC チップにより電池の寿命が尽きるまでは、無線 IC チップから所定範囲にわたって電波を安定して発信することができ、電池の寿命後は、パッシブタイプの無線 IC チップによって、読取装置側からの信号に応じて発信する機能を維持
25 させることができるようになる。

図 49 に示すように被着体 25 に太陽電池 46 を取り付け、被着体 2

5に取り付けた各センサやスライドファスナー1に取り付け無線ICチップの電源電池とすることができる。

IDタグを識別対象物である医療用の衣服に使用した場合等において、医療用衣服の生地には所要数のセンサが取着することができる。センサとしては、患者の心拍数、呼吸、血圧、体温、脳波などを常に監視するセンサや現在の所在位置を検出する位置センサなど各種センサを用いることができる。被着体25としては、衣服に限らず帽子等に無線ICチップを備えたファスナーを取り付けることもできる。

本願発明の無線ICチップを取り付けたファスナーは、無線ICチップ等を被着体の目立たない部位に完全に覆うことができ、無線ICチップの存在を容易に認識することはできない状態とすることができる。しかも、無線ICチップ等を簡単に被着物から取り外せることができない部位に配することもできる。

これにより、無線ICチップに格納するデータとしてセキュリティ番号などを格納することにより、商品の紛失対策、盗難対策、偽造対策の信頼性が十分に保証できる。また、無線ICチップのメモリに個々の商品情報などを格納することにより、商品の生産から物流、販売等の全ての商品管理を合理的に行うことができる。また、無線ICチップをファスナーに着脱自在に取り付けることができるので、必要なときには無線ICチップをファスナーから取り外しておくことができるようになる。

なお、本願発明は上記実施形態に限定されるものではなく、それらの実施形態から当業者が容易に変更可能な技術的な範囲をも当然に包含するものである。

請求の範囲

1. 固着手段が取り付けられ、被着体（25）に被着されるテープ（4、30a、31a、32a、33a）を有するファスナーであって、
5 前記ファスナーに取り付けた無線ICチップ（20）と、
前記テープ（4、30a、31a、32a、33a）の長手方向に連続して配した前記無線ICチップ（20）のアンテナ（21）又は信号線（23）と、
を有してなることを特徴とするファスナー。
- 10 2. 前記アンテナ（21）又は信号線（23）が、前記テープ（4、30a、31a、32a、33a）に織成又は編成されてなることを特徴とする請求の範囲第1項記載のファスナー。
3. 前記アンテナ（21）又は信号線（23）が、前記テープ（4、30a、31a、32a、33a）に貼付、接着、溶着或いは埋め込ま
15 れてなることを特徴とする請求の範囲第1項記載のファスナー。
4. 前記アンテナ（21）又は信号線（23）が、スライドファスナー（1）の芯紐（11）に形成されてなることを特徴とする請求の範囲第1～3項のいずれかに記載のファスナー。
5. 前記アンテナ（21）又は信号線（23）が、スライドファス
20 ナー（1）のファスナーエレメント（14）に形成され、同ファスナーエレメント（14）が導電性樹脂モノフィラメントを曲げて形成されてなることを特徴とする請求の範囲第1項記載のファスナー。
6. 固着手段が取り付けられ、被着体（25）に被着されるテープ（4、30a、31a、32a、33a）を有するファスナーであって、
25 同テープ（4、30a、31a、32a、33a）における前記被着体（25）で被覆される部位に無線ICチップ（20）が取り付けられ

てなることを特徴とするファスナー。

7. . 前記無線 I C チップ (2 0) に接続したアンテナ (2 1) 又は信号線 (2 3) が、前記ファスナーに取り付けられてなることを特徴とする請求の範囲第 6 項記載のファスナー。

5 8. 前記アンテナ (2 1) 又は信号線 (2 3) が、前記テープ (4 、 3 0 a 、 3 1 a 、 3 2 a 、 3 3 a) に織成又は編成されてなることを特徴とする請求の範囲第 7 項記載のファスナー。

9. 前記アンテナ (2 1) 又は信号線 (2 3) が、前記テープ (4 、 3 0 a 、 3 1 a 、 3 2 a 、 3 3 a) に貼付、接着、溶着或いは埋め込ま
10 れてなることを特徴とする請求の範囲第 7 項記載のファスナー。

1 0 . 前記アンテナ (2 1) 又は信号線 (2 3) が、スライドファスナー (1) の芯紐 (1 1) に形成されてなることを特徴とする請求の範囲第 7 ~ 9 項のいずれかに記載のファスナー。

1 1 . 前記芯紐 (1 1) を構成する少なくとも一部の繊維に、導電性
15 繊維材 (1 2) が用いられてなることを特徴とする請求の範囲第 1 0 項記載のファスナー。

1 2 . 前記アンテナ (2 1) 又は信号線 (2 3) が、スライドファスナー (1) のファスナーエレメント (1 4) に形成され、同ファスナーエレメント (1 4) が導電性樹脂モノフィラメントを曲げて形成されて
20 なることを特徴とする請求の範囲第 7 項記載のファスナー。

1 3 . 被着体 (2 5) に被着されるファスナーテープ (4) を有するスライドファスナー (1) であって、

同ファスナーテープ (4) における止部 (5 、 6 、 1 5) の近傍に無線 I C チップ (2 0) が取り付けられてなることを特徴とするスライド
25 ファスナー。

1 4 . 前記無線 I C チップ (2 0) に接続したアンテナ (2 1) 又は

信号線（２３）が、前記ファスナーに取り付けられてなることを特徴とする請求の範囲第１３項記載のファスナー。

５ １５． 前記無線ＩＣチップ（２０）に接続した前記アンテナ（２１）又は信号線（２３）が、前記ファスナーテープ（４）に織成又は編成されてなることを特徴とする請求の範囲第１４項記載のスライドファスナー。

１０ １６． 前記無線ＩＣチップ（２０）に接続した前記アンテナ（２１）又は信号線（２３）が、前記ファスナーテープ（４）に貼付、接着、溶着或いは埋め込まれてなることを特徴とする請求の範囲第１４項記載のファスナー。

１７． 前記無線ＩＣチップ（２０）に接続した前記アンテナ（２１）又は信号線（２３）が、スライドファスナー（１）の芯紐（１１）に形成されてなることを特徴とする請求の範囲第１４～１６項のいずれかに記載のスライドファスナー。

１５ １８． 前記芯紐（１１）を構成する少なくとも一部の繊維に導電性繊維材（１２）が用いられてなることを特徴とする請求の範囲第１７項記載のスライドファスナー。

２０ １９． 前記無線ＩＣチップ（２０）に接続した前記アンテナ（２１）又は信号線（２３）が、スライドファスナー（１）のファスナーエレメント（１４）に形成され、同ファスナーエレメント（１４）が導電性樹脂モノフィラメントを曲げて形成されてなることを特徴とする請求の範囲第１４～１６項のいずれかに記載のスライドファスナー。

２０． 被着体（２５）に被着されるファスナーテープ（４）を有するスライドファスナーであって、

２５ スライドファスナー（１）の止部（５、６、１５）に無線ＩＣチップ（２０）を取り付けてなることを特徴とするスライドファスナー。

21. 前記無線 I C チップ (20) が、前記止部 (5、6、15) に内蔵されてなることを特徴とする請求の範囲第 20 項記載のスライドファスナー。
22. 前記無線 I C チップ (20) が、前記止部 (5、6、15) に着脱自在に取り付けられてなることを特徴とする請求の範囲第 20 項記載のスライドファスナー。
23. 前記止部が、上止部 (5) であることを特徴とする請求の範囲第 20 ~ 22 項のいずれかに記載のスライドファスナー。
24. 前記止部が、下止部 (6) であることを特徴とする請求の範囲第 20 ~ 22 項のいずれかに記載のスライドファスナー。
25. 前記止部が、開離嵌挿具 (15) であることを特徴とする請求の範囲第 20 ~ 22 項のいずれかに記載のスライドファスナー。
26. 被着体 (25) に被着されるファスナーテープ (4) を有するスライドファスナー (1) であって、
- 15 芯紐 (11) を構成する少なくとも一部の繊維材に導電性繊維材 (12) を用いた芯紐 (11) と、
- 樹脂製ファスナーエレメント (14) の少なくとも 1 つに埋め込んだ無線 I C チップ (20) と、
- を備え、
- 20 前記無線 I C チップ (20) と前記導電性繊維材 (12) とが電氣的に接続されてなることを特徴とするスライドファスナー。
27. 被着体 (25) に被着されるファスナーテープ (4) を有するスライドファスナー (1) において、
- 樹脂製ファスナーエレメント (14) の少なくとも 1 つに埋め込んだ
- 25 無線 I C チップ (20) と、
- 前記ファスナーテープ (4) に取り付けたアンテナ (21) 又は信号

線（２３）と、

を備え、

前記無線ＩＣチップ（２０）と前記アンテナ（２１）又は信号線（２
３）とが電氣的に接続されてなることを特徴とするスライドファスナー
5 。

２８． 被着体（２５）に被着されるファスナーテープ（４）を有する
スライドファスナー（１）において、

アンテナ（２１）を有する無線ＩＣチップ（２０）が、樹脂製のスラ
イダー（２）に取り付けられてなることを特徴とするスライドファスナ
10 ー。

２９． 前記アンテナ（２１）を有する無線ＩＣチップ（２０）が、ス
ライダー（２）内に内蔵されてなることを特徴とする請求の範囲第２８
項記載のスライドファスナー。

３０． 前記アンテナ（２１）を有する無線ＩＣチップ（２０）が、ス
ライダー（２）に着脱自在に取り付けられてなることを特徴とする請求
15 の範囲第２８項記載のスライドファスナー。

３１． 被着体（２５）に被着されるファスナーテープ（４）を有する
スライドファスナー（１）において、

アンテナ（２１）を有する無線ＩＣチップ（２０）が、引き手（３）
20 に対して着脱自在に取り付けた装飾部材（１９）内に内蔵されてなるこ
とを特徴とするスライドファスナー。

３２． 固着手段が取り付けられ、被着体（２５）に被着されるテープ
（４、３０ａ、３１ａ、３２ａ、３３ａ）を有するファスナーであって

、
25 無線ＩＣチップ（２０）、電源電池（２２）及びアンテナを取り付けて
なることを特徴とするファスナー。

33. 前記無線 I C チップ (20) 及び/又は電源電池 (22) が、前記テープ (4、30a、31a、32a、33a) に着脱自在に取り付けられてなることを特徴とする請求の範囲第32項記載のファスナー。
- 5 34. 前記ファスナーが、左右に開閉する左右一対の前記ファスナーテープ (4) と開離嵌挿具 (15) とを備え、前記無線 I C チップ (20) が一方のテープ (4) に取り付けられ、無線 I C チップ (20) の電源電池 (22) が他方のテープ (4) に取り付けられてなり、前記開離嵌挿具 (15) の係脱操作により前記無線 I C チップ (20) と電源電池 (22) との接続及び断接を行うスイッチを形成したことを特徴とする請求の範囲第32又は33項記載のファスナー。
- 10 35. 無線 I C チップと、
前記無線 I C チップを遮蔽する遮蔽材と、
を取り付けてなることを特徴とするファスナー。
- 15 36. 前記遮蔽材が、無線 I C チップ (20) と接続したアンテナ (21) を遮蔽してなることを特徴とする請求の範囲第35項記載のファスナー。
37. 前記ファスナーが、被着体 (25) に被着されるテープ (4、30a、31a、32a、33a) を有することを特徴とする請求の範囲第35又は36項記載のファスナー。
- 20 38. 固着手段が取り付けられ、被着体 (25) に被着されるテープ (30a) を有する面ファスナーであって、
前記ファスナーの係合面に取り付けた無線 I C チップと、
前記無線 I C チップを取り付けた前記係合面に係脱し、前記無線 I C
25 チップを被覆する雄部材又は雌部材を少なくとも1部が開閉自在に取り付けたことを特徴とする面ファスナー。

39. 前記無線 I C チップを被覆する雄部材又は雌部材ファスナーが、前記無線 I C チップを遮蔽する遮蔽材を有してなることを特徴とする請求の範囲第 38 項記載の面ファスナー。

40. 無線 I C チップ (20) を取り付けたファスナーが被着された被着体であって、

同被着体に前記無線 I C チップ (20) と電氣的に接続したアンテナ (21) 又は信号線 (23) を有することを特徴とする被着体。

41. 前記ファスナー (1) のテープ (4) に導電性材 (13) 或いは導電性繊維材 (12) を配し、

10 前記被着体 (25) に各種センサ (28) を取り付け、

前記テープ (4) に配した導電性材 (13) 或いは導電性繊維材 (12) を介して前記各種センサ (28) 及び前記アンテナ (21) 又は信号線 (23) と前記無線 I C チップ (20) とを電氣的に接続してなることを特徴とする請求の範囲第 40 項記載の被着体。

15 42. 無線 I C チップ (20) を取り付けたファスナーが被着された被着体であって、

同被着体に前記無線 I C チップ (20) を被覆する遮蔽材を有することを特徴とする被着体。

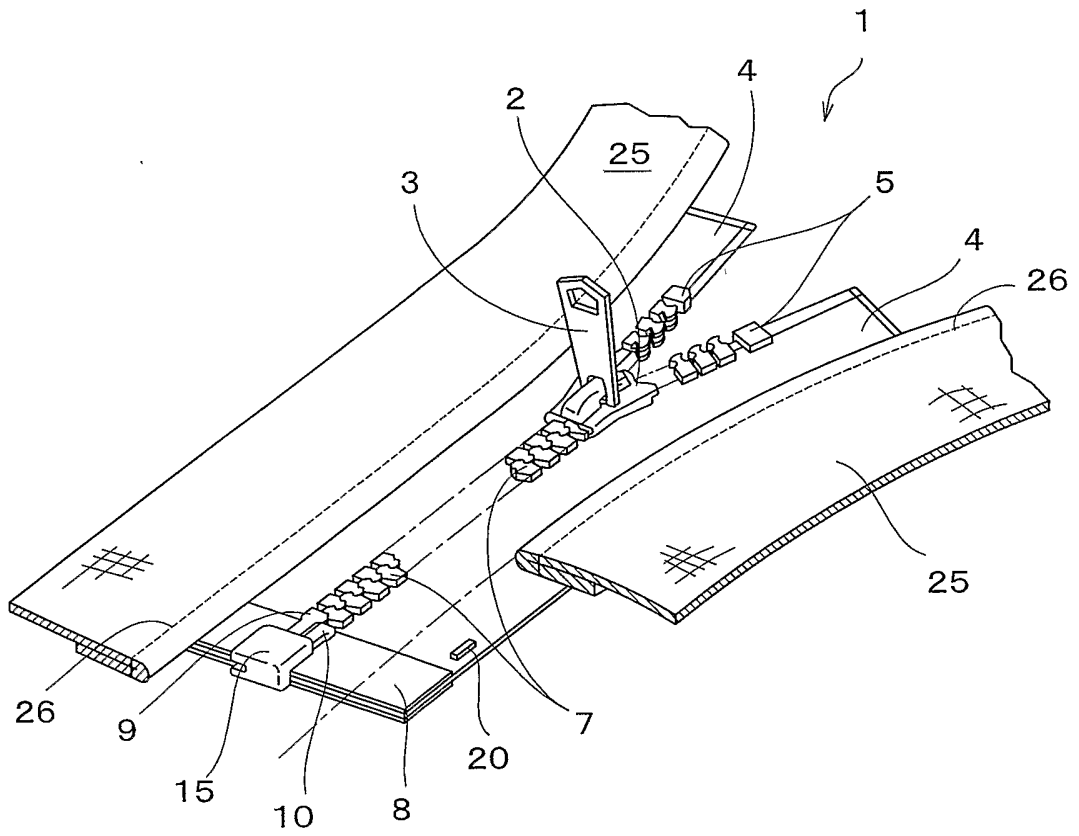
43. 前記ファスナーが、無線 I C チップ (20) と接続したアンテナ (21) を備え、前記被着体 (25) に前記アンテナ (21) を覆う遮蔽材 (45) を有することを特徴とする請求の範囲第 42 項記載の被着体。

44. 無線 I C チップ (20) を着脱自在に取り付けてなることを特徴とするファスナー。

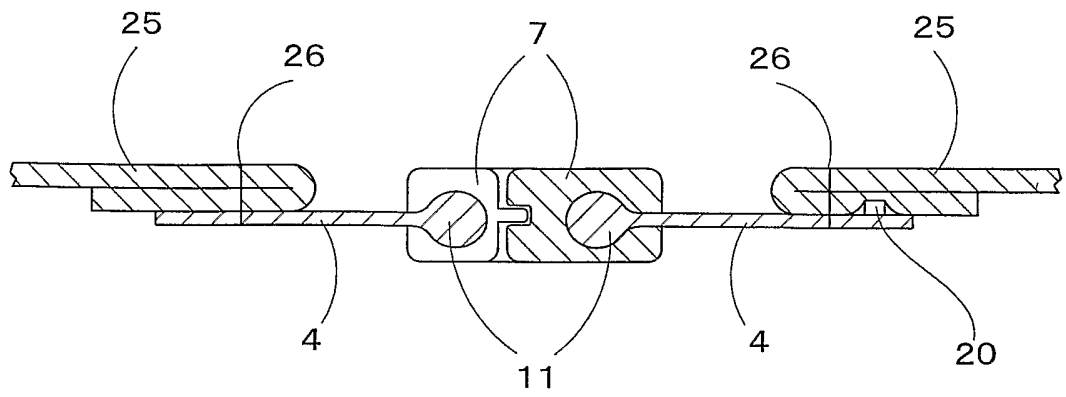
25 45. 前記ファスナーが、スナップファスナーであることを特徴とする請求の範囲第 44 項記載のファスナー。

46. 前記ファスナーが、レールファスナーであることを特徴とする請求の範囲第44項記載のファスナー。
47. 前記ファスナーが、バックルであることを特徴とする請求の範囲第44項記載のファスナー。
- 5 48. 前記ファスナーが、コードストッパーであることを特徴とする請求の範囲第44項記載のファスナー。
49. 前記ファスナーが、ナスカンであることを特徴とする請求の範囲第44項記載のファスナー。
50. 前記ファスナーが、スナップボタンであることを特徴とする請求の範囲第44項記載のファスナー。
- 10 51. 前記ファスナーが、スライドファスナーであることを特徴とする請求の範囲第44項記載のファスナー。
52. 前記ファスナーが、面ファスナーであることを特徴とする請求の範囲第44項記載のファスナー。
- 15 53. 前記ファスナーが、ベルトアジャスターであることを特徴とする請求の範囲第44項記載のファスナー。

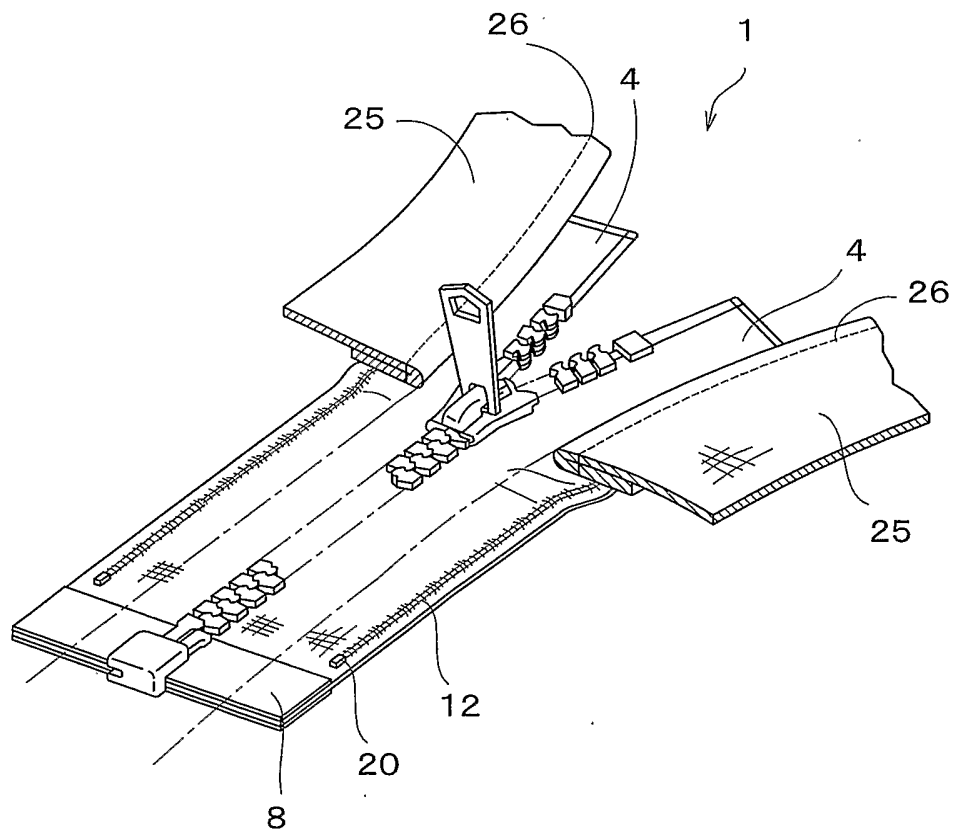
第1図



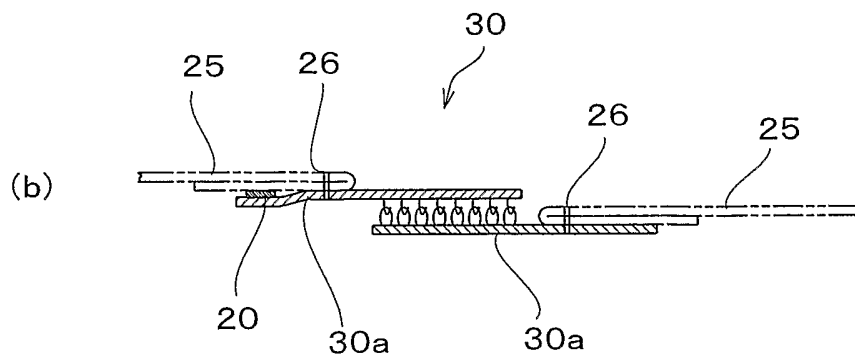
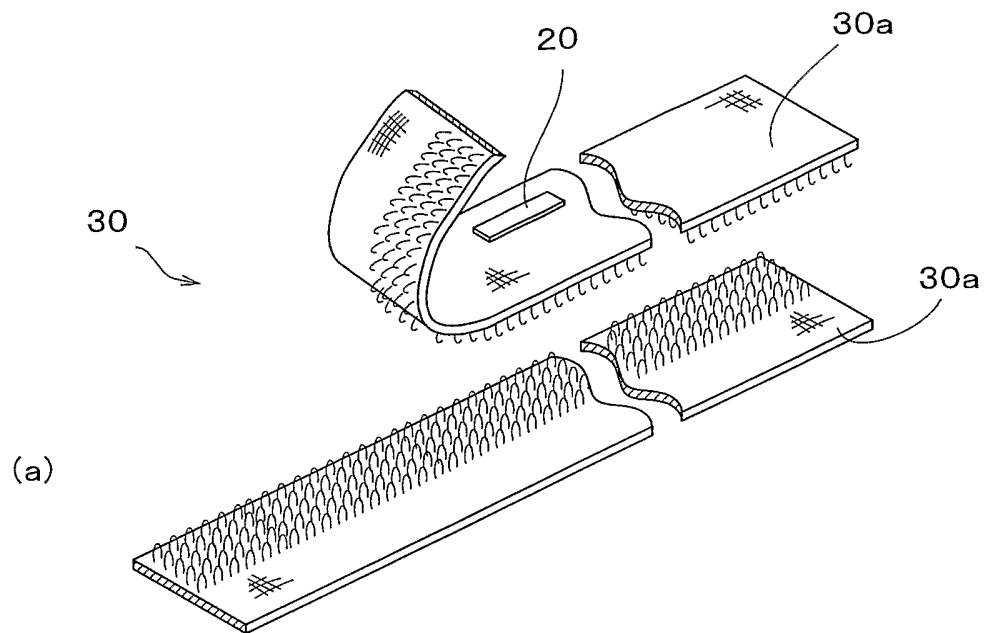
第2図



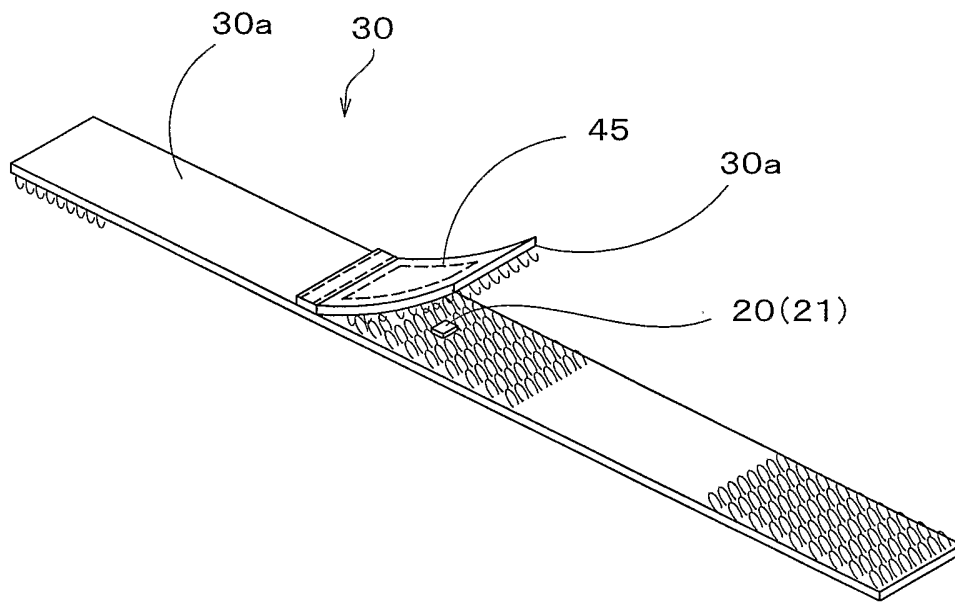
第3図



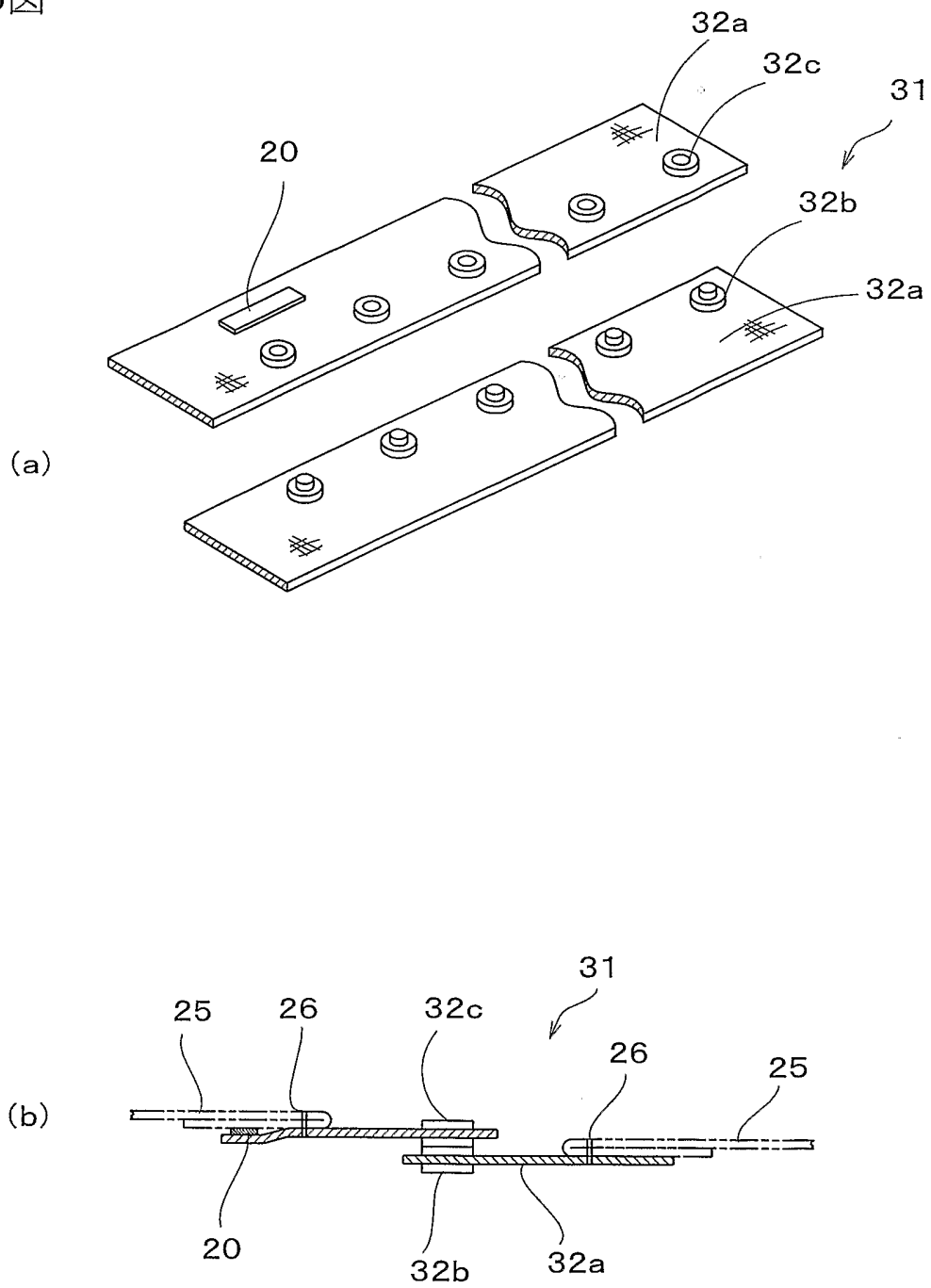
第4図



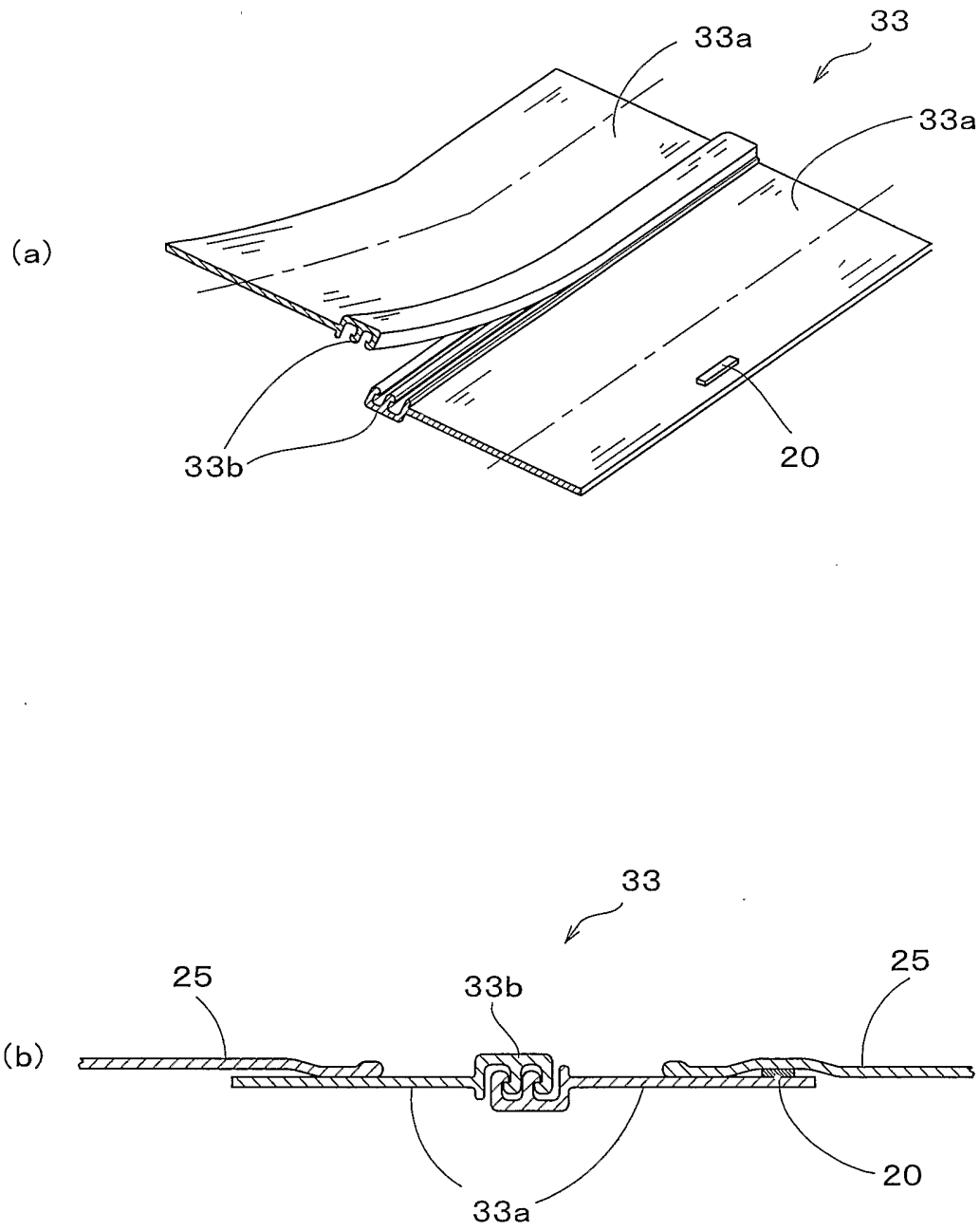
第5図



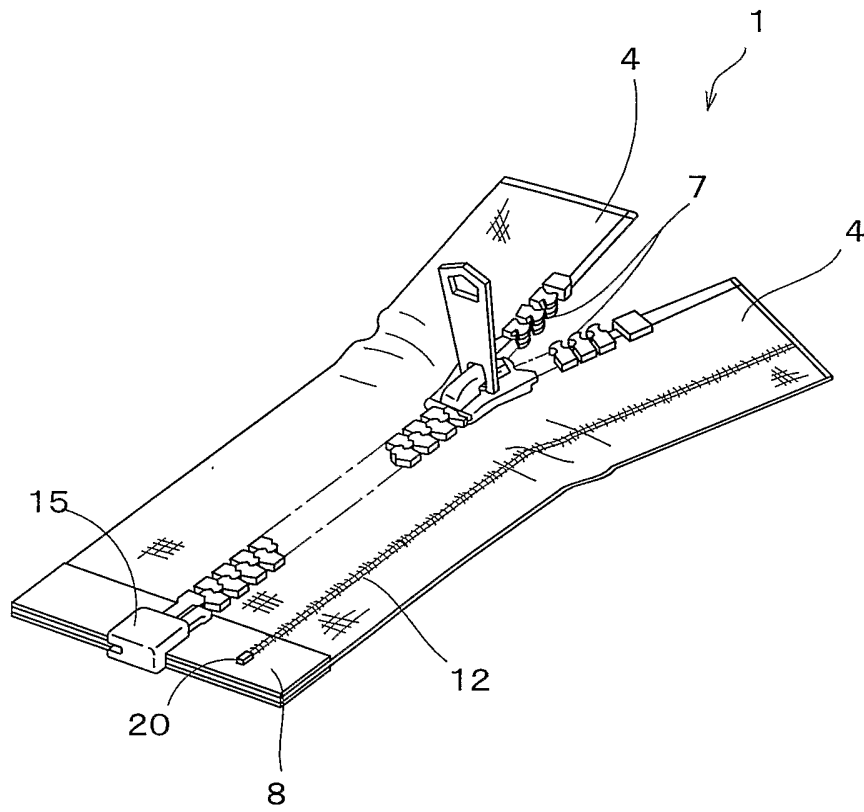
第6図



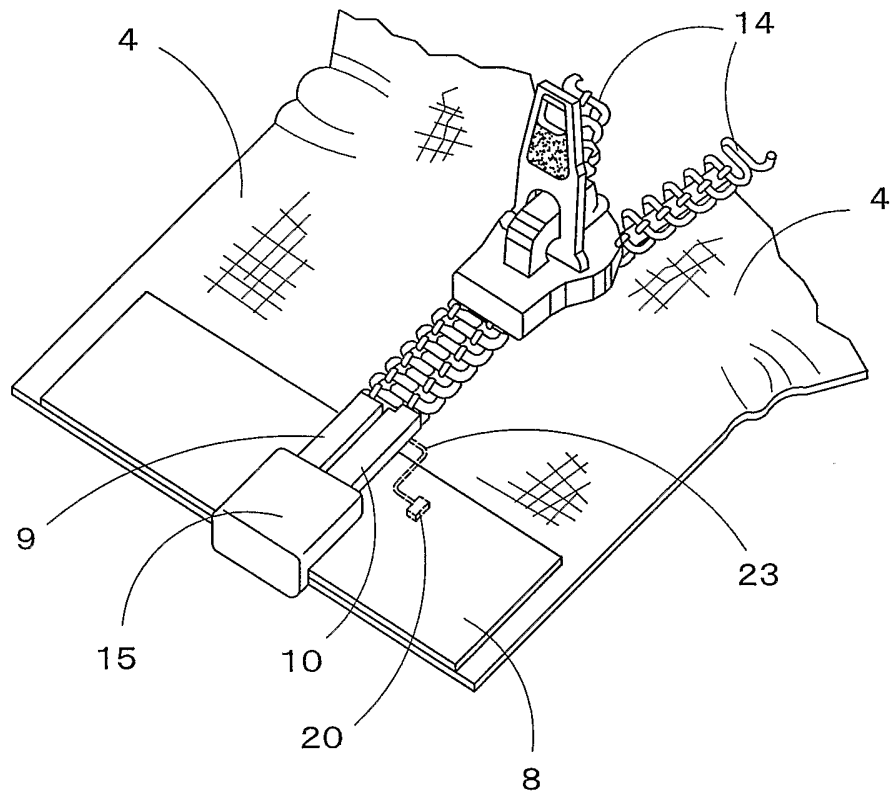
第7図



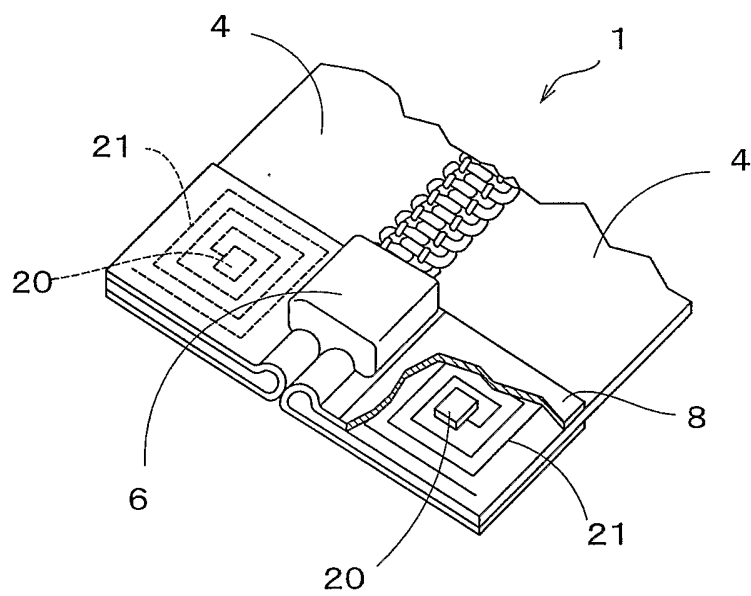
第8図



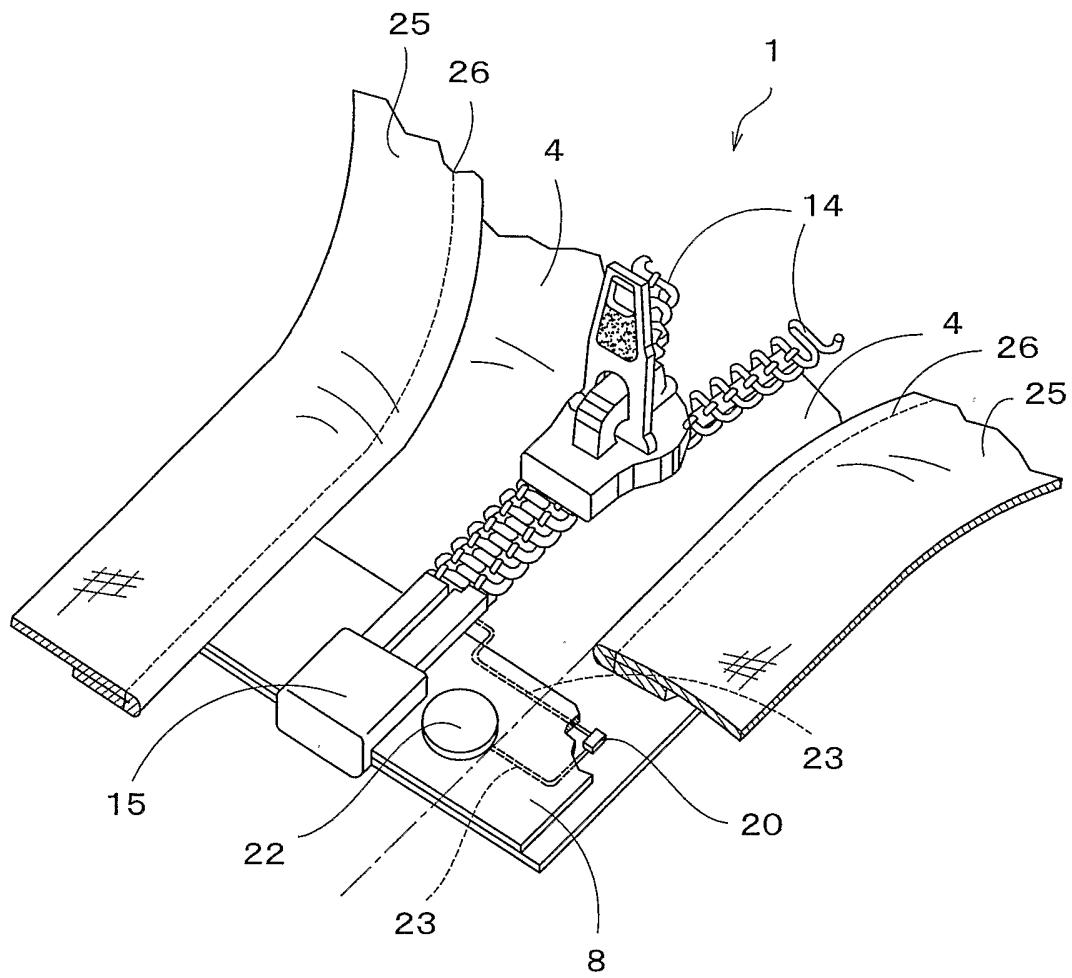
第9図



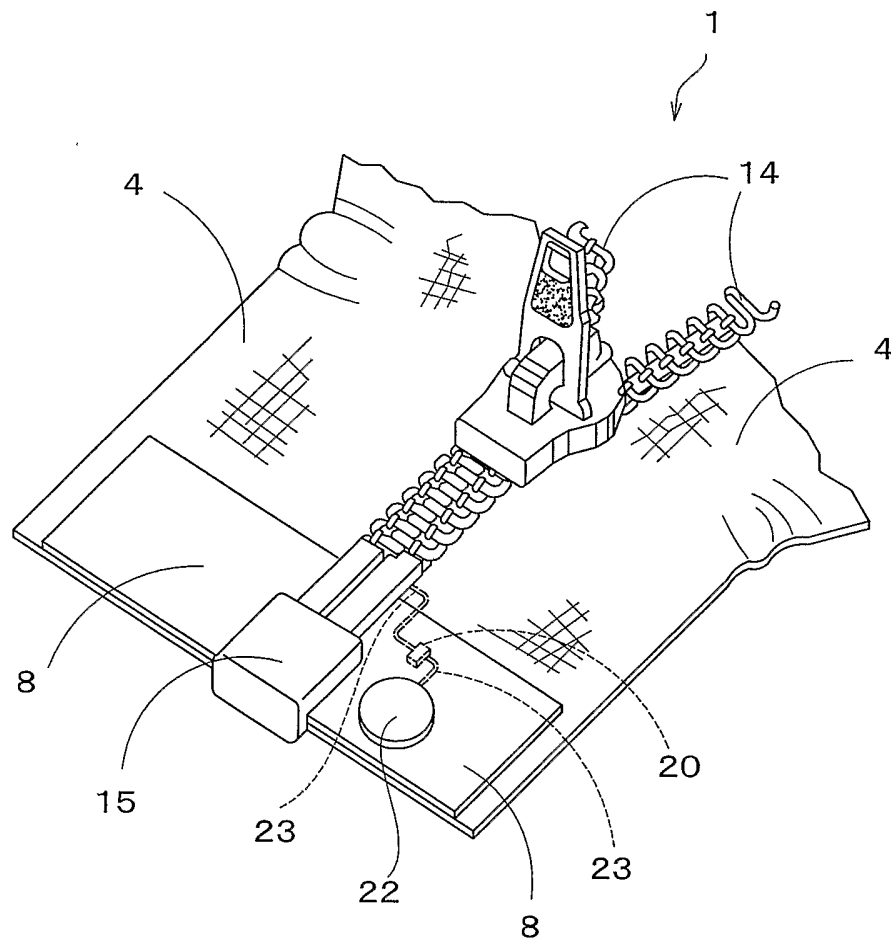
第10図



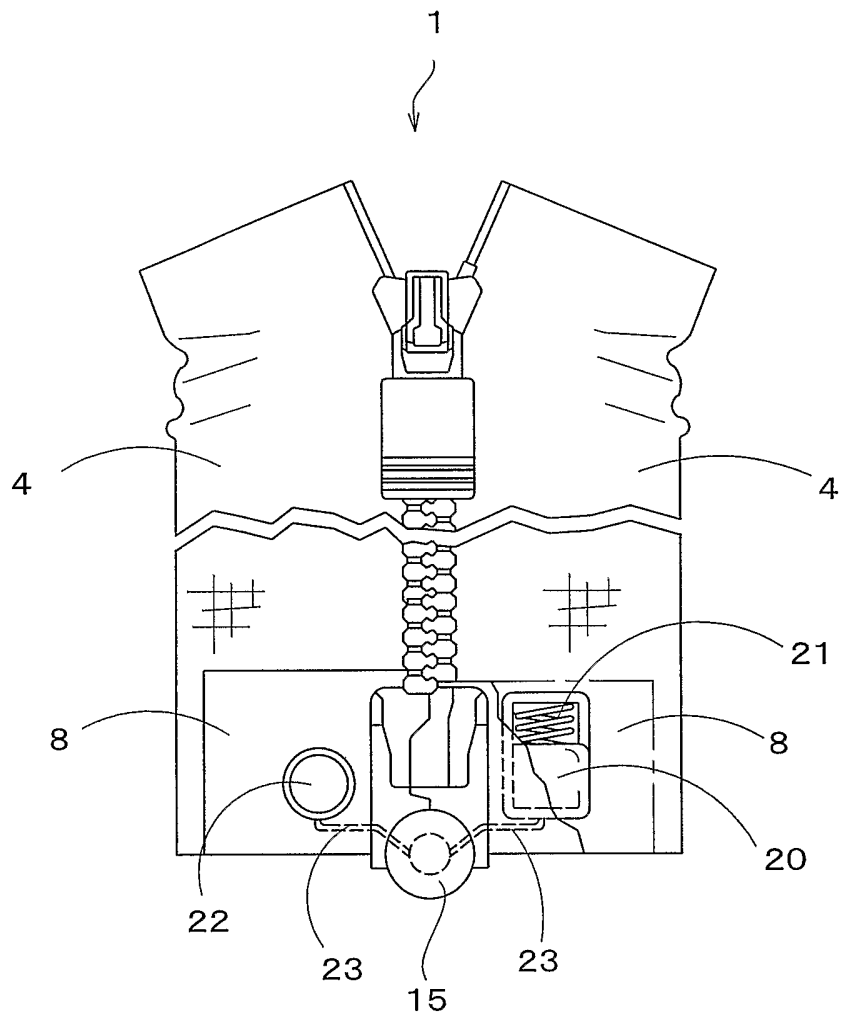
第11図



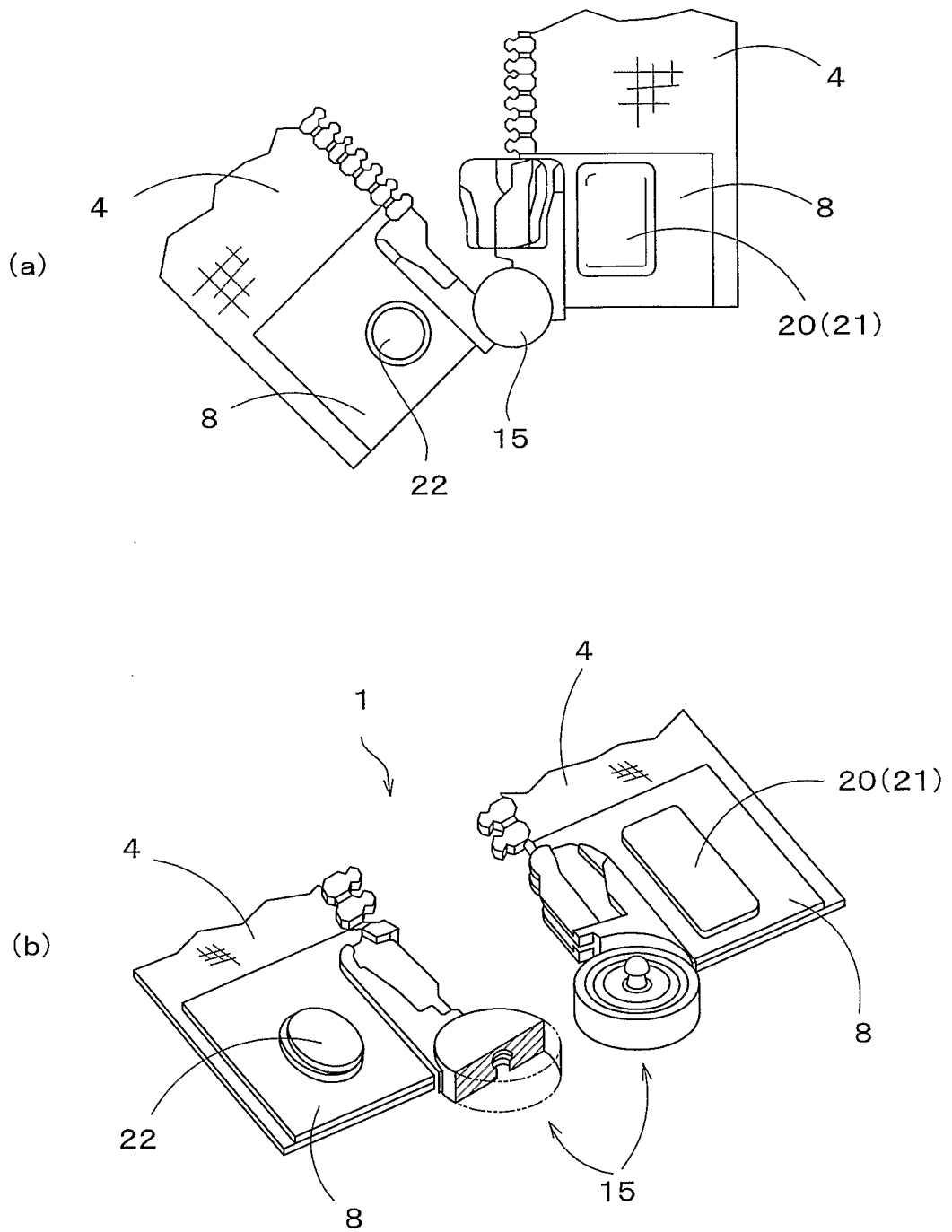
第12図



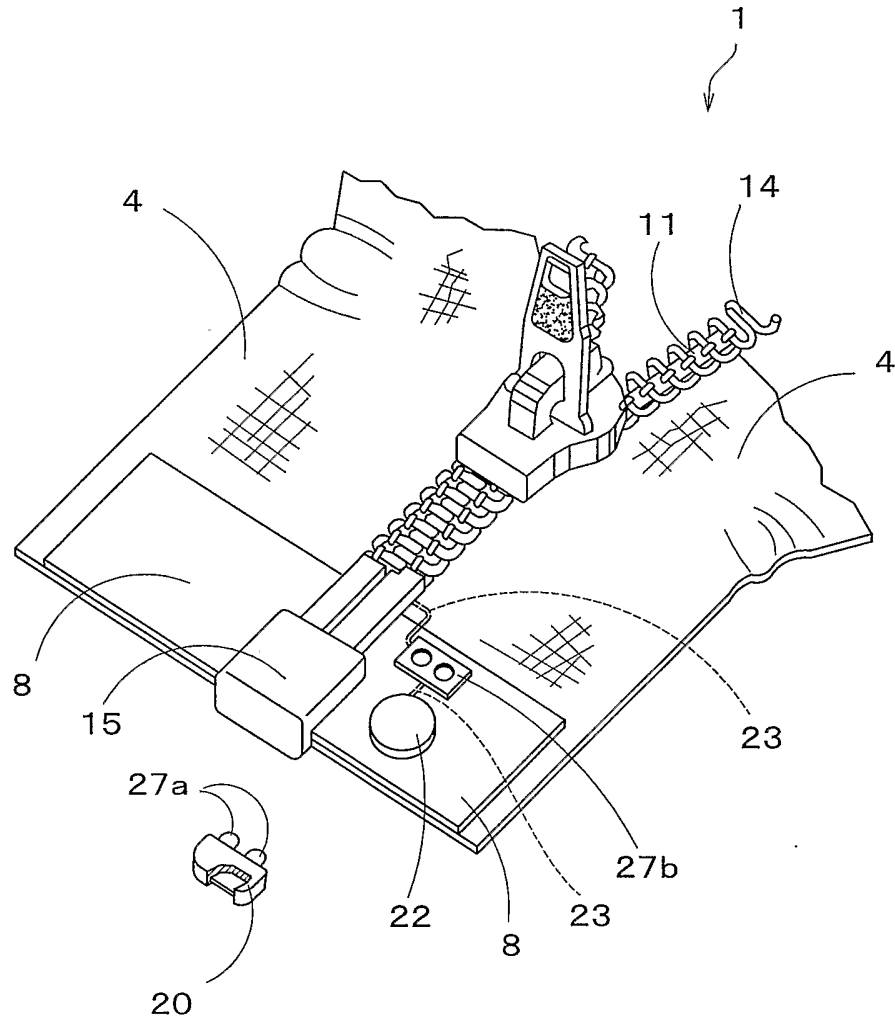
第13図



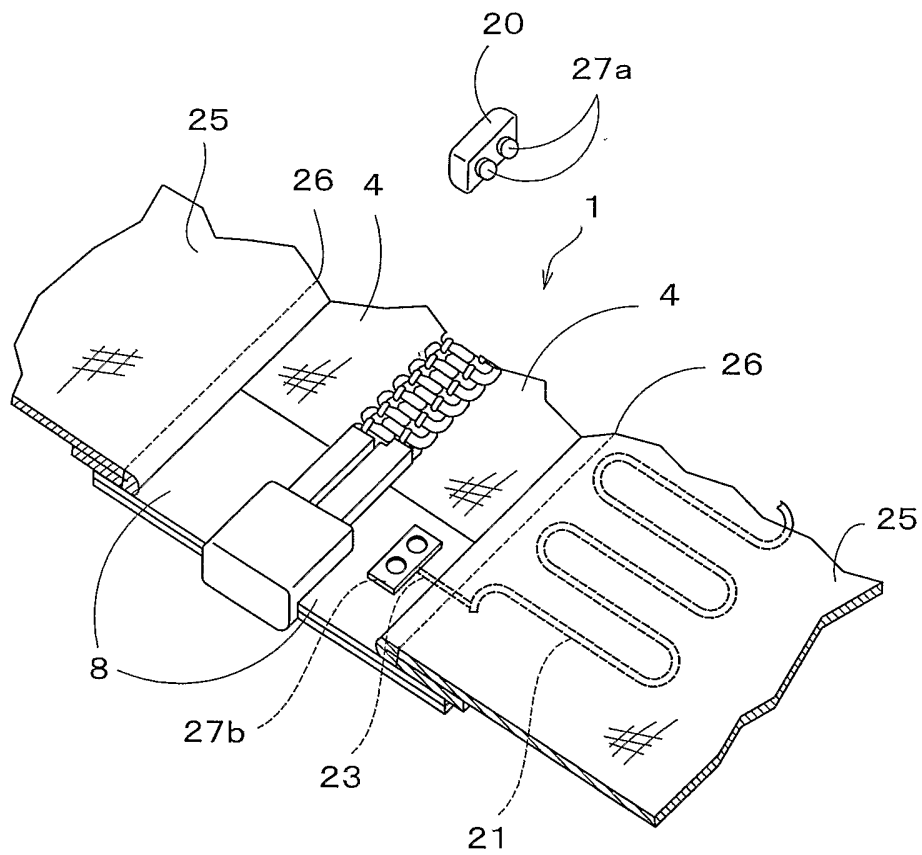
第14図



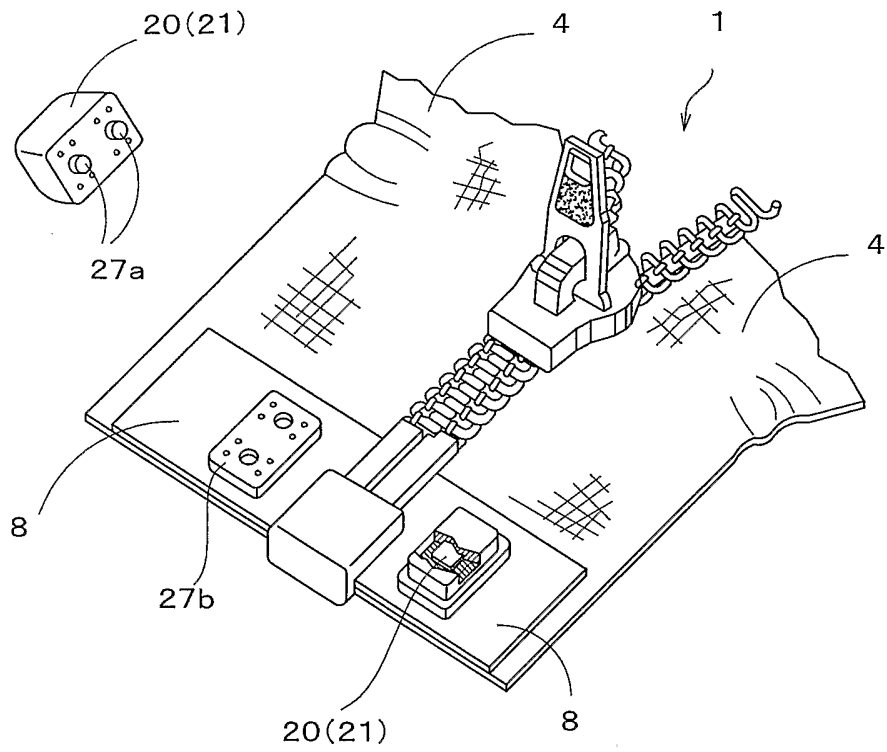
第15図



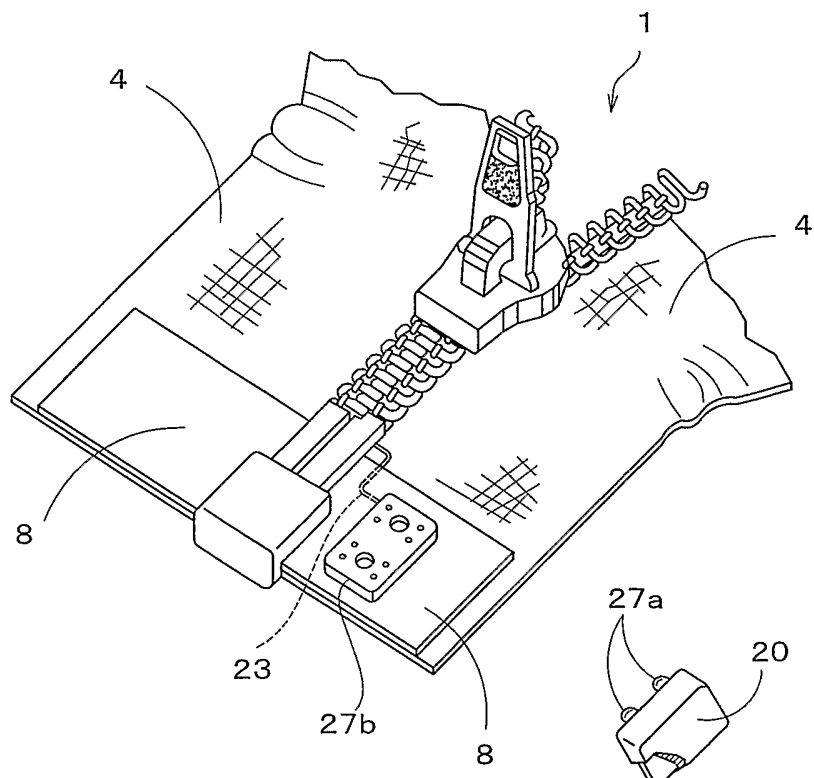
第16図



第17図

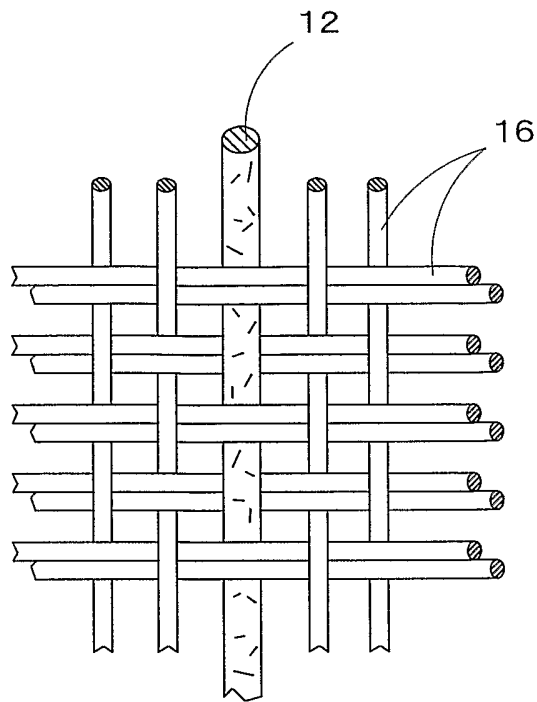


第18図

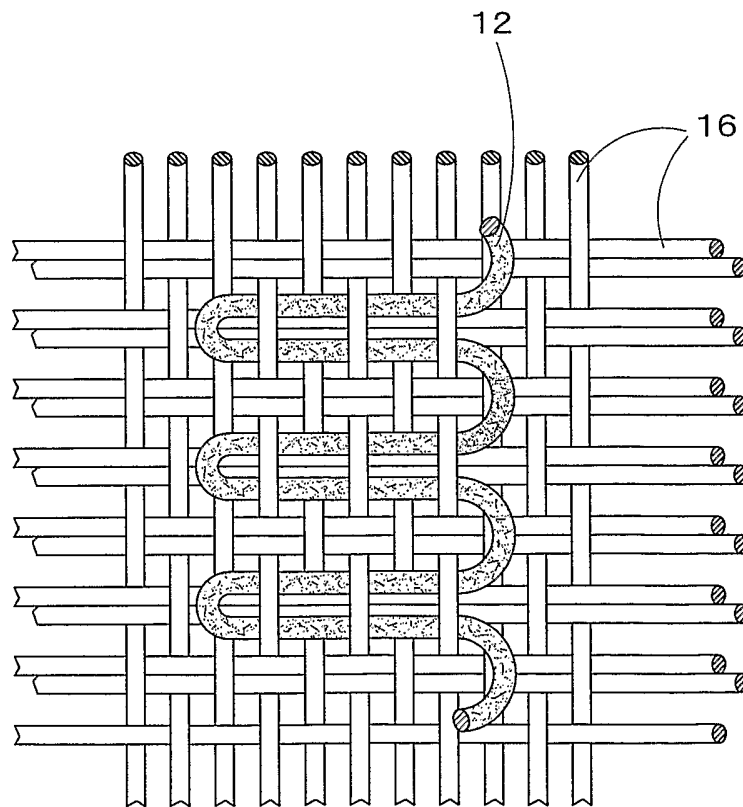


17/42

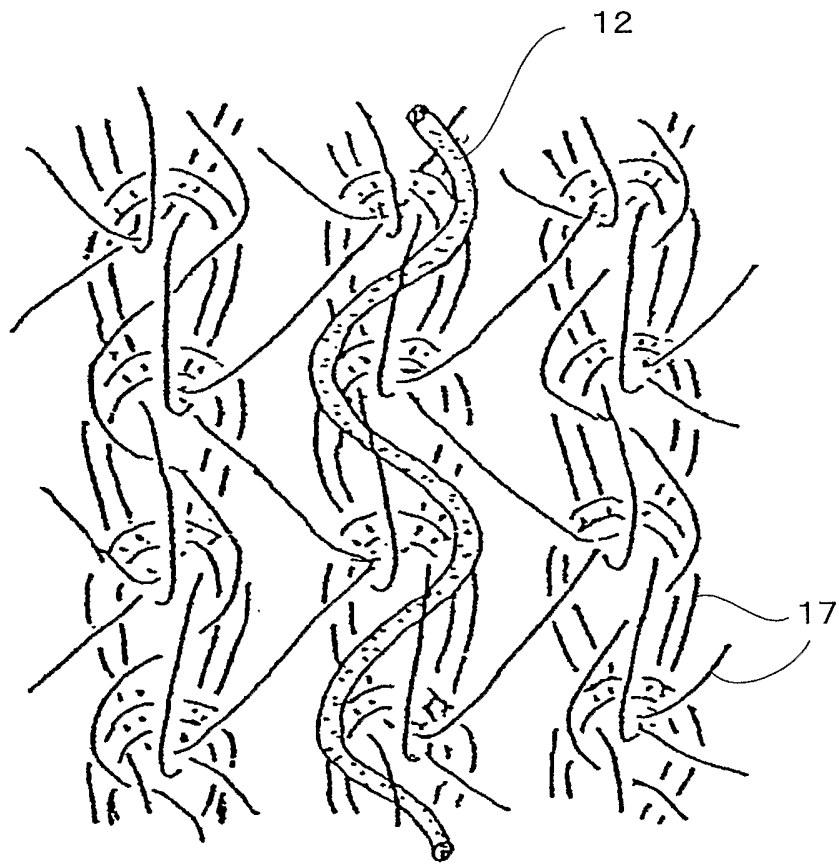
第19図



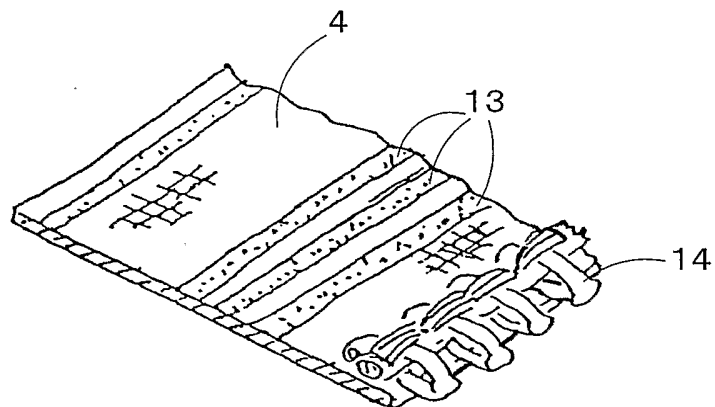
第20図



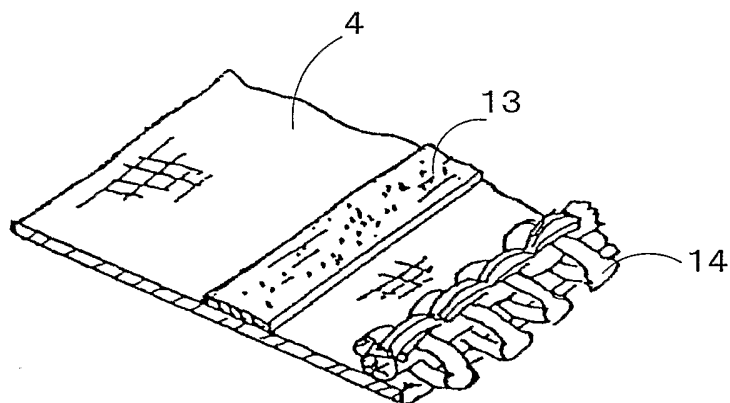
第21図



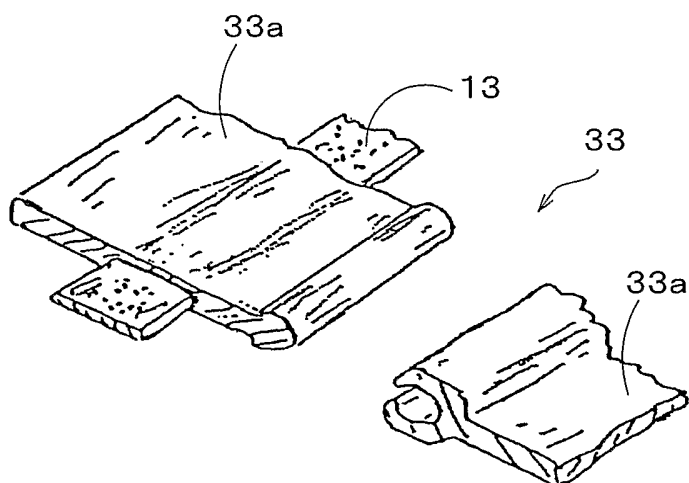
第22図



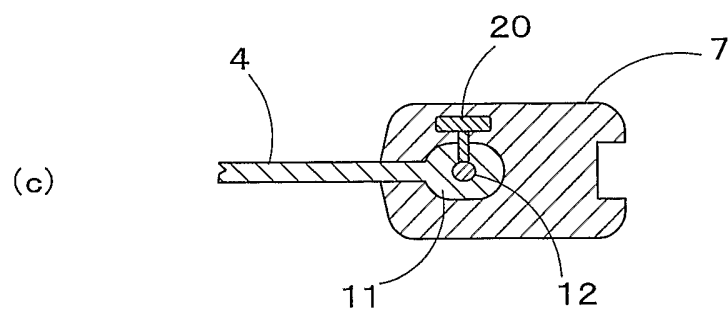
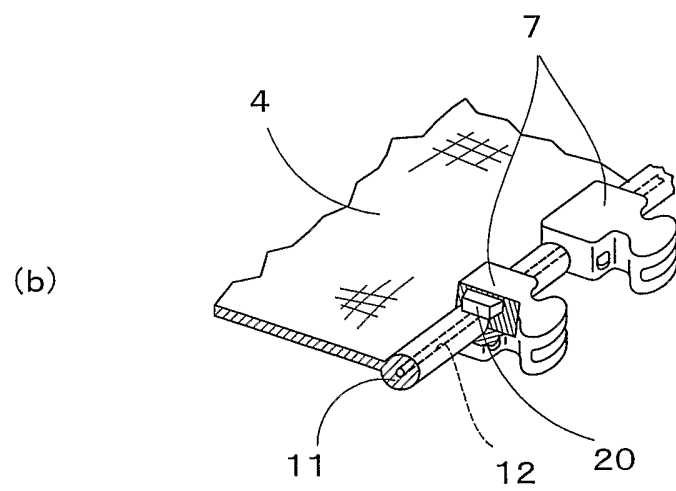
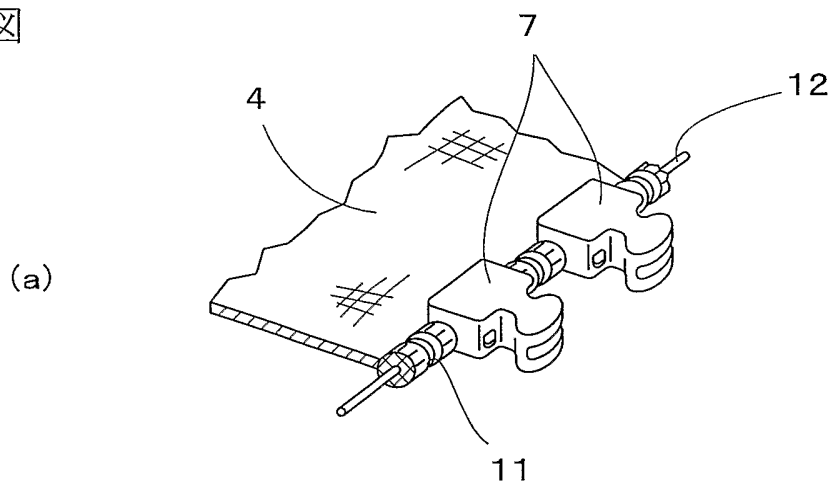
第23図



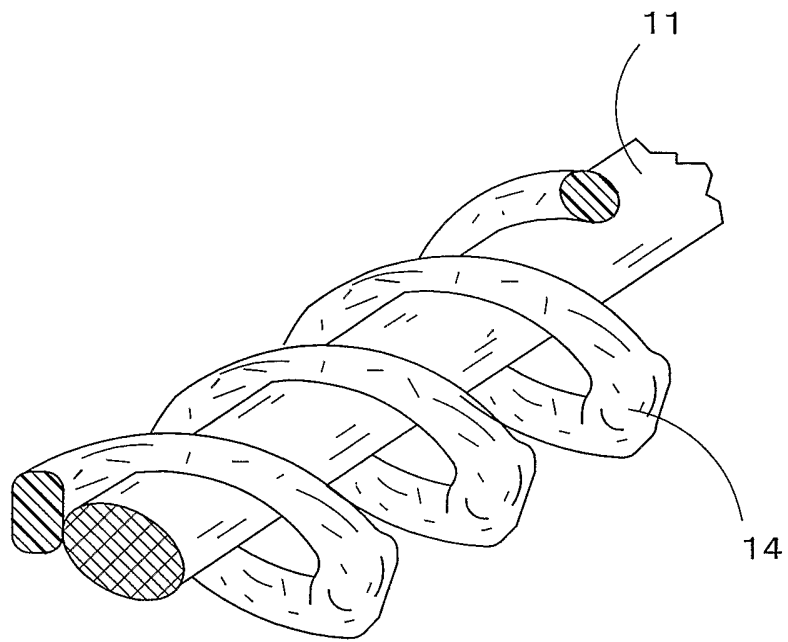
第24図



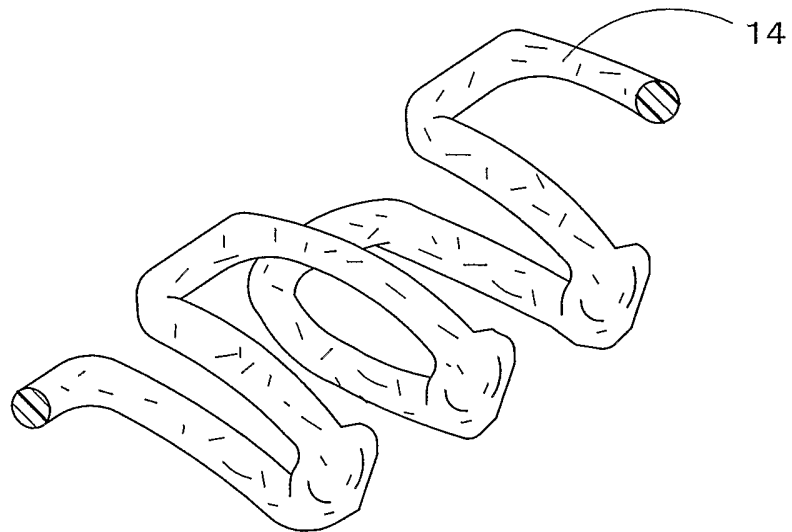
第25図



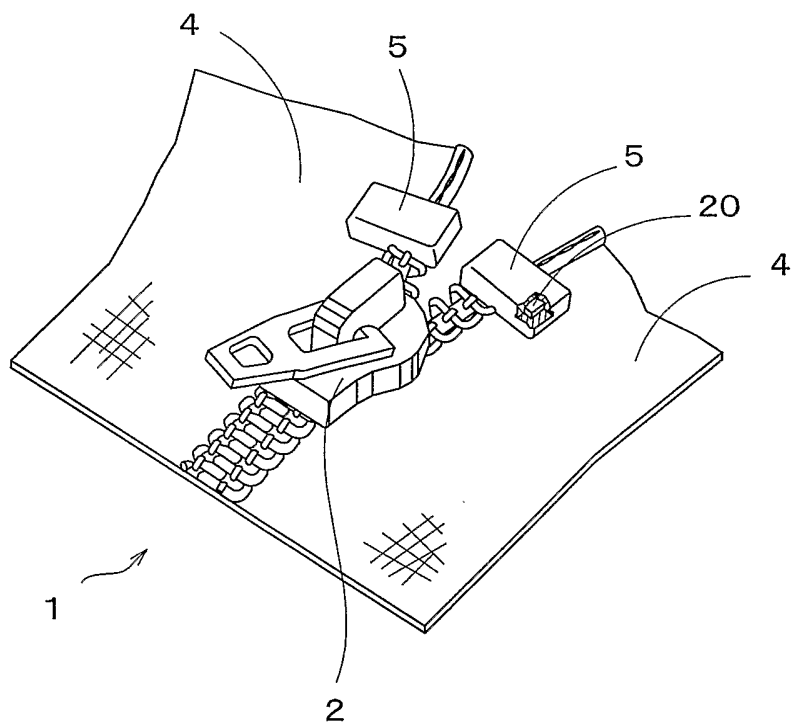
第26図



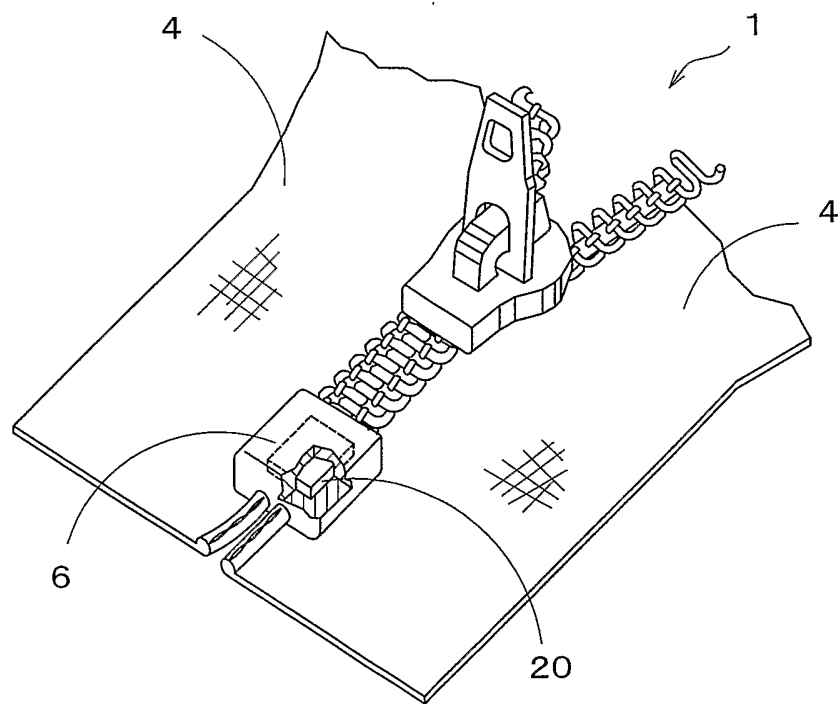
第27図



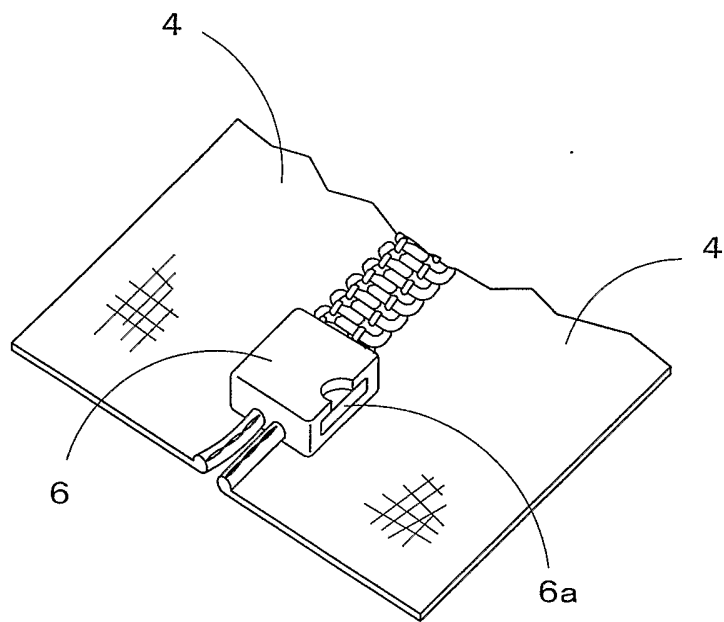
第28図



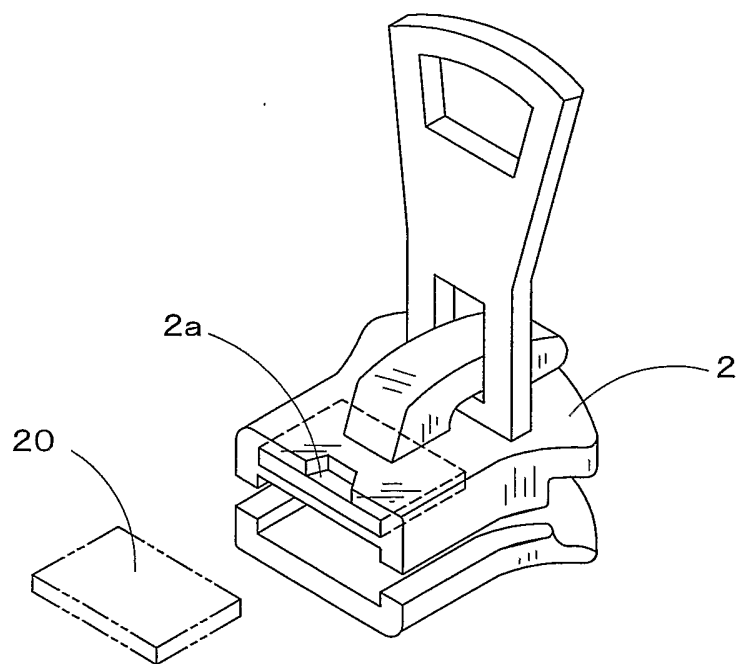
第29図



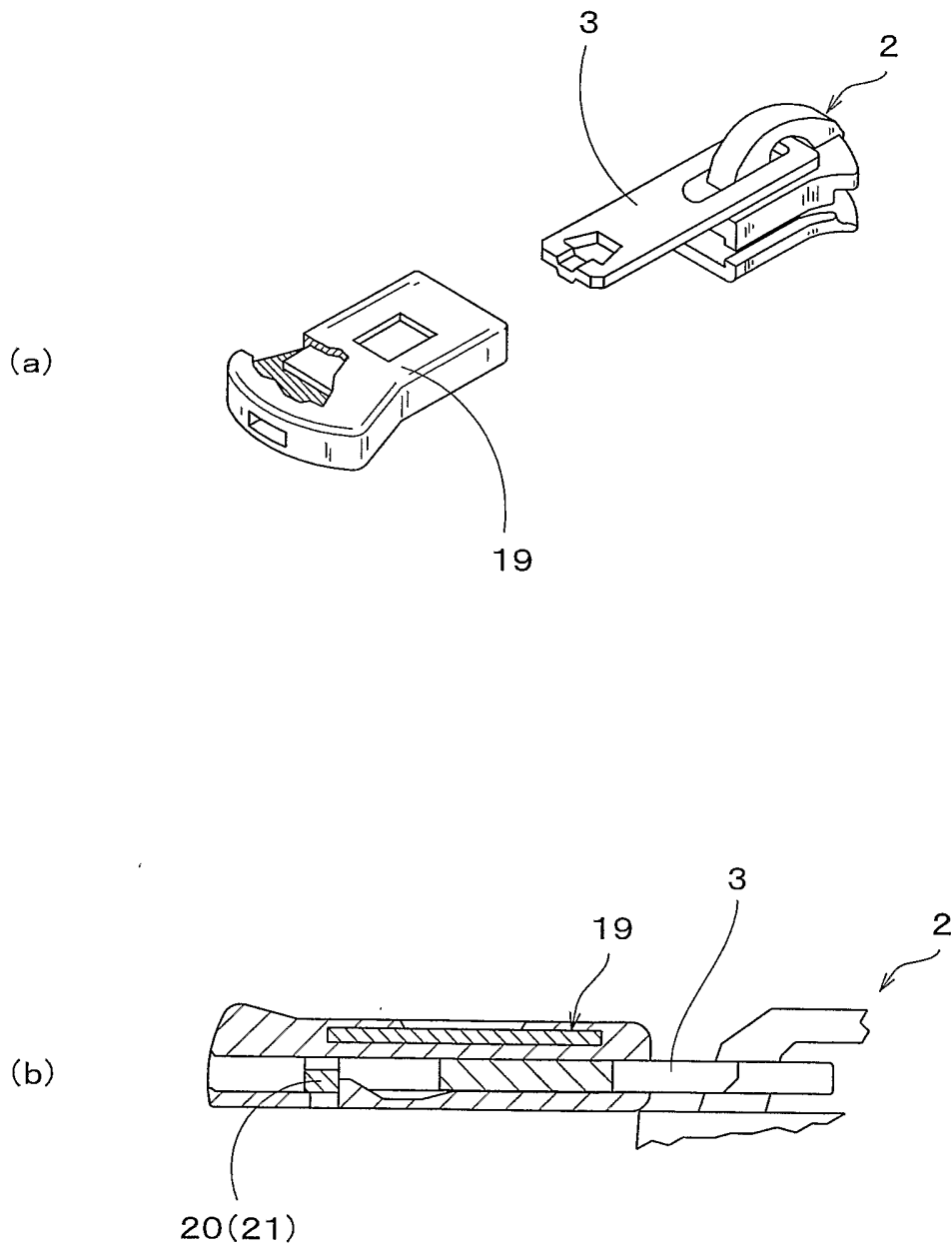
第30図



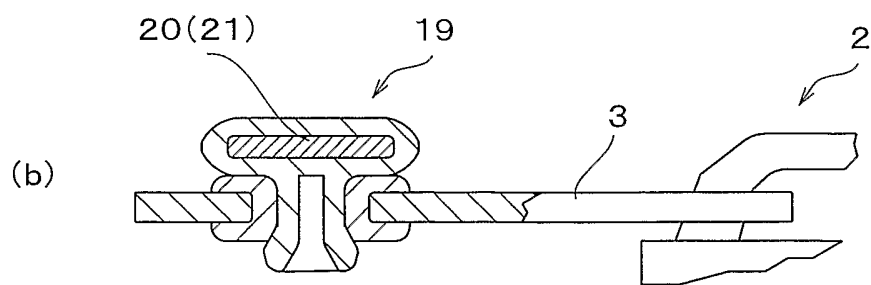
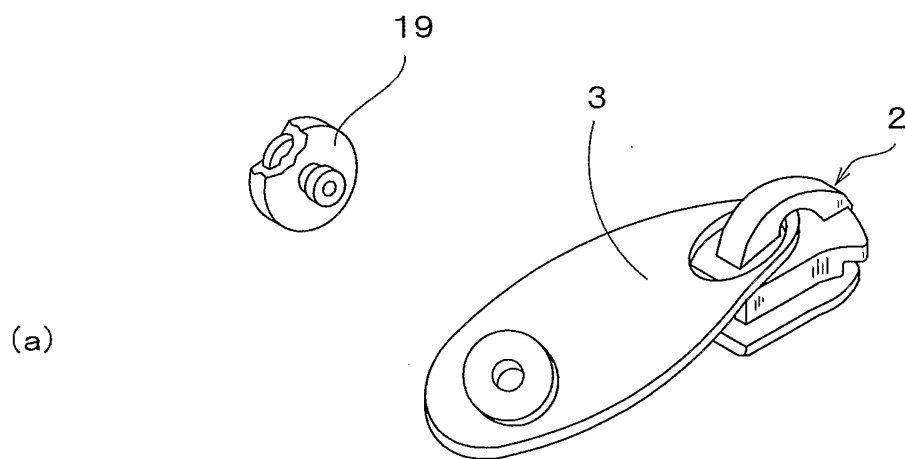
第31図



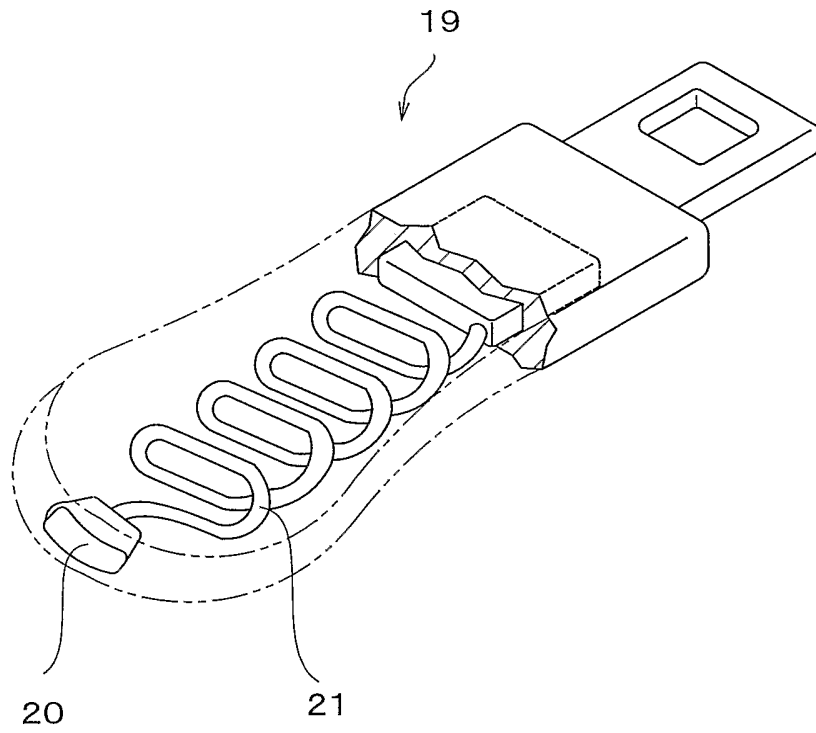
第32図



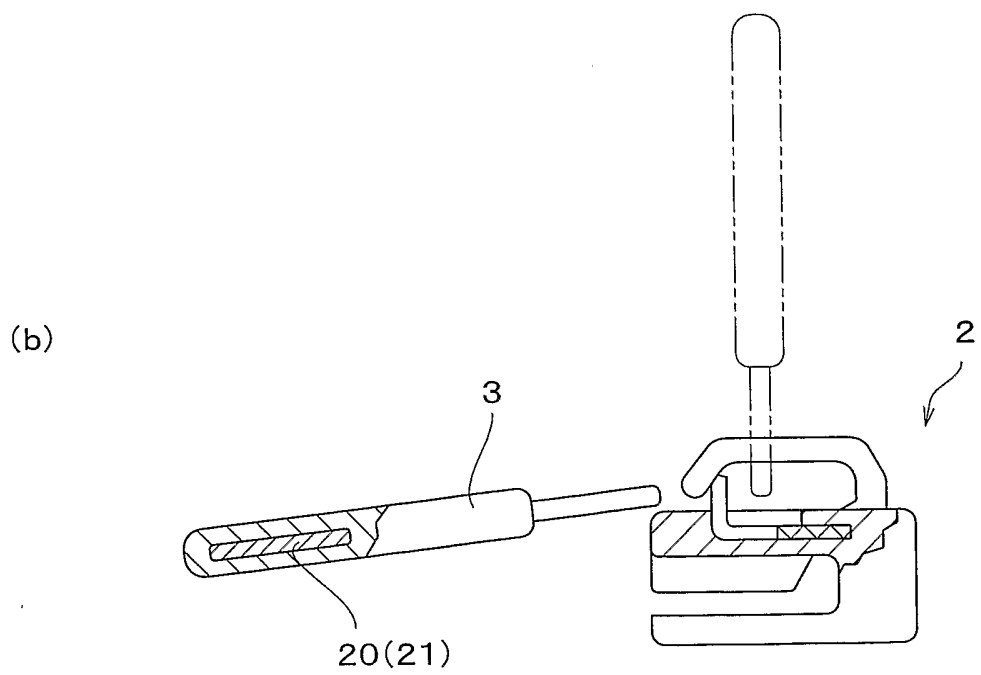
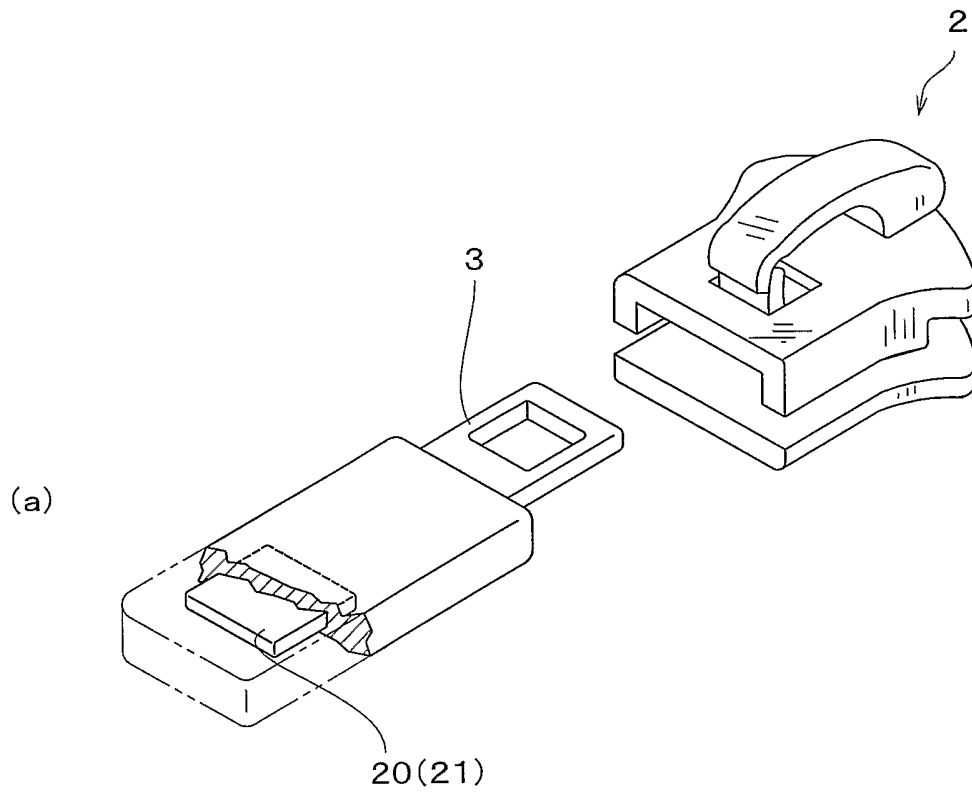
第33図



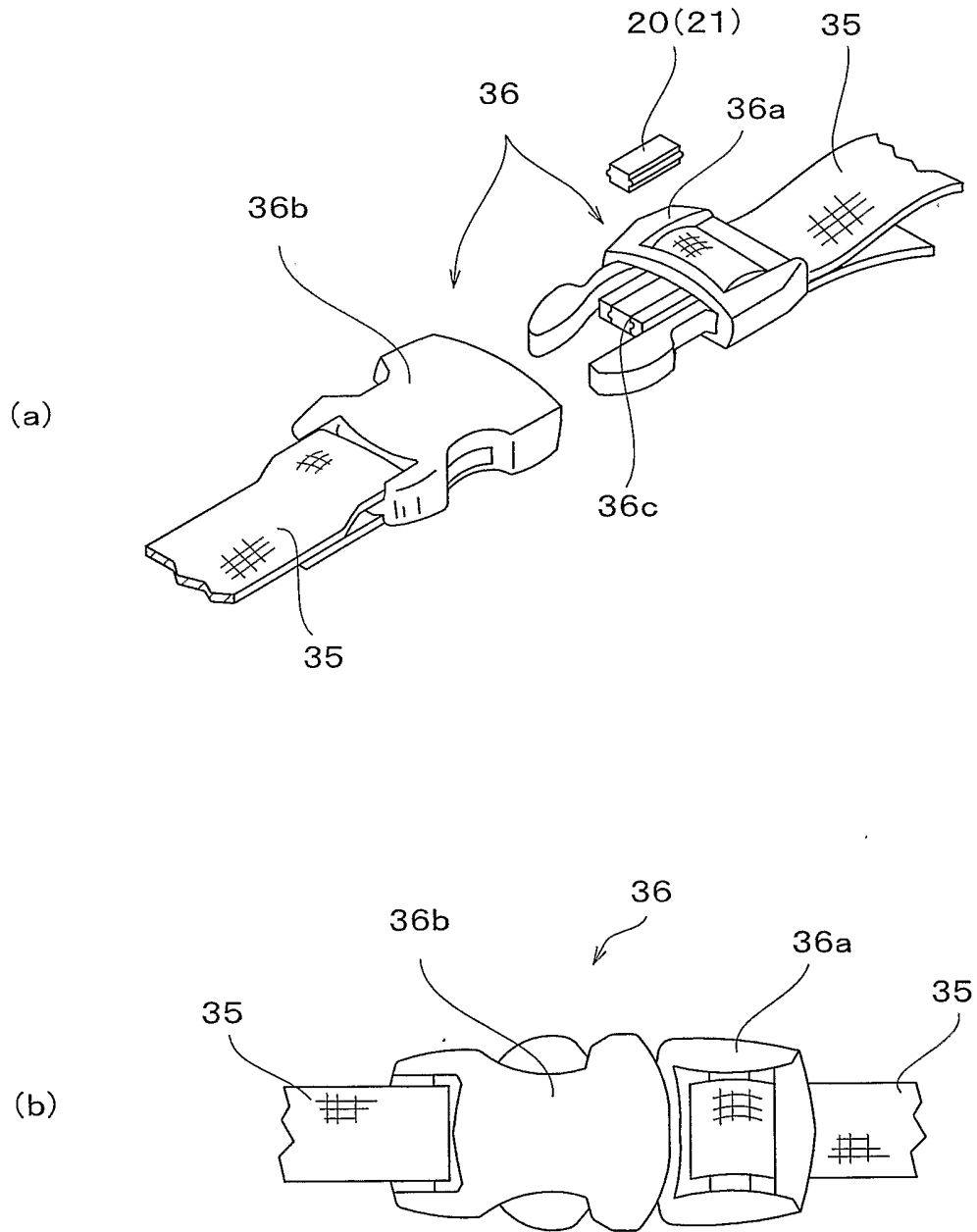
第34図



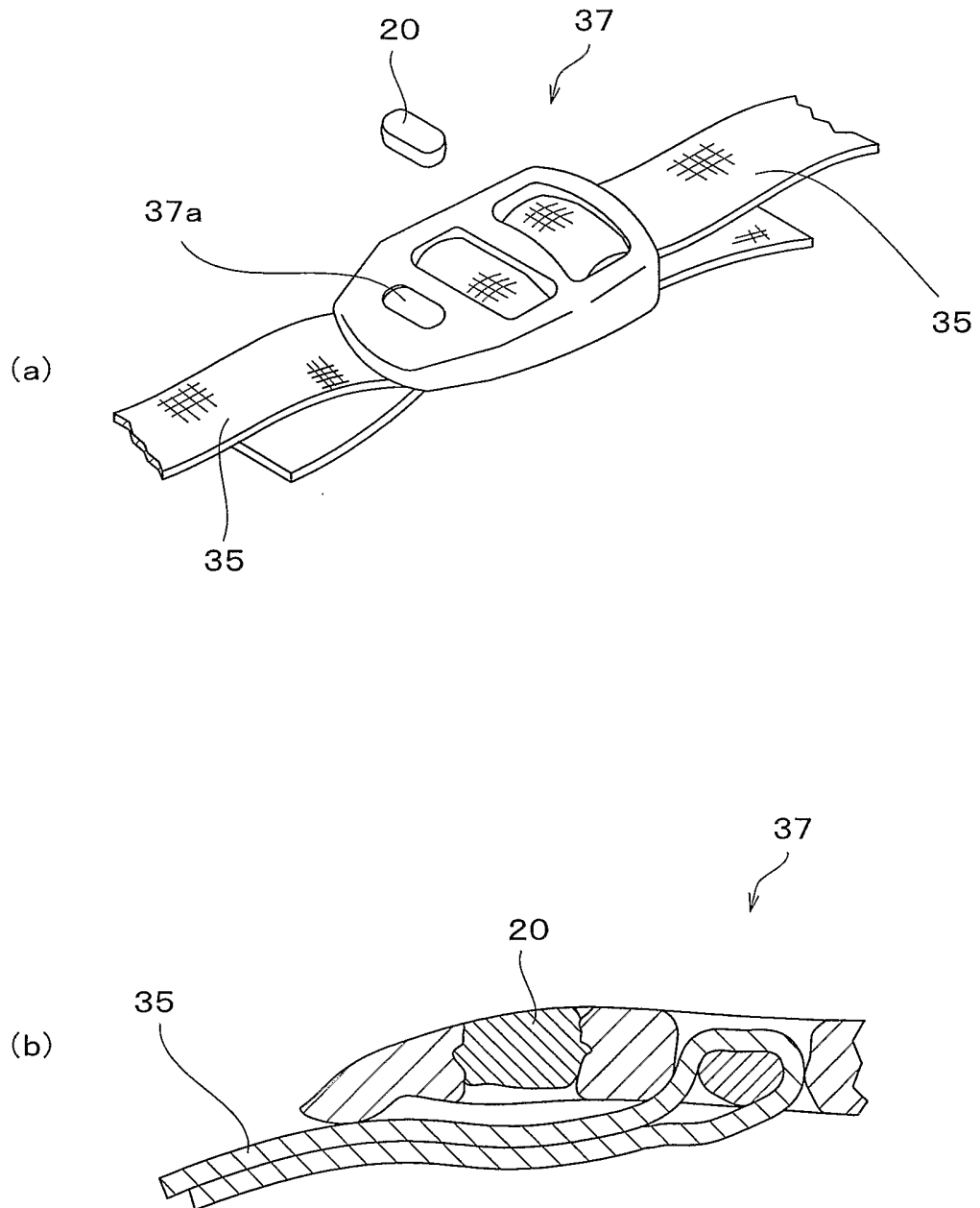
第35図



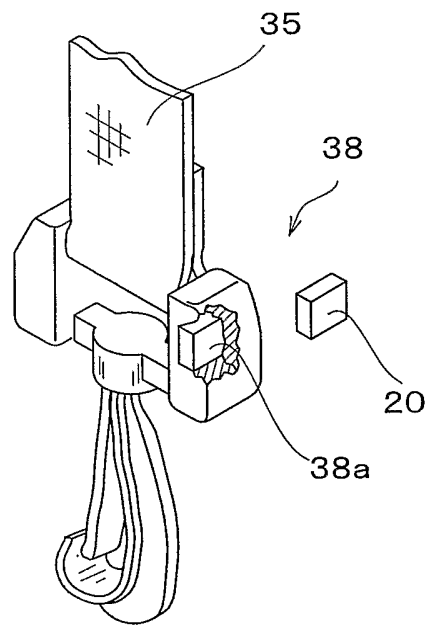
第36図



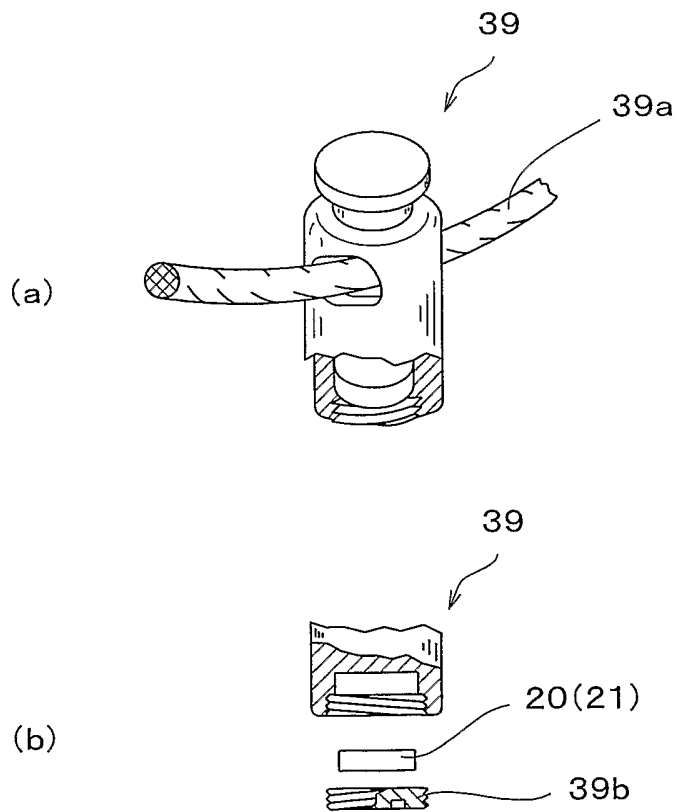
第37図



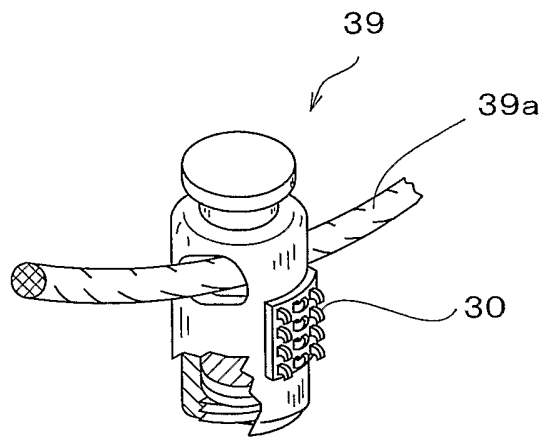
第38図



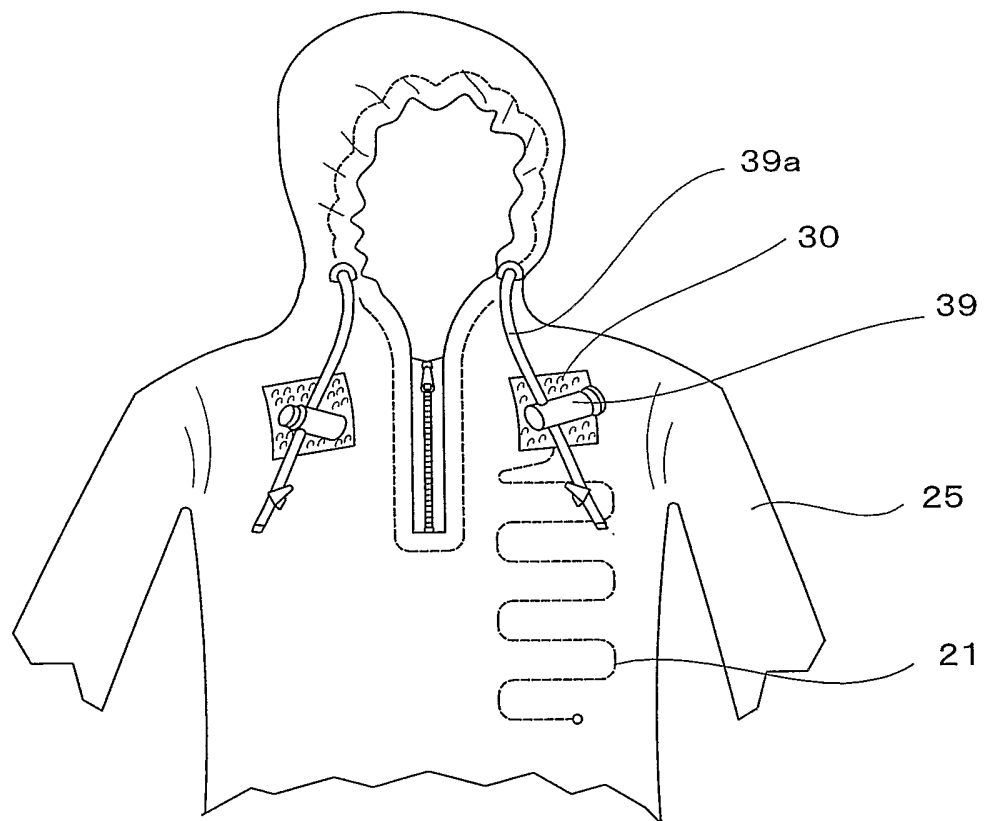
第39図



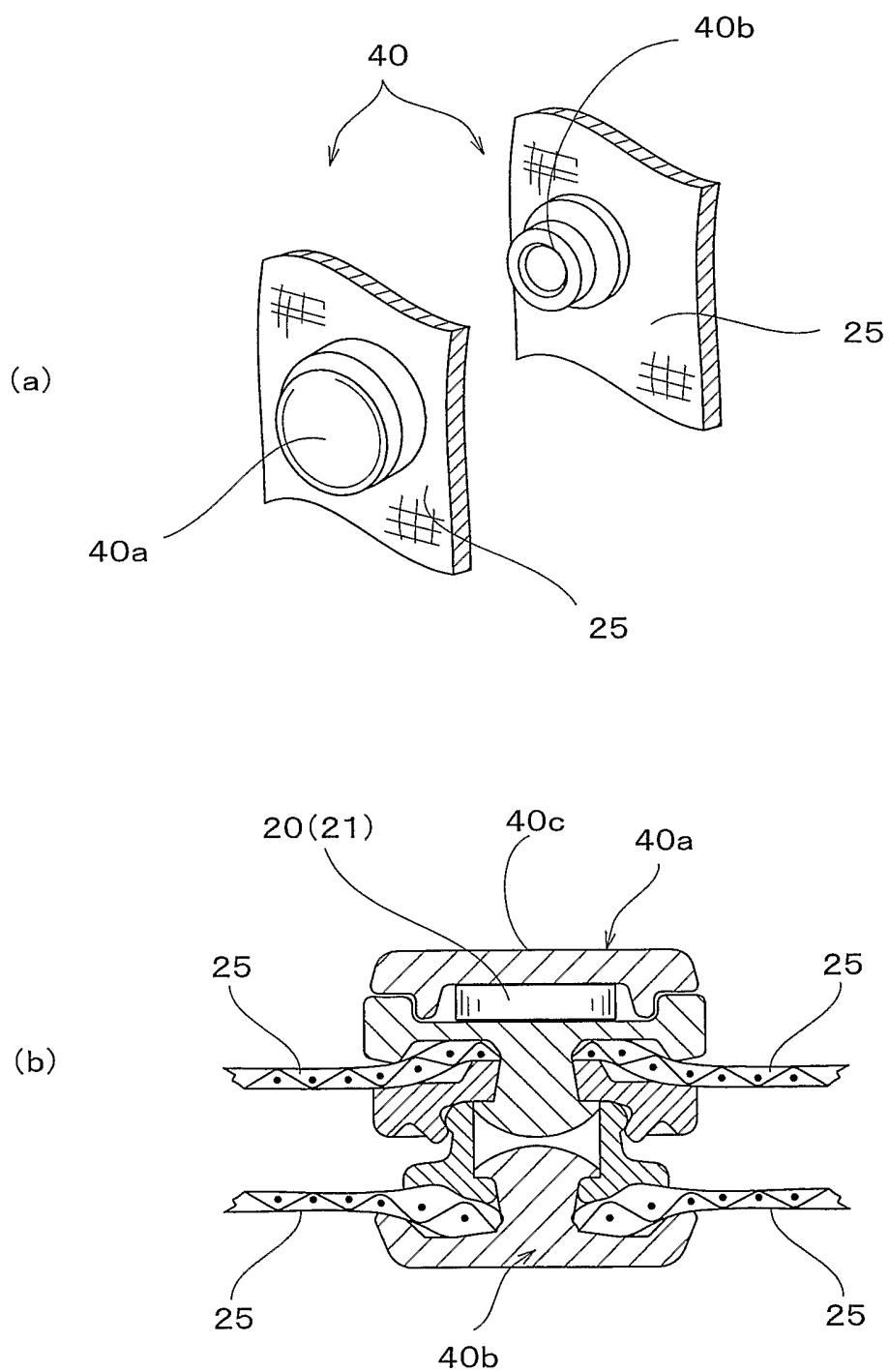
第40図



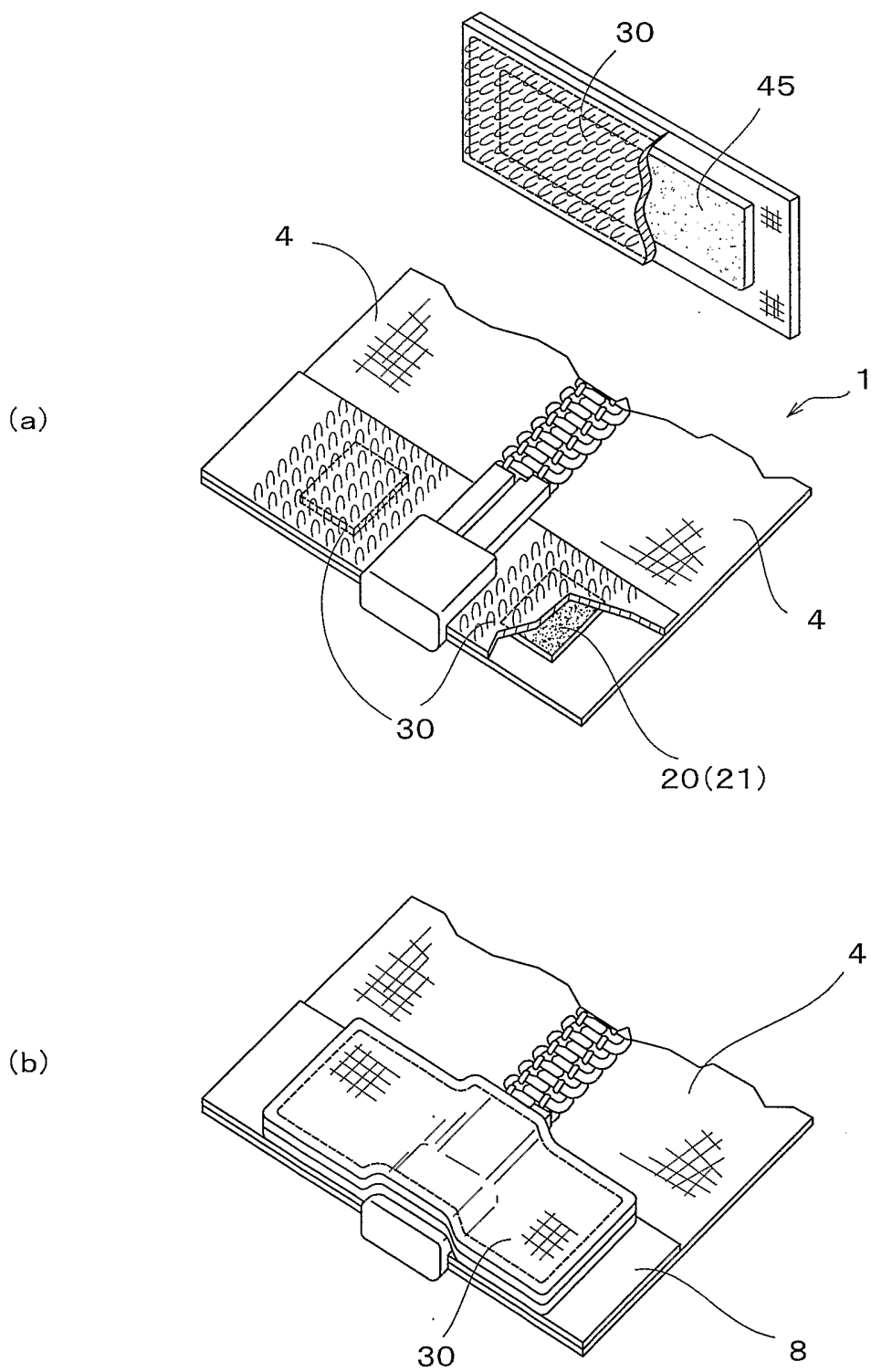
第41図



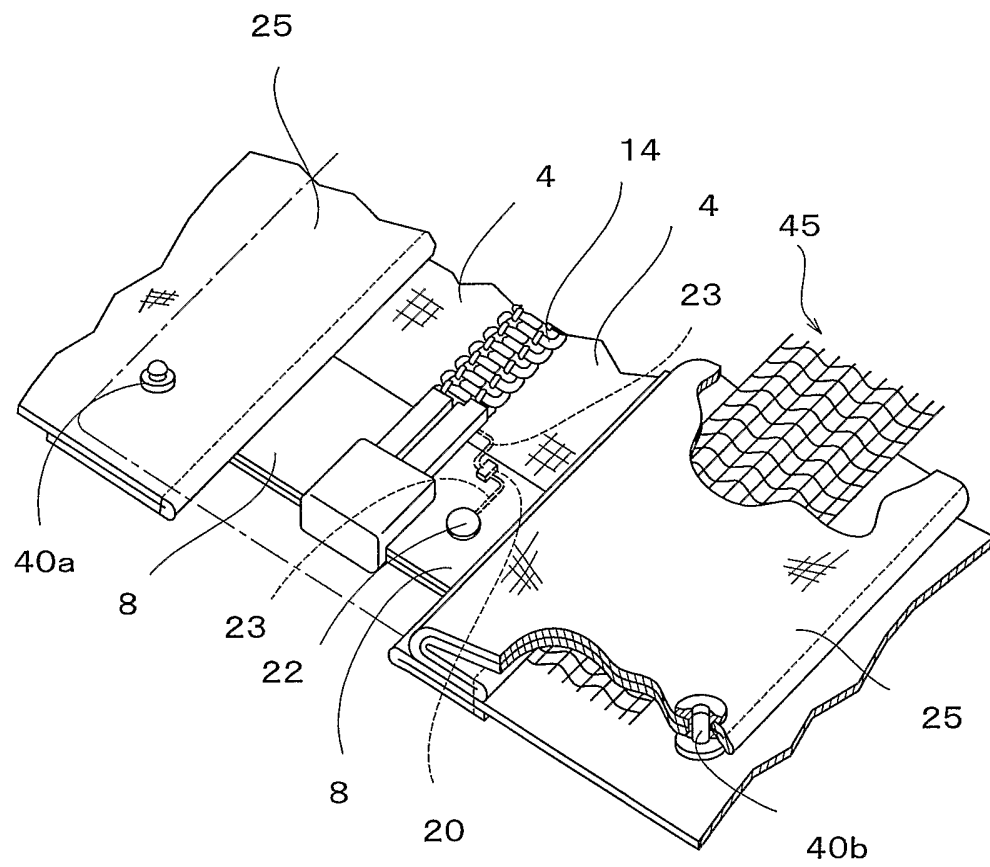
第42図



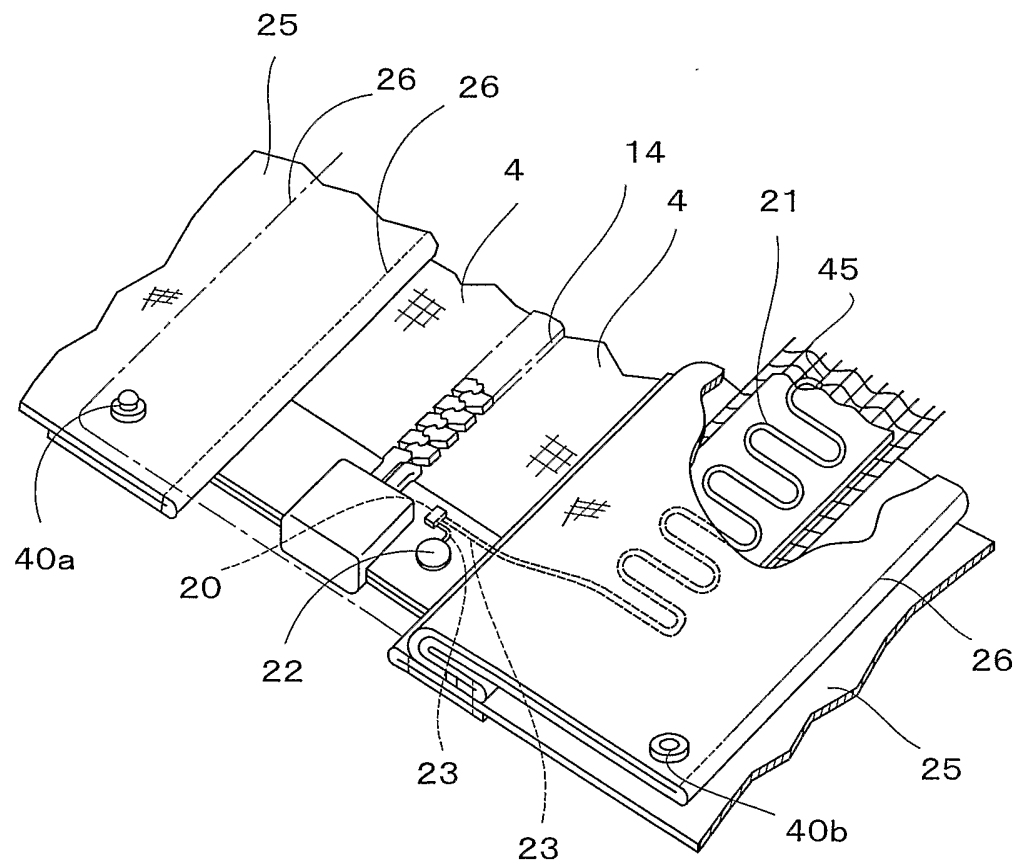
第43図



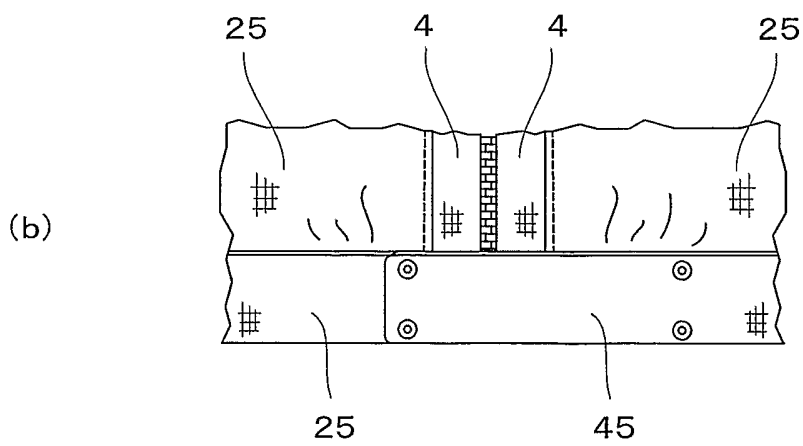
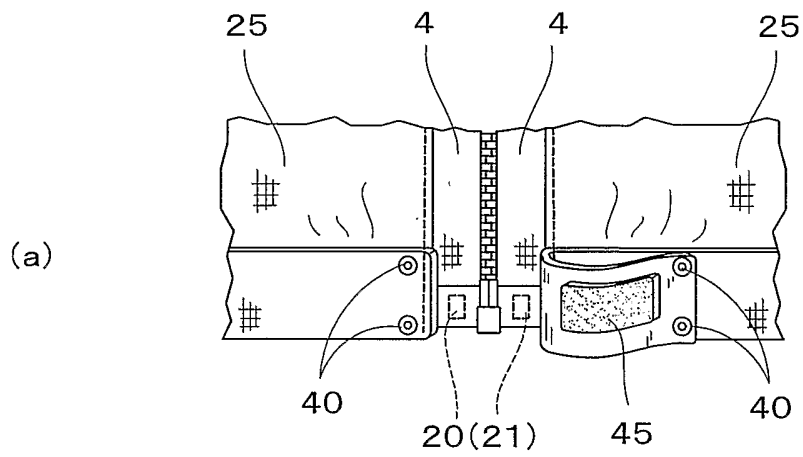
第44図



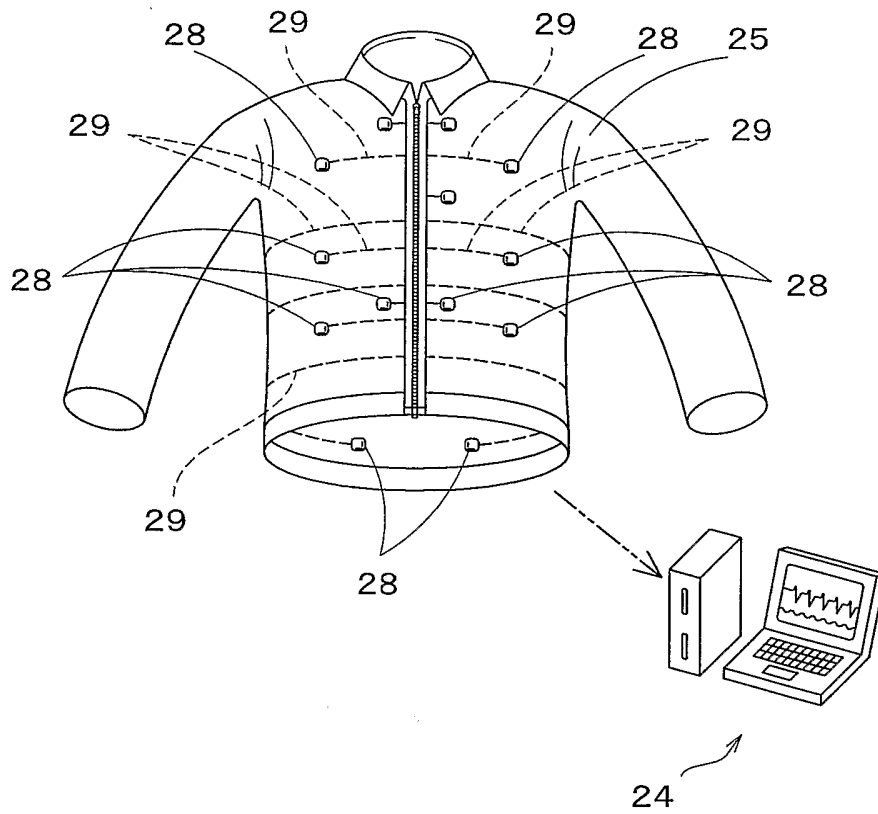
第45図



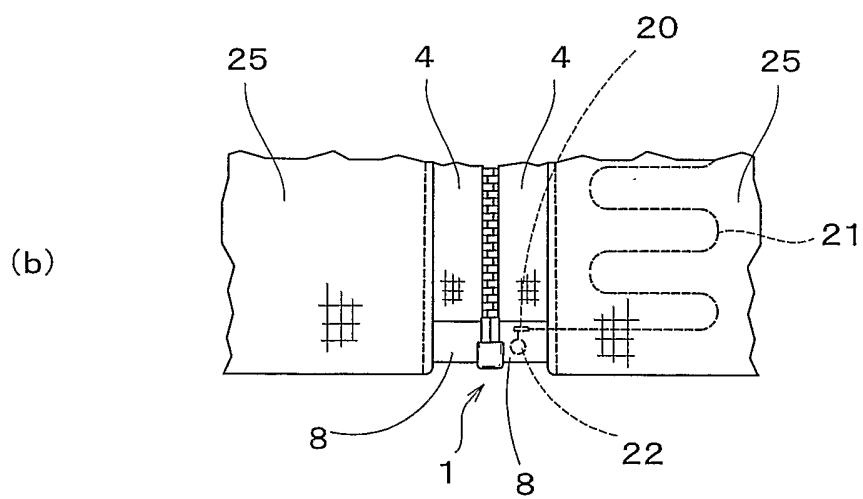
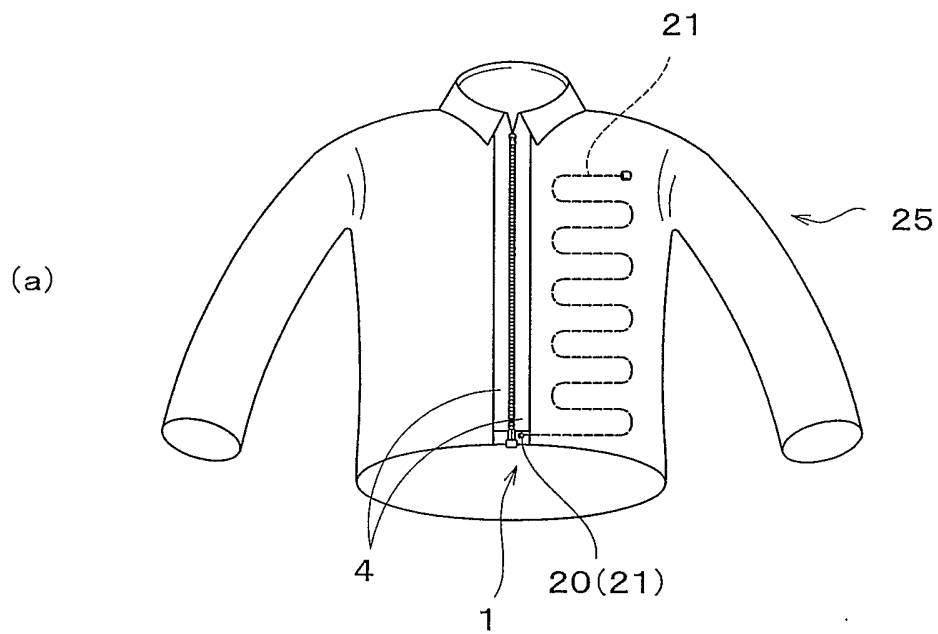
第46図



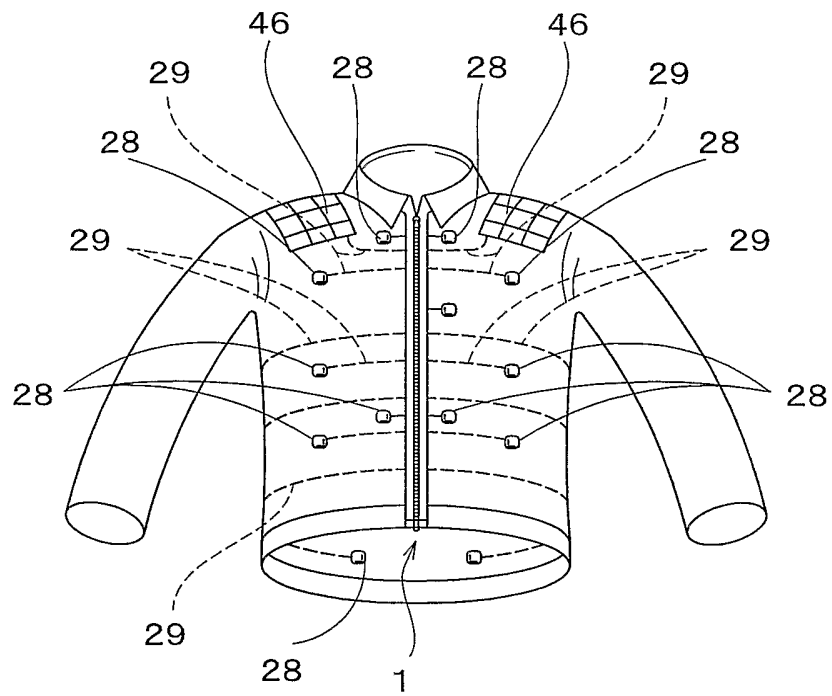
第47図



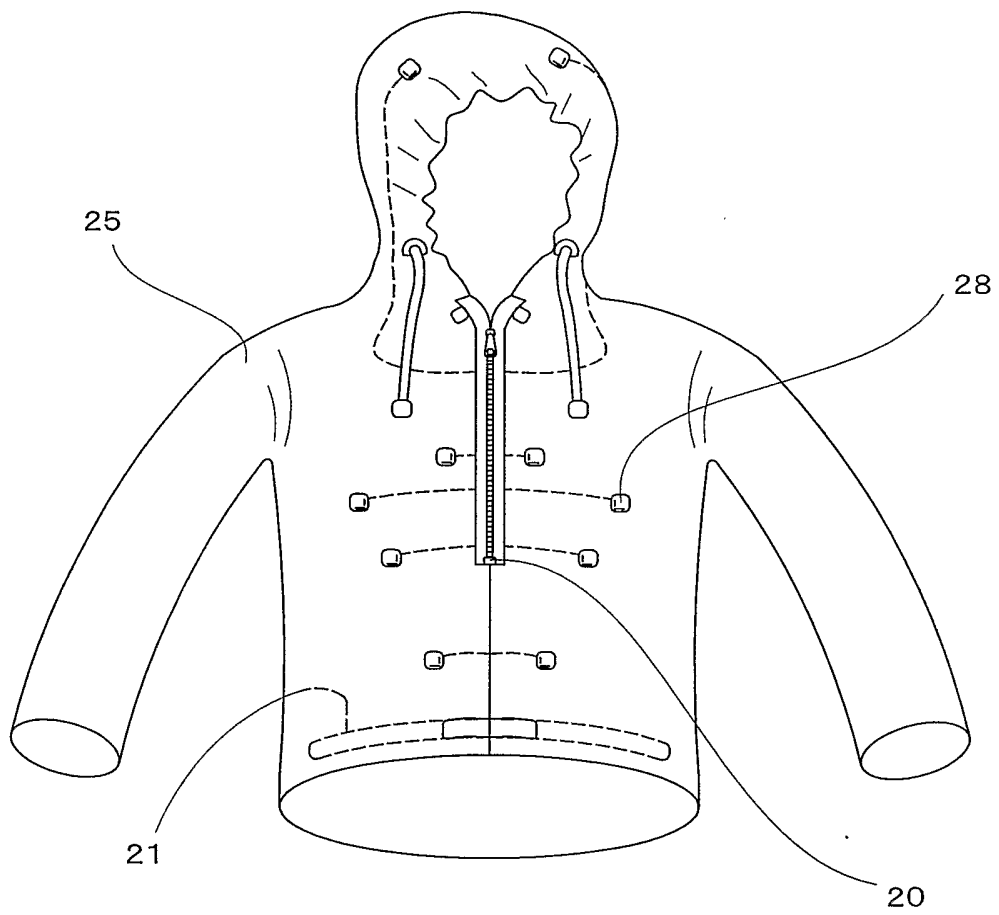
第48図



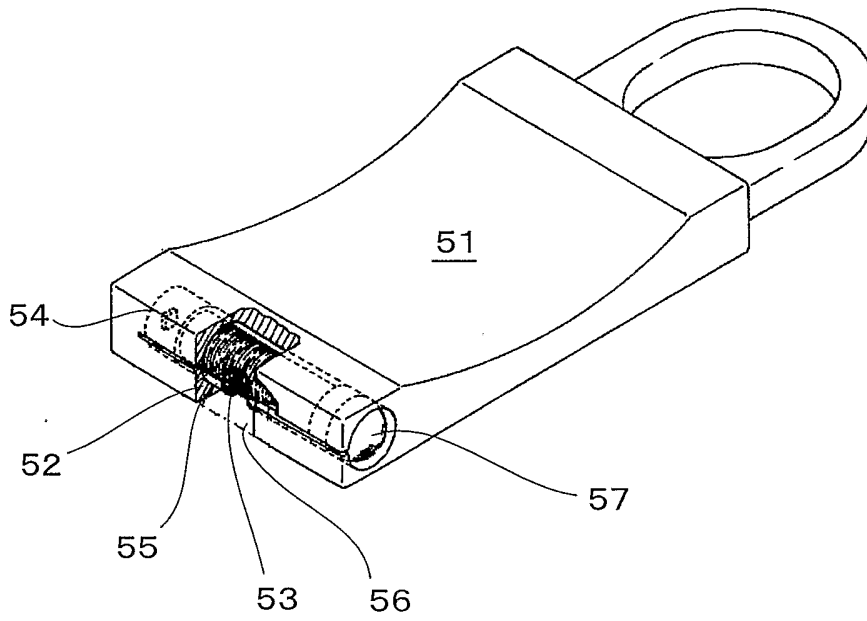
第49図



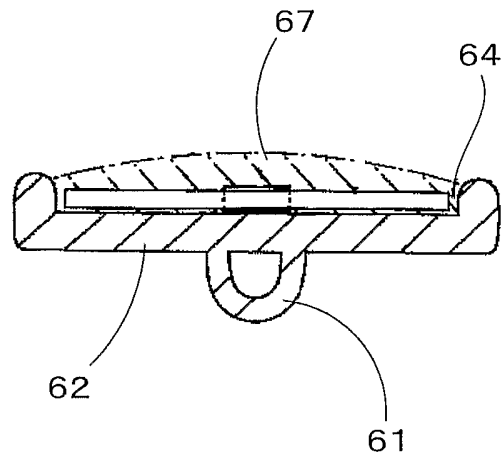
第50図



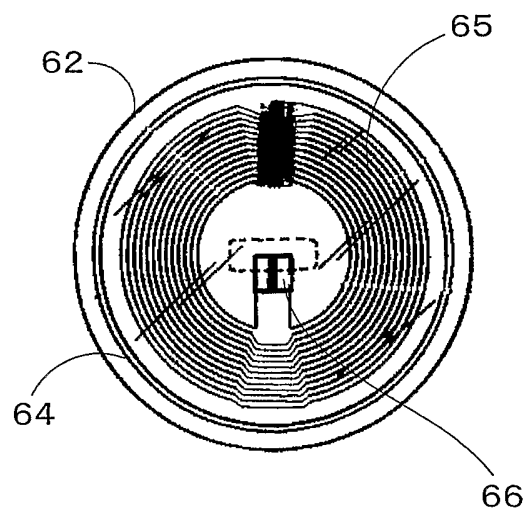
第51図



第52図



第53図



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/10664

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ A44B19/02, 19/26, 19/34, A44B18/00, G06K19/00

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ A44B19/02, 19/26, 19/34, A44B18/00, G06K19/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1926-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2003
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2003	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2003

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y A	JP 2002-125721 A (Sanko Kabushiki Kaisha), 08 May, 2002 (08.05.02), (Family: none)	27-33, 35-37, 42-53 1-4, 6-11 5, 12-26, 34, 40, 41
Y	CD-ROM of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 11496/1993(Laid-open No. 68509/1994) (Yoshida Kogyo Kabushiki Kaisha), 27 September, 1994 (27.09.94), (Family: none)	1, 2, 6-8
Y	JP 5-123209 A (Yoshida Kogyo Kabushiki Kaisha), 12 May, 1993 (12.05.93), (Family: none)	3, 9

Further documents are listed in the continuation of Box C. See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"I" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier document but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search 16 September, 2003 (16.09.03)	Date of mailing of the international search report 07 October, 2003 (07.10.03)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office	Authorized officer
Facsimile No.	Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/10664

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 38692/1979 (Laid-open No. 139709/1980) (Yoshida Kogyo Kabushiki Kaisha), 06 October, 1980 (06.10.80), (Family: none)	4, 10, 11
X	JP 2002-298117 A (Toppan Forms Co., Ltd.), 11 October, 2002 (11.10.02), (Family: none)	38, 39, 52
A	JP 2003-308 A (YKK Corp.), 07 January, 2003 (07.01.03), & CN 1394537 A	1-53

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))
 Int. Cl⁷ A44B19/02, 19/26, 19/34, A44B18/00, G06K19/00

B. 調査を行った分野
 調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))
 Int. Cl⁷ A44B19/02, 19/26, 19/34, A44B18/00, G06K19/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの
 日本国実用新案公報 1926-1996年
 日本国公開実用新案公報 1971-2003年
 日本国登録実用新案公報 1994-2003年
 日本国実用新案登録公報 1996-2003年


国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X Y A	JP 2002-125721 A (三高株式会社), 2002.05.08 (ファミリーなし)	27-33, 35-37, 42-53 1-4, 6-11 5, 12-26, 34, 40, 41
Y	日本国実用新案登録出願5-11496号 (日本国実用新案出願公開6-68509号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録したCD-ROM (吉田工業株式会社), 1994.09.27 (ファミリーなし)	1, 2, 6-8

C欄の続きにも文献が列挙されている。 パテントファミリーに関する別紙を参照。

<p>* 引用文献のカテゴリー</p> <p>「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの</p> <p>「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの</p> <p>「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)</p> <p>「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献</p> <p>「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願</p>	<p>の日の後に公表された文献</p> <p>「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの</p> <p>「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの</p> <p>「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの</p> <p>「&」 同一パテントファミリー文献</p>
--	---

国際調査を完了した日 16.09.03	国際調査報告の発送日 07.10.03
------------------------	------------------------

国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 水野 治彦	3B 9254
電話番号 03-3581-1101 内線 3320		

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 5-123209 A (吉田工業株式会社) , 1993. 05. 21 (ファミリーなし)	3,9
Y	日本国実用新案登録出願54-38692 (日本国実用新案出願公開55-139709号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (吉田工業株式会社) , 1980. 10. 06 (ファミリーなし)	4,10,11
X	JP 2002-298117 A (トッパン・フォームズ株式会社) , 2002. 10. 11 (ファミリーなし)	38,39,52
A	JP 2003-308 A (ワイケイケイ株式会社) , 2003. 01. 07&CN 1394537 A	1-53